CQW-MRB2

User’s Manual

目次

第 1 章 安全上のご注意

1.1 本製品を安全にご利用いただくために

本製品のご利用に際して、以下の警告および注意をご覧いただき必ずお守りください。これらの事項が守られないとき、「**感電**」「**火災**」「**故障**」などが発生する場合があります。
これによって人が負傷されたり、死亡につながる 恐れがあります。また、万一「**発火**」「**発煙**」「**溶解**」などが発生した場合には速やかに本製品の利用を中止し、弊社サポートセンターへ連絡するようお願いいたします。

⚠警告 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、死亡につながる恐れが想定される内容を示しています。

⚠注意 この表示を無視し、誤った取り扱いをすると、人が負傷されたり、物的損傷を引き起こす恐れが想定される内容を示しています。

	⚠警告
禁止	**電源は AC100V（50 ／ 60Hz）以外では絶対に使用しないでください。** 本製品と本製品の定格電力ラベルに記載されている電圧・電流のものをお使いください。異なる電圧・電流でご使用すると発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。
強制指示	**必ず付属の専用 AC アダプタ（または電源ケーブル）を使用してください。** 本製品付属以外の AC アダプタ（または電源ケーブル）の使用は発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障のなどの原因となります。
強制指示	**AC アダプタ（または電源ケーブル）の取り扱いを守ってください。** AC アダプタ（または電源ケーブル）に加熱や無理な曲げ、引っ張ったりするなどといった行為はしないでください。発煙、感電、火災、または製品の誤作動や故障などの原因となります。また、AC アダプタ（または電源ケーブル）を抜くときは必ずプラグを持って抜いてください。
禁止	**動作環境範囲外で本製品をご利用にならないでください。** 範囲外の温度や湿度の環境でご利用になることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁止	**本製品を分解、改造しないでください。** 感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。また改造は法律で禁止されています。

強制指示	**コンピュータの取り付け口に異物などが混入しているときは直ちに取り除いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
水濡禁止	**本製品の近くに液体が入った容器を置かないでください。** 本製品に液体がこぼれることで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**煙が出たり、異臭がしたら直ちに使用を中止し、コンセントから電源プラグを抜いてください。** そのまま使用することで、感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
濡手禁止	**本製品を濡れた手で触れないでください。また事前に指輪、腕時計などの装身具を外しておいてください。** これらの状態で本製品に触れると感電、火災、または製品の誤作動、故障などの原因となります。
禁　止	**本製品を重ねて設置しないでください。** 本製品が加熱し、感電、火災、または本製品の誤作動、故障などの原因となります。
触手禁止	**雷のときは本製品や接続されているケーブル等に触れないでください。** 落雷による感電の原因になります。
強制指示	**本製品は一般家庭や小規模事業所におけるブロードバンド環境下での利用を前提にしています。** 本製品は、物理的・論理的に規模の大きなネットワークや、一般的ではない環境または目的で本製品を使用した場合、正常に動作しない可能性があります。
禁　止	**金融機器、医療機器や人命に直接的または間接的に関わるシステムなど、高い安全性が要求される用途には使用しないでください。**

⚠注意	
禁 止	本製品を次のような場所での使用や保管はしないでください。 ● 直射日光の当たる場所 ● 暖房器具の近くなどの高温になる場所 ● 温度変化の激しい場所 ● 湿気やほこりの多い場所 ● 振動の多い場所や不安定な場所 ● 静電気が多く発生する場所 ● 油煙や湯気があたる場所 ● 腐食性ガスの発生する場所 ● 壁の中などお手入れが不可能な場所 ● 強い磁気や電磁波が発生する装置が近くにある場所
禁 止	**本製品を落としたり、強い衝撃を与えないでください。** 本製品の誤作動、故障などの原因となります。
プラグを抜く	**移動させるときは AC アダプタ(または電源ケーブル)を外してください。** 必ず電源プラグをコンセントから抜き、外部の接続コードを外してください。
強制指示	お手入れの際は以下の内容に注意してください。 ● 電源プラグをコンセントから抜いてください。 ● シンナーやベンジン等の有機溶剤で本製品を拭かないでください。
強制指示	**定期的にデータのバックアップを行ってください。** 本製品のご利用にかかわらず、パソコンのデータのバックアップを定期的に取得してください。万一不測の事態が発生し、不用意なデータの消失や復旧が不可能な状態に陥ったときの回避策になります。なお、本製品のご利用に際しデータ消失などの障害が発生しても、弊社では保証いたしかねることをあらかじめご了承ください。
禁 止	**RJ-45 ポートのある製品は、以下の内容に注意してください。** RJ-45 ポートには電話線コネクタを差し込まないでください。本製品が損傷する場合があります。

■バッテリーの取り扱いに関して

本製品のバッテリーは、リチウムイオンバッテリーです。バッテリーはお買い上げ時には十分充電されていません。必ず充電してからお使いください。

以下の重要な警告事項・注意事項を必ずお守りください。

- 端子に針金などの金属類を接触させないでください。また金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- ＋－端子はショートさせないでください。バッテリーを発熱、破裂、発火させる原因となります。
- バッテリーを本製品に取り付けるときに、うまく取り付けができない場合は無理に取り付けないでください。またバッテリーの向きを確かめてから取り付けてください。バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 火の中に投下しないでください。バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- 釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- バッテリー内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。失明の原因になります。
- 落下による変形やキズなど外部からの衝撃によりバッテリーに異常がみられたときは、直ちに使用を中止してください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しないときは、充電を中止してください。バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- バッテリーが漏液したり、異臭がするときは直ちに使用を中止し、火気から遠ざけてください。漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。
- ペットがバッテリーに噛みつかないように注意してください。バッテリーの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。
- 一般のゴミと一緒に捨てないでください。不要になったバッテリーは端子にテープなどを貼り、回収を行っている地方自治体の条例に従ってください。
- 濡れたバッテリーを充電しないでください。バッテリーを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。
- バッテリー内部の液体が皮膚や衣服に付着したときは直ちに使用を中止し、きれいな水で十分に洗い流してください。皮膚に障害を起こす原因となります。
- バッテリーを水や海水などで濡らさないでください。発熱・破裂・発火の原因となります。
- 誤って水などに落としたときは、直ちにバッテリーや接続機器を外してください。
- 充電する場合は、必ず専用の AC アダプターを使用してください。

■無線製品に関して

本製品を下記のような状況でご使用になるのはおやめください。

- 本製品を心臓ペースメーカーや補聴器など医療機器の近くや医療機関の中でのご使用はおやめください。電磁障害を及ぼし生命の危険があります。
- 本製品を交通機関内、特に航空機の中でのご使用はおやめください。機内での電子機器や無線機器の利用が禁止されており、航空機の装置などへ影響を与えて事故の原因になる恐れがあります。
- 本製品を電子レンジの近くでのご使用はおやめください。電子レンジをご使用のとき、電磁波の影響によって、無線通信が妨害される恐れがあります。

■電波に関して

本製品の無線 LAN の周波数帯は、医療機器や電子レンジなどの産業・科学機器、工場の生産ラインなどで使用される移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局と重複しているため、電波の干渉による無線通信の障害が発生する恐れがあります。

- 本製品のご利用の前に、干渉範囲内に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局が運用されていないことを確認してください。
- 万一、本製品使用中に移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波の干渉が発生したときは、速やかに周波数を変更するか使用を中止してください。
- その他、本製品から移動体識別装置用の構内無線局や特定省電力無線局に対して電波干渉など、何かお困りのことが発生したときは、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
- 本製品の電波の種類と干渉距離について

2.4 DS/OF 4
■■■

2.4	:2.4GHz 帯を使用する無線設備を表します。
DSOF	:DS-SS 方式および OFDM 方式を表します。
4	:想定される干渉距離が 40m 以下を表します。
■ ■ ■	:全帯域を使用し、かつ「構内局」あるいは「特小局」、「アマチュア局」帯域の回避が可能なことを表します。

■ご利用上の注意

- 接続においては、IEEE802.11n（2.4GHz 帯）または IEEE802.11g、IEEE802.11b 無線 LAN その他の無線機器の周囲、電子レンジなど電波を発する機器の周囲、障害物の多い場所、その他電波状態の悪い環境で使用した場合に接続が頻繁に途切れたり、通信速度が極端に低下したり、エラーが発生したりする可能性があります。
- 5.2GHz 帯を屋外で使用することは、電波法により禁止されています。IEEE802.11a は屋外で使用することはできませんのでご注意ください。
- 本書内に記載されている無線 LAN 規格における数値は理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。
- 本製品はすべての無線 LAN 機器との接続動作を確認したものではありません。
- 弊社は、無線機器によるデータ通信時に発生したデータおよび情報の漏洩につき、一切の責任を負いません。
- Bluetooth と無線 LAN は同じ 2.4GHz 帯の無線周波数を使用するため、同時に使用すると電波が干渉し合い、通信速度の低下やネットワークが切断される場合があります。接続に支障がある場合は、今お使いの Bluetooth、無線 LAN のいずれかの使用を中止してください。

■無線 LAN におけるセキュリティに関するご注意

お客様がセキュリティ問題発生の可能性を少なくするためには、無線 LAN カードや無線 LAN アクセスポイントをご使用になる前に、必ず無線 LAN 機器のセキュリティに関する全ての設定をマニュアルにしたがって行ってください。

無線 LAN では、LAN ケーブルを使用する代わりに、電波を利用してパソコン等と無線アクセスポイント間で情報のやり取りを行うため、電波の届く範囲であれば自由に LAN 接続が可能であるという利点があります。その反面、電波はある範囲内であれば障害物(壁など)を越えてすべての場所に届くため、セキュリティに関する設定を行っていない場合、以下のような問題が発生する可能性があります。

- 通信内容を盗み見られる
  悪意ある第三者が電波を故意に傍受し、ID やパスワード又はクレジットカード番号などの個人情報、メールの内容等の通信内容を盗み見られる可能性があります。
- 不正に侵入される
  悪意ある第三者が無断で個人や会社内のネットワークへアクセスし、個人情報や機密情報を取り出す(情報漏洩)、特定の人物になりすまして通信し不正な情報を流す(なりすまし)、傍受した通信内容を書き換えて発信する(改ざん)、コンピュータウィルスなどを流しデータやシステムを破壊する(破壊)などの行為をされてしまう可能性があります。

本来、無線 LAN カードや無線アクセスポイントは、これらの問題に対応するためのセキュリティの仕組みを持っていますので、無線 LAN 製品のセキュリティに関する設定を行って製品を使用することで、その問題が発生する可能性は少なくなります。ただし、購入直後の状態においては、セキュリティに関する設定が施されていない場合があり、また無線 LAN の仕様上、特殊な方法によりセキュリティ設定が破られることもあり得ますので、ご理解の上、ご使用ください。セキュリティの設定などについて、お客様ご自分で対処できない場合には、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。セキュリティ対策を施さず、あるいは無線 LAN の仕様上やむを得ない事情によりセキュリティの問題が発生してしまった場合、弊社ではこれによって生じた損害に対する責任を負いかねます。

弊社では、お客様がセキュリティの設定を行わないで使用した場合の問題を充分理解した上で、お客様自身の判断と責任においてセキュリティに関する設定を行い、製品を使用することをお奨めします。

1.2 おことわり

■ご注意

- 本製品の故障・誤作動・不具合・通信不良、停電・落雷などの外的要因、第三者による妨害行為などの要因によって、通信機会を逃したために生じた損害などの経済損失につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 通信内容や保持情報の漏洩、改ざん、破壊などによる経済的・精神的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねます。
- 本製品のパッケージ等に記載されている性能値（スループット）は、当社試験環境下での参考測定値であり、お客様環境下での性能を保証するものではありません。また、バージョンアップ等により予告無く性能が上下することがあります。
- ハードウェア、ソフトウェア（ファームウェア）、外観に関しては、将来予告なく変更されることがあります。
- 本製品内部のソフトウェア（ファームウェア）更新ファイル公開を通じた修正や機能追加は、お客様サービスの一環として随時提供しているものです。内容や提供時期に関しての保証は一切ありません。
- 一般的に、インターネットなどの公衆網の利用に際しては、通信事業者との契約が必要になります。
- 通信事業者によっては公衆網に接続可能な端末台数を制限、あるいは台数に応じた料金を設定している場合がありますので、通信事業者との契約内容をご確認ください。
- 輸送費、設定、調整、設置工事などは、お客様負担となります。
- 本製品は日本の国内法（電気用品安全法・電波法等）のもとで利用可能な製品であるため、別途定める保証規定は日本国内でのみ有効です。海外での利用はできません。また、本製品ご利用の際は各地域の法令や政令などによって利用の禁止や制限がなされていないかご確認してください。
- 本製品を廃棄するときは、地方自治体の条例に従ってください。

■著作権等

- ユーザーズ・マニュアルに関する著作権は、プラネックスコミュニケーションズ株式会社に帰属します。ユーザーズ・マニュアルの記載内容の一部、または全部を転載または複製することを禁じます。
- ユーザーズ・マニュアルの記述に関する、不明な点や誤りなどございましたら、弊社までご連絡ください。
- ユーザーズ・マニュアルの記載内容は、将来予告なく変更されることがあります。

■電波に関するご注意

この装置は、クラス B 情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信妨害を起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

■RoHS 対応

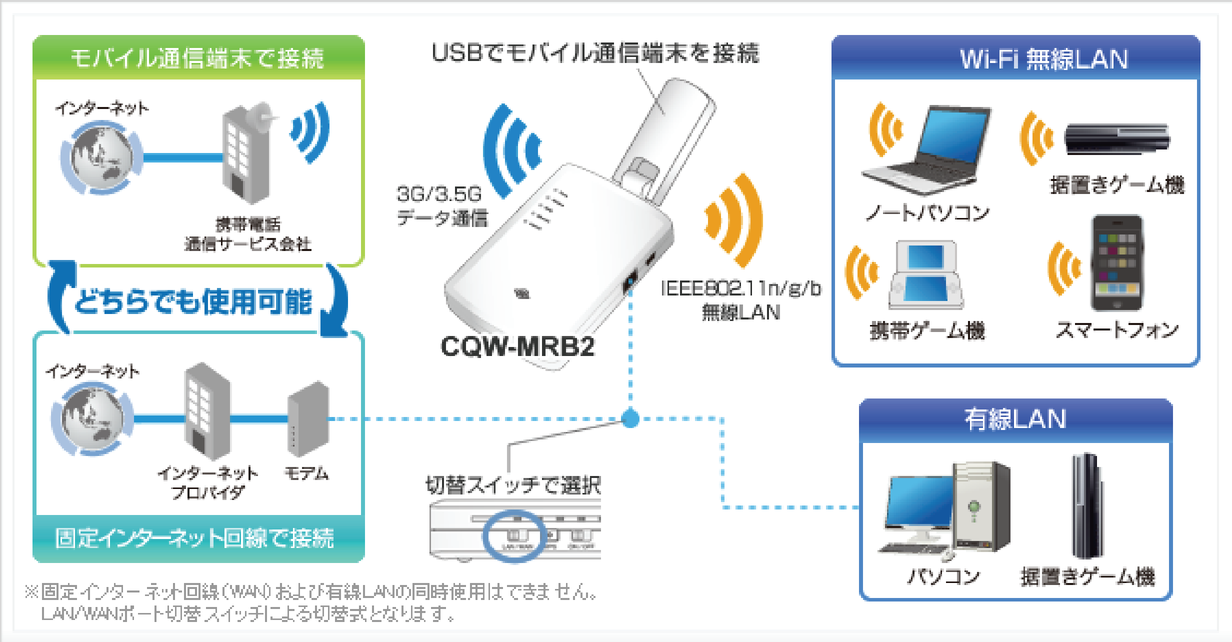
生産から廃棄処分にいたる製品のライフサイクルにおいて、人の健康や環境への負荷を最小限に抑えることを目的とし、プラネックスコミュニケーションズでは、EU（ 欧州連合）の RoHS 指令準拠を始めとし、環境汚染物質の削減を積極的に進めております。

第 2 章 はじめに

2.1 本製品の特長

✧ **バッテリー内蔵でいつでもどこでも Wi-Fi スポット！**

製品本体にバッテリーが内蔵されているので、電源の確保ができない場所でもモバイル通信端末が使える場所であれば簡単にインターネットを利用可能になります。カバンの中やポケットに入れて持ち歩けば、移動中や訪問先などいつでもどこでも Wi-Fi スポットを構築することができます。



✧ **次世代インフラ/ネットワークサービス対応**

各キャリアの豊富な 3G モバイル通信端末に対応。3G モバイル通信端末を接続可能な USB ポートを搭載しています。次世代モバイルネットワークサービスにも対応予定。外出先でも高速なインターネット接続が可能になります。

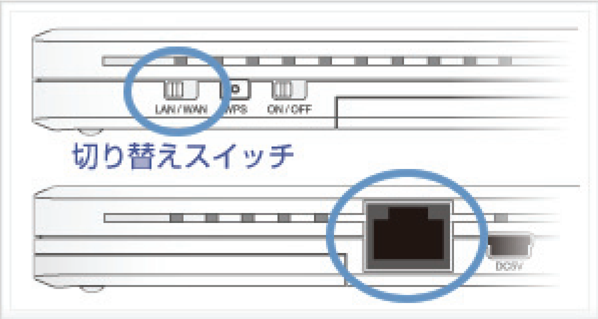
※3G モバイル通信端末の対応情報は製品ページにてご確認ください。

✧ **リチウムイオンバッテリー内蔵 4 時間の連続使用時間を実現**

従来製品の約 2 倍となる連続使用時間約 4 時間を実現し、長時間の外出や移動時でも快適にご利用いただけます。また充電機能を搭載し、未使用時にはモバイル機器の補助用バッテリーとしても使用可能。
携帯ゲーム機や iPhone など USB 充電に対応した機器への充電が可能です。

✧ **WAN / LAN 切り替え対応有線ポート搭載**

USB 接続のデータ通信端末で通信を行う場合は LAN として、固定回線を利用する場合は WAN として切り替えて使用できる有線 LAN ポートを搭載しています。データ通信端末と接続すれば場所を選ばずインターネットに接続、固定回線に接続しておけば高速 Wi-Fi ルータとして利用することができます。



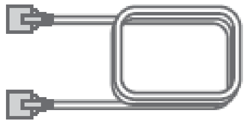
2.2 同梱物

パッケージに次の付属品が含まれていることを確認してください。

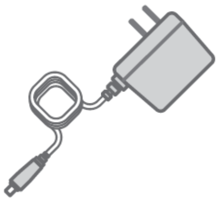
☐ CQW-MRB2（本製品）



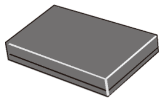
☐ LAN ケーブル



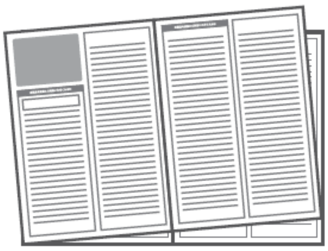
☐ AC アダプタ



☐ バッテリー



☐ 有線・無線接続ガイド
☐ 設定ガイド



☐ 安全に関する説明書／保証書



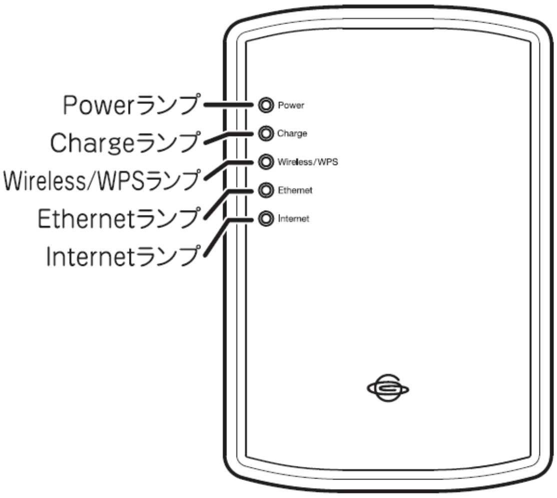
☐ キャリーケース

※パッケージ内容に破損または欠品があるときは、販売店または弊社までご連絡ください。

2.3 各部の名称とはたらき

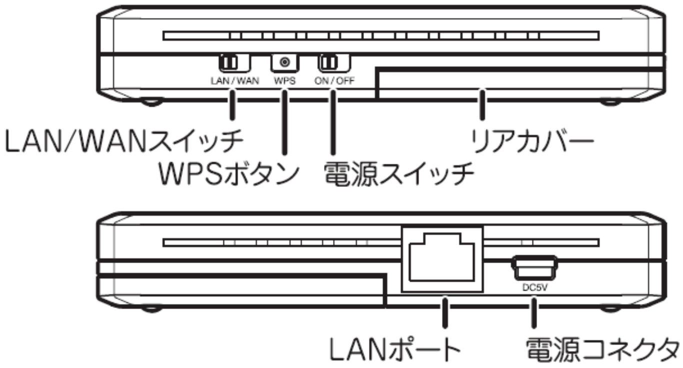
本製品各部の名称について説明します。

本製品前面



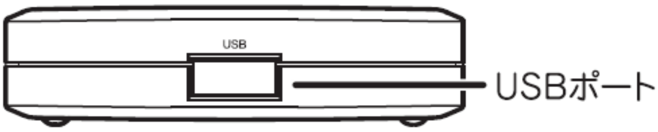
名称	色	機能説明	
Power ランプ	緑	点灯	電源がオンの状態です。
		消灯	電源がオフの状態です。
Charge ランプ	緑	点灯	バッテリーが充電中の状態です。
		消灯	バッテリー残量が不十分の状態です。（電源スイッチオン時）
Wireless/WPS ランプ	緑	点灯	WPS 接続を試みている状態です。
		点滅	無線 LAN 機能が有効です。
		消灯	無線 LAN 機能が無効です。
Ethernet ランプ	緑	点灯	Ethernet ポートに LAN ケーブルが接続されている状態です。
		点滅	データの送受信中です。
		消灯	Ethernet ポートに LAN ケーブルが接続されていない状態です。
Internet ランプ（3G モバイル端末接続時）	緑	点灯	インターネットに接続した状態です。
		点滅	インターネットに接続を試みている状態です。
		消灯	3G モバイル端末が接続されていない状態です。
Internet ランプ（インターネット回線接続時）	緑	点灯	インターネットに接続した状態です。
		点滅	インターネットに接続を試みている状態です。
		消灯	インターネット回線が接続されていない状態です。

本製品側面



名称	機能説明
LAN/WAN スイッチ	LAN ポートを用途に合わせて切り替えます。 **●WAN** ADSL、FTTH、ケーブルモデムと接続する時は"WAN"側に切り替えます。 **●LAN** パソコンと有線で接続するときは"LAN"側に切り替えます。
WPS ボタン	**●WPS 接続** WPSボタンを「5～10秒」押して離すと、WPS（無線LAN簡単設定機能）接続が有効になります。 **●初期化** WPS ボタンを「25 秒以上」押して離すと、初期化を開始します。 （操作方法） 1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。 2. WPS ボタンを **25 秒以上**長押しします。 3. 本製品上面の「Power」ランプが点灯→点滅の順に動作し、さらに点滅→消灯したら離します。 4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。
電源スイッチ	本製品の電源をオン/オフに切り替えます。
リアカバー	バッテリーの交換を行うときに取り外します。
電源コネクタ	電源アダプタのコネクタを挿し込みます。
LAN ポート	**●LAN/WAN 切替スイッチが"WAN"側のとき**: ADSL、FTTH、ケーブルモデムと接続する LAN ケーブルを接続します。 **●LAN/WAN 切替スイッチが"LAN"側のとき**: パソコンと接続する LAN ケーブルを接続します。

本製品上面



名称	機能説明
USB ポート	3G モバイル端末を接続します。 ※本製品をモバイル機器のバッテリーとして使用するときは、「2.5 モバイル機器のバッテリーとして使用する」を参照してください。

2.4 工場出荷時の設定値

本製品の工場出荷時の設定内容は以下のとおりです。

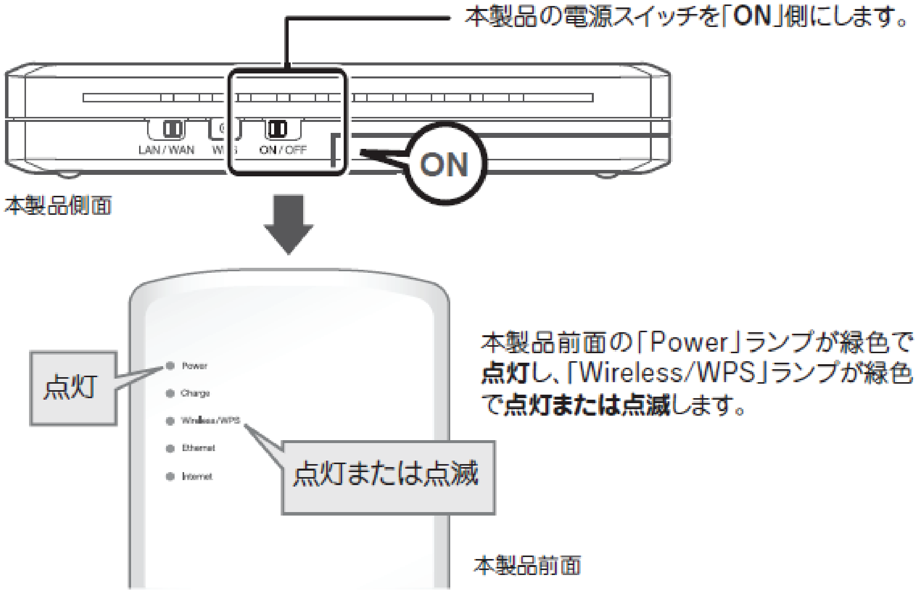
名称	設定値
ユーザ名（ログイン ID）	admin
パスワード	password
IP アドレス	192.168.1.1
ネットワーク名（SSID）	planexuser
ネットワーク認証	共有キー
データの暗号化	WEP（64bit）／文字列（5 文字）
キーのインデックス	1
暗号化キー	本製品背面にあるラベル内の「WEP Key」を確認してください。  ※初期設定の WEP キーは半角英数の 5 文字となります。 ※WEP キーは製品ごとに異なります。

2.5 モバイル機器のバッテリーとして使用する

本製品はモバイル機器のバッテリーとして使用することが可能です。
USB 充電に対応したモバイル機器を接続して、本製品のバッテリー機能を使用するときは、以下の方法でモードを切り替えてください。

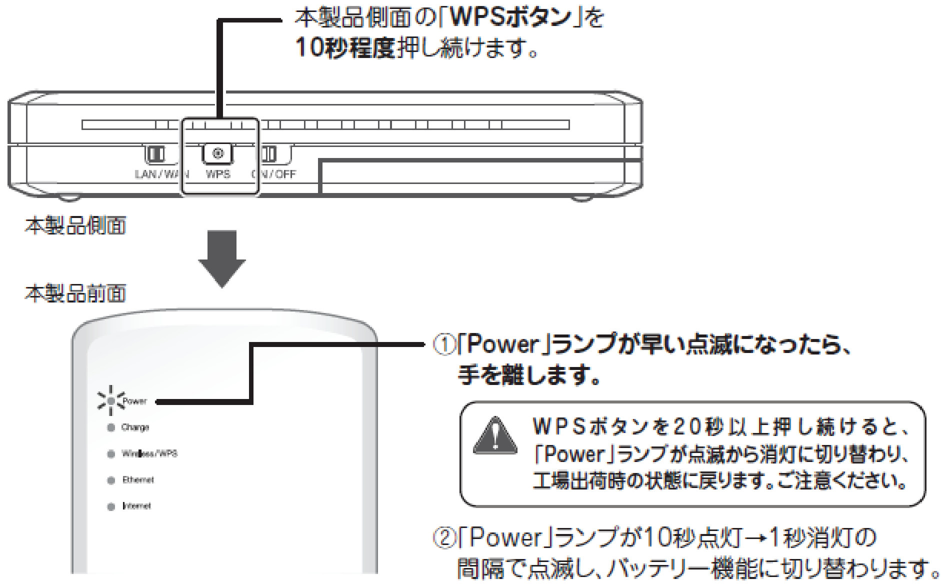
※本製品の充電が不足していると、バッテリー機能が動作しない場合があります。本製品を充電してから、バッテリー機能をご利用ください。
※バッテリー機能にモードを切り替えると、インターネット機能や無線 LAN 機能は停止します。
※お使いの機器によっては、バッテリー機能がご利用いただけない場合があります。

1.

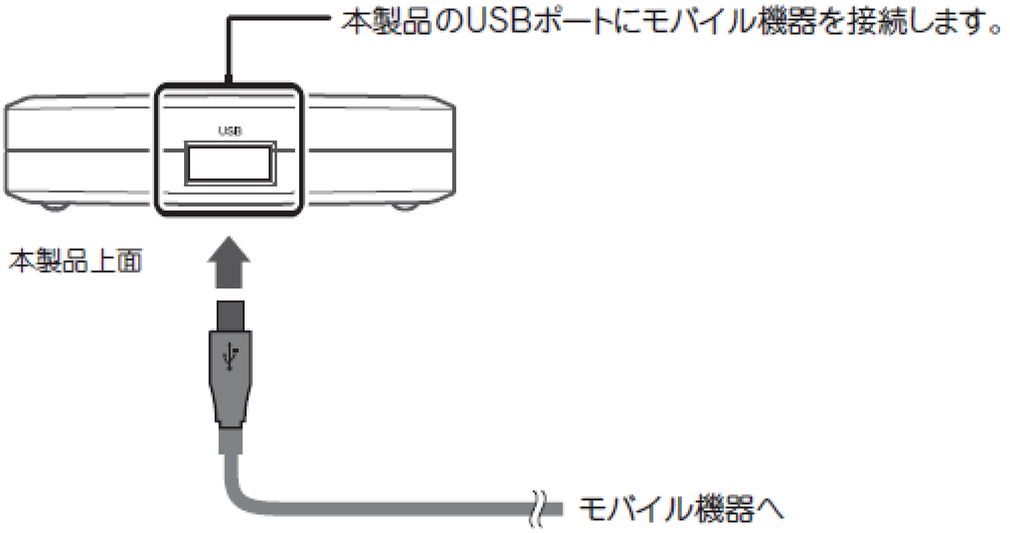


※ランプが点灯・点滅して 2 分程お待ちいただいてから、次の手順に進んでください。
※本製品にバッテリーが挿入されていないときは、AC アダプタを接続してください。

2.

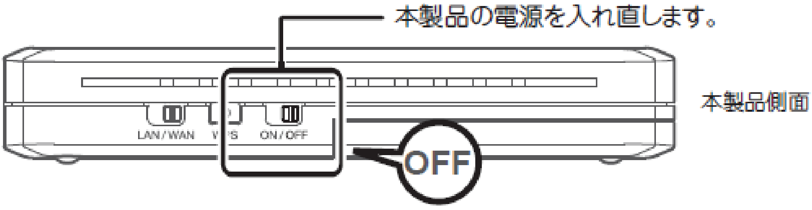


3.



バッテリー機能を解除するとき

バッテリー機能を解除して、インターネット機能・無線LAN機能に戻すときは、電源スイッチをオフにし、電源を入れ直してください。



第 3 章　インターネットの設定

3.1　インターネット回線を接続

本製品を通信機器、またはインターネット回線に接続します。3G　モバイル端末の接続と、インターネット回線の接続の、それぞれの接続方法を説明します。

3G 通信端末を使って本製品をインターネットに接続するとき

　⇒ **「3.1.1　3G モバイル端末を接続」へ**

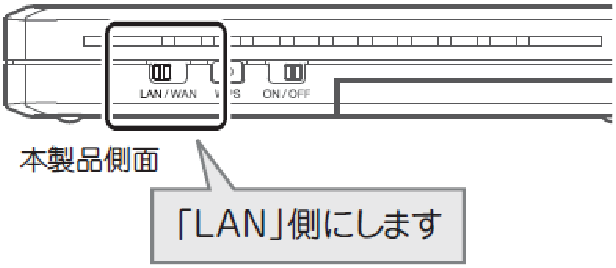
LAN ケーブルを使って本製品をインターネットに接続するとき

　⇒ **「3.1.2　インターネット回線を接続」へ**

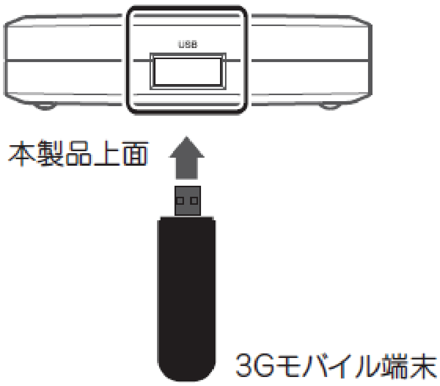
3.1.1 3G モバイル端末を接続

ここでは、3G モバイル端末を接続する方法を説明します。

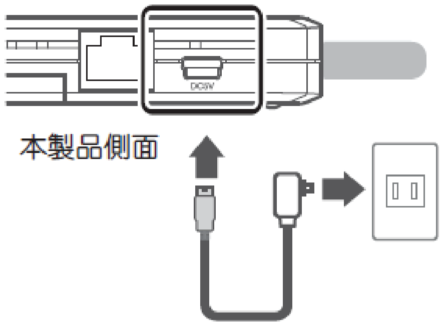
1. 本製品側面の LAN/WAN スイッチが「LAN」側になっていることを確認します。



2. 本製品の USB ポートと 3G モバイル端末を接続します。

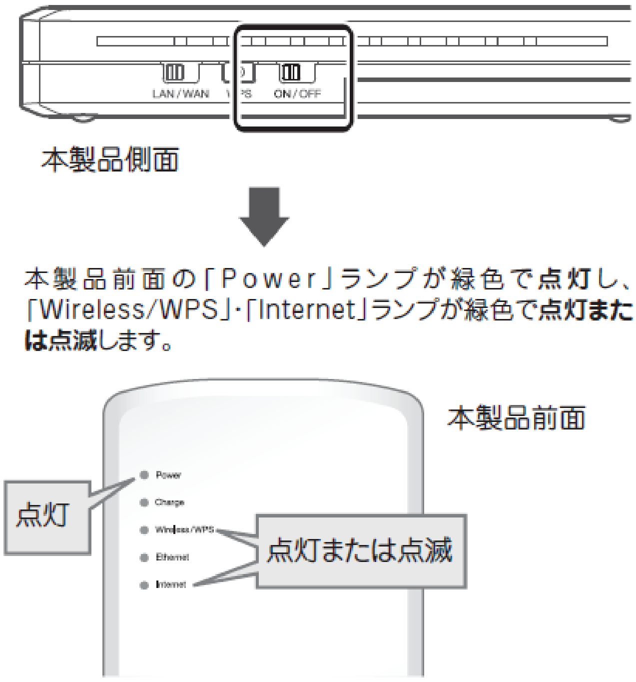


3. 付属の AC アダプタを本製品の電源端子とコンセントに接続します。



※バッテリーが挿入された状態で AC アダプタを本製品とコンセントにつないだときは、本製品前面の「Charge」ランプが緑色に点灯します。

4.　本製品の電源スイッチを「ON」側にします。



※ランプが点灯または点滅しない場合は、3G モバイル端末及び、AC アダプタがしっかりと挿し込まれているか確認してください。

※ランプが点灯または点滅して 2 分程お待ちいただいてから、次の手順に進んでください。

※バッテリーを挿入しないで電源を入れたときは、「Power」ランプが緑色に点滅します。

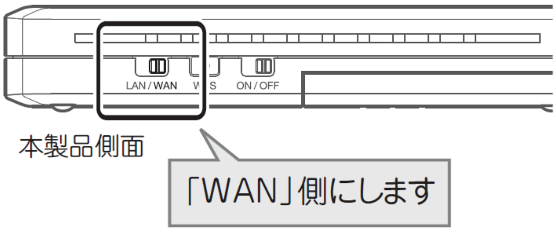
以上で接続は完了です。

続いて「3.2　パソコン／iPhone を接続」に進みます。

3.1.2 インターネット回線を接続

ここでは、インターネット回線を接続する方法を説明します。

1. 本製品側面の LAN/WAN スイッチが「WAN」側になっていることを確認します。



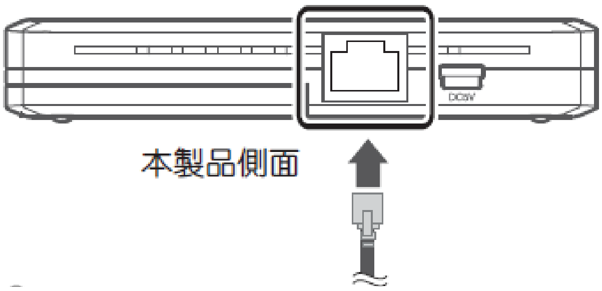
2. モデム※と設定用パソコンの電源をオフにします。

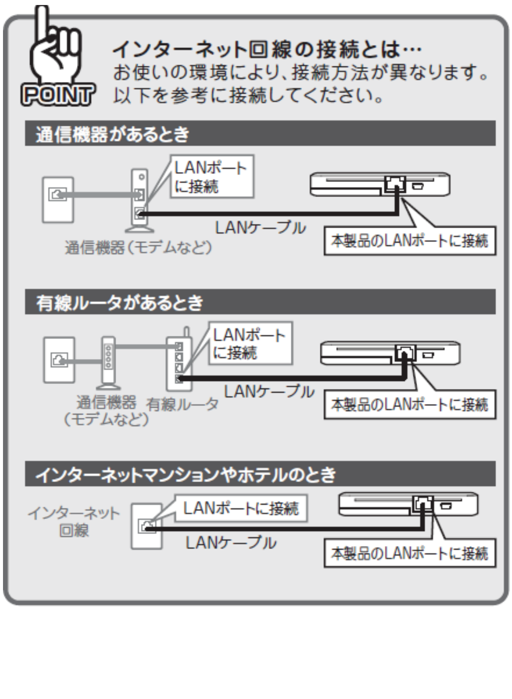
※モデムとは、プロバイダや回線事業者から、レンタルされている機器をここでは指します。

例：ADSL モデム、ケーブルモデム、終端装置（ONU・CTU）など

※インターネットマンションやホテルでインターネットの接続をするときは、手順 3 に進んでください。

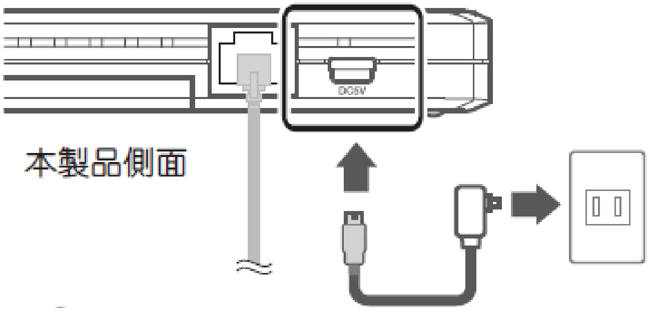
3. 付属の LAN ケーブルを使って、本製品の「LAN ポート」にインターネット回線を接続します。





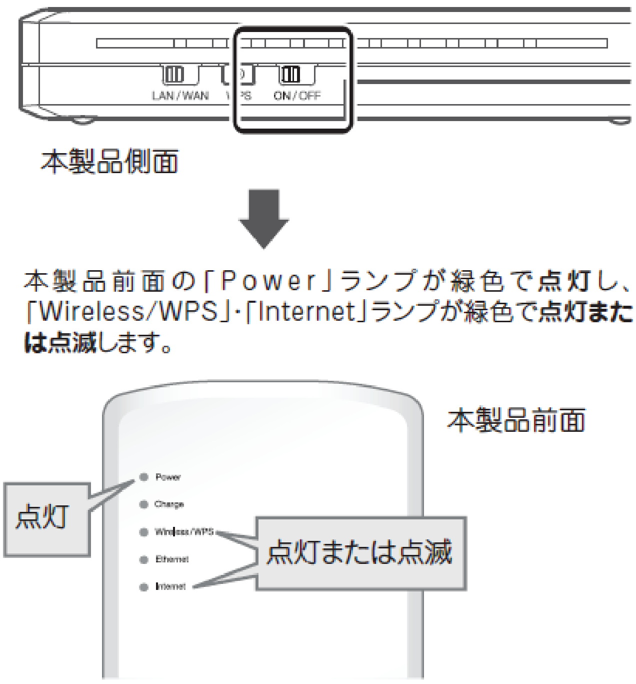
4. モデムの電源をオンにします。

5. 付属の AC アダプタを本製品の電源端子とコンセントに接続します。



※バッテリーが挿入された状態で AC アダプタを本製品とコンセントにつないだときは、本製品前面の「Charge」ランプが緑色に点灯します。

6. 本製品の電源スイッチを「ON」側にします。



※ランプが点灯または点滅しない場合は、3G モバイル端末及び、AC アダプタがしっかりと挿し込まれているか確認してください。

※ランプが点灯または点滅して 2 分程お待ちいただいてから、次の手順に進んでください。

※バッテリーを挿入しないで電源を入れたときは、「Power」ランプが緑色に点滅します。

以上で接続は完了です。

続いて「3.2 パソコン／iPhone を接続」に進みます。

3.2 パソコン／iPhone を接続

本製品に、パソコンや iPhone を接続します。

該当する項目を参照してください。

- iPhone や iPad を無線 LAN で接続するとき……………………「3.2.1 iPhone・iPad」
- Windows 7 のパソコンを無線 LAN で接続すると き………「3.2.2 Windows 7」
- Windows Vista のパソコンを無線 LAN で接続するとき… 「3.2.3 Windows Vista」
- Windows XP のパソコンを無線 LAN で接続するとき…… 「3.2.4 Windows XP」
- Mac OS X のパソコンを無線 LAN で接続するとき……… 「3.2.5 Mac OS X」
- 無線 LAN アダプタを使用して接続するとき………………「3.2.6 無線 LAN アダプタを使用する」
- WPS 機能と使用して無線 LAN 接続するとき…………… 「3.2.7 WPS ボタンを使用する」
- パソコンを有線 LAN で接続するとき………………………「3.2.8 有線 LAN で接続」

3.2.1 iPhone・iPad

1. iPhone・iPad のメインメニューより「設定」をタッチします。



2. 設定メニューの「Wi-Fi」をタッチします。



3. Wi-Fi を「オン」にします。



4.　「ワイヤレスネットワークを選択」にて、「planexuser」をタッチします。



5.　本製品の暗号化キーを入力します。

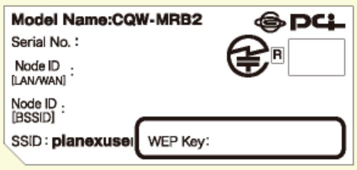
（1）本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2）「JOIN」をタッチします。



POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



6.　手順 4 でタップしたネットワーク名（SSID）の左に、チェックマーク（ ）が表示されていることを確認します。

以上で接続は完了です。

続いて「3.3　本製品の設定」に進みます。

3.2.2 Windows 7

※ 内蔵無線 LAN を有効にする為の「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、予め「オン」にしてください。操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

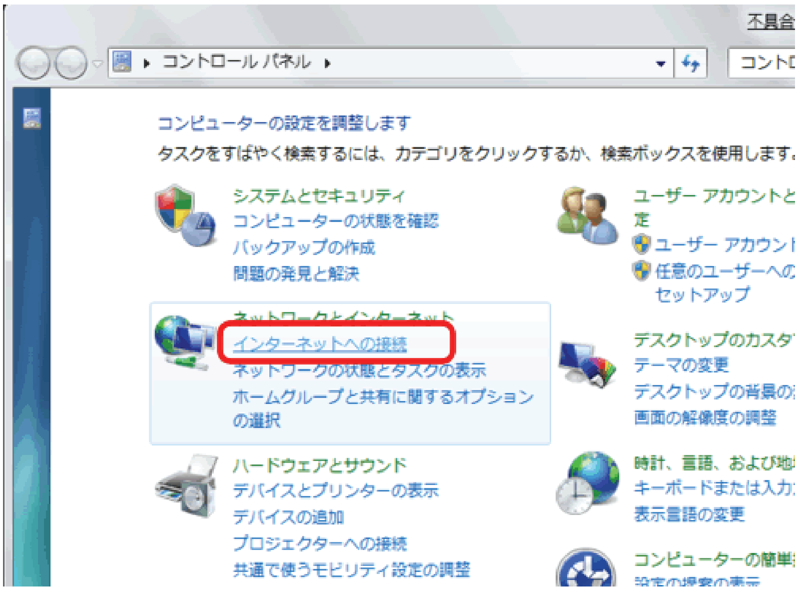
※ パソコンによっては、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。そのときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

1. (1)「スタート」をクリックします。

   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



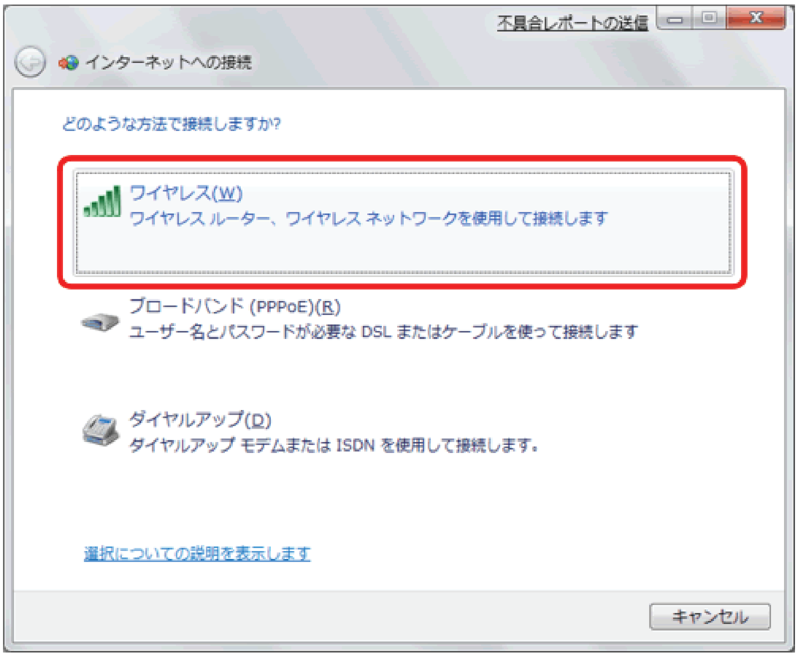
2. 「インターネットへの接続」をクリックします。



※「インターネットへの接続」が無い場合は、「ネットワークの状態とタスクの表示」→「ネットワークに接続」をクリックし、手順 4 に進みます。

※コントロールパネルがアイコン表示の場合は、「ネットワークと共有センター」→「ネットワークに接続」をクリックし、手順 4 に進みます。

3. 「ワイヤレス(W)」をクリックします。



4.　(1)「planexuser」を選びます。

(2)「接続」をクリックします。



※「planexuser」が表示されないときは、以下の操作をしてください。

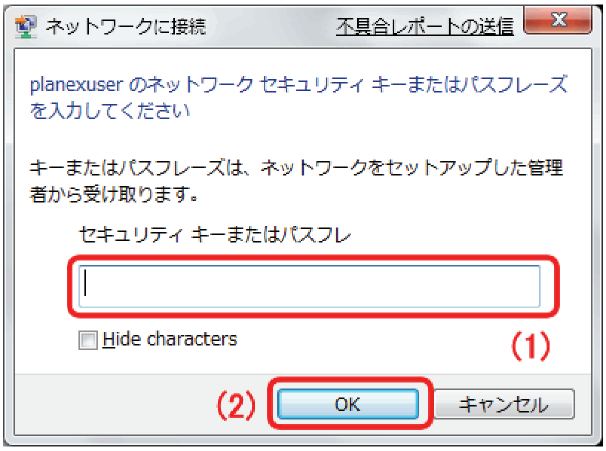
・ 画面右上の更新ボタンをクリックしてください。

・ 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

5.　本製品の暗号化キーを入力します。

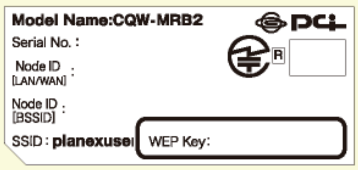
(1)本製品背面のラベルに記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

(2)[OK]をクリックします。





●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



6. (1)システムトレイの「ワイヤレスネットワーク接続」のアイコンをクリックします。
(2)「接続」と表示されていることを確認します。



※「制限付きアクセス」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、「接続」と表示されているか確認ください。
※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

7. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選びます。
※「ネットワークの場所の設定」画面が表示されないときは、本手順は終了です。次の手順に進んでください。
※「ネットワークの場所の設定」画面について、詳しくは画面左下の「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

以上で接続は完了です。
続いて「3.3 本製品の設定」に進みます。

3.2.3 Windows Vista

※ 内蔵無線 LAN を有効にする為の「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、予め「オン」にしてください。操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

※ パソコンによっては、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。そのときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

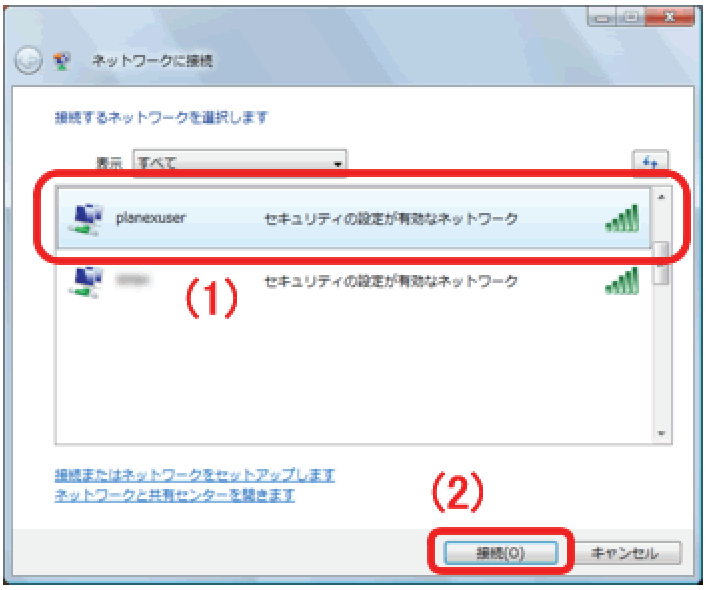
1. (1)「スタート」をクリックします。
   (2)「接続先」をクリックします。



2.　本製品の SSID（ネットワーク名）に接続します。

（1）「planexuser」を選びます。

（2）［接続］をクリックします。



※「planexuser」が表示されないときは、以下の操作をしてください。

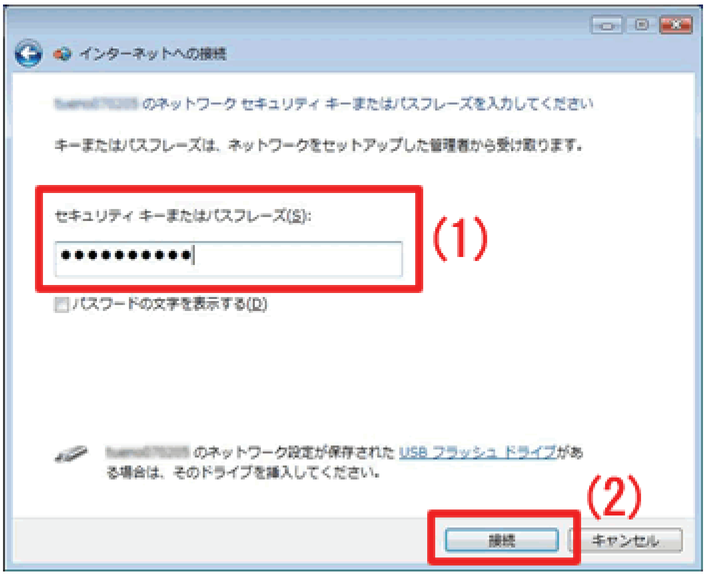
・ 画面右上の更新ボタンをクリックしてください。

・ 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

3.　本製品の暗号化キーを入力します。

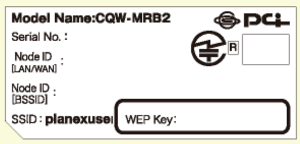
（1）本製品背面のラベルに記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2）［接続］をクリックします。



POINT

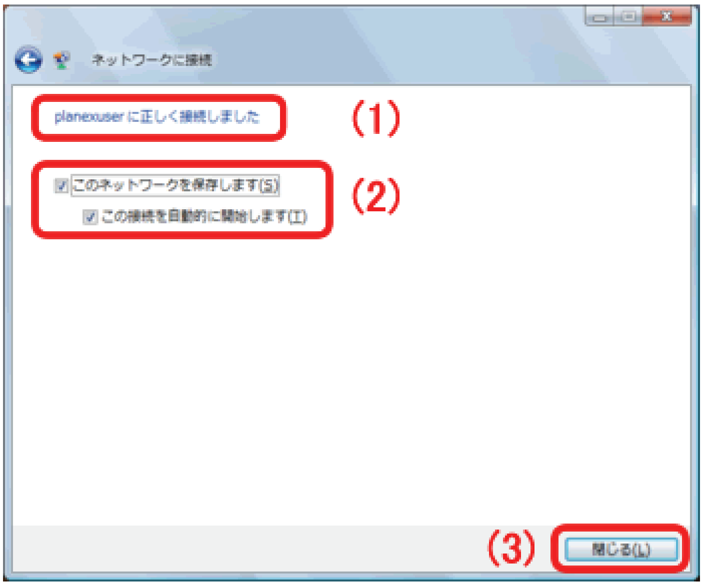
●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



4. (1)「planexuser に正しく接続しました」と表示されることを確認します。

(2)「このネットワークを保存します」と「この接続を自動的に開始します」にチェックを入れます。

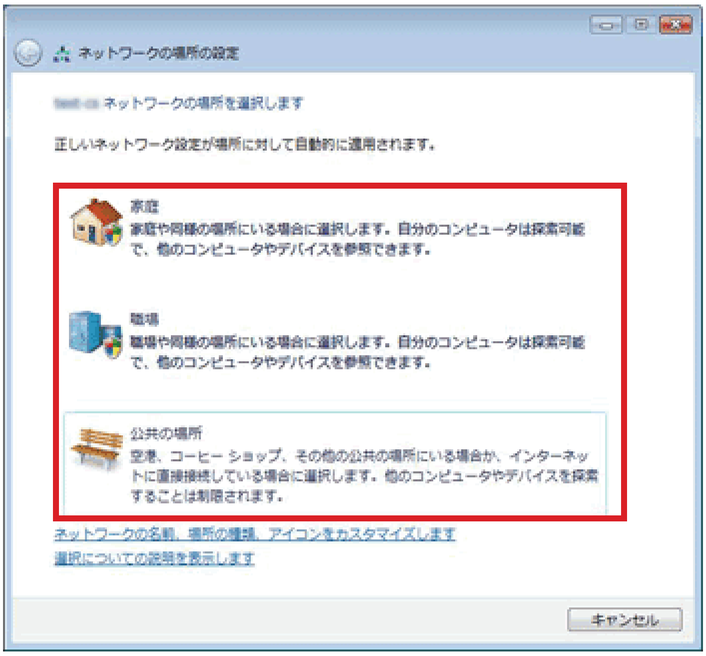
(3)[閉じる]をクリックします。



※「接続に失敗しました」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、もう一度手順 1 から接続してください。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

5. 「ネットワークの場所の設定」画面が表示されたときは、任意の場所を選びます。



※「ユーザーアカウント制御」の画面が表示されたら、[続行]をクリックし、次の画面で[閉じる]をクリックします。

※上記の画面が表示されないときは、本手順は終了です。次の手順に進んでください。

※上記の画面について、詳しくは画面左下の「選択についての説明を表示します」をクリックし、記載されている内容を確認して、設定してください。

以上で接続は完了です。
続いて「3.3　本製品の設定」に進みます。

3.2.4 Windows XP

※ 内蔵無線 LAN を有効にする為の「オン/オフ」スイッチがパソコン本体についているときは、予め「オン」にしてください。操作方法がご不明なときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

※ パソコンによっては、メーカー独自の無線接続ソフトを使用する場合があります。そのときは、各メーカーの取扱説明書を参照してください。

1. (1)「スタート」をクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

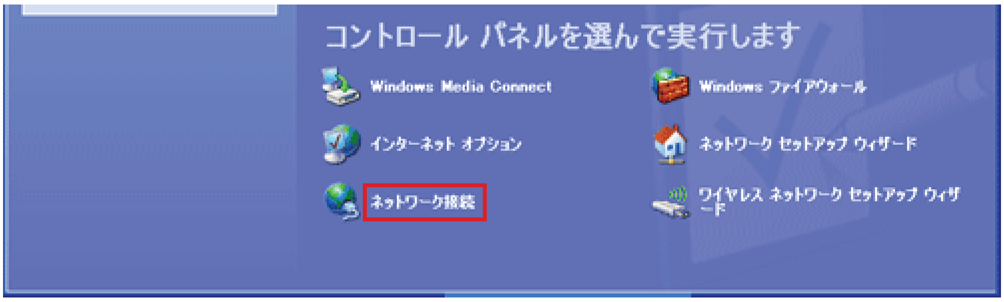


2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



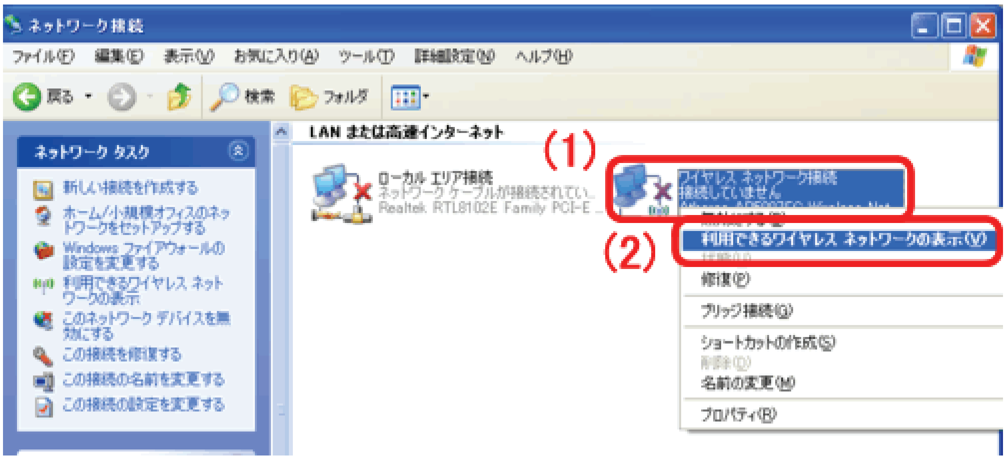
※クラシック表示のときは、「ネットワーク接続」をダブルクリックし、手順 4 に進んでください。

3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



4. (1)「ワイヤレスネットワーク接続」を右クリックします。

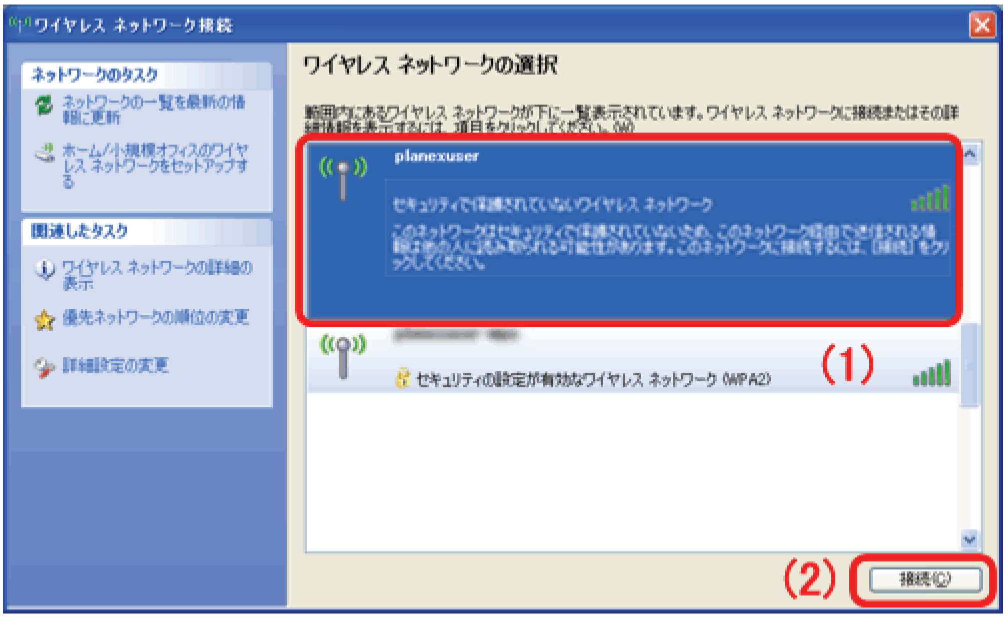
(2)「利用できるワイヤレスネットワークの表示」をクリックします。



5. 本製品の SSID（ネットワーク名）に接続します。

（1）「planexuser」を選びます。

（2）［接続］をクリックします。



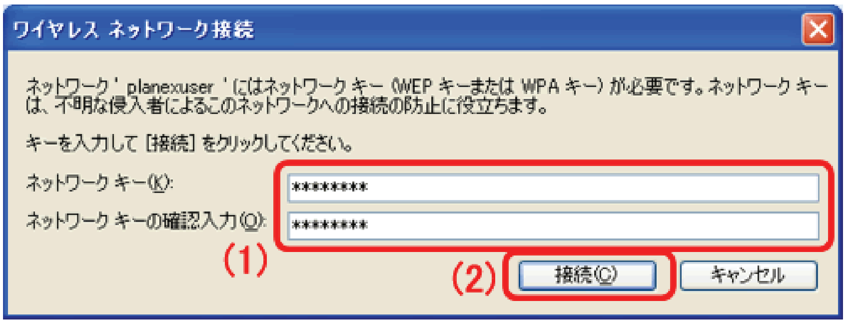
※「planexuser」が表示されないときは、以下の操作をしてください。

- 画面左の「ネットワークの一覧を最新に更新」をクリックして更新してください。
- 本製品の電源が入っているか、パソコンの内蔵無線 LAN がオンになっているかを確認してください。

6. 本製品の暗号化キーを入力します。

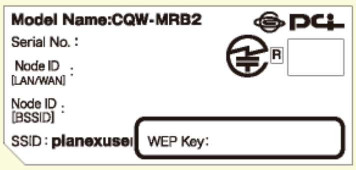
（1）本製品背面のラベルに記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2）［接続］をクリックします。

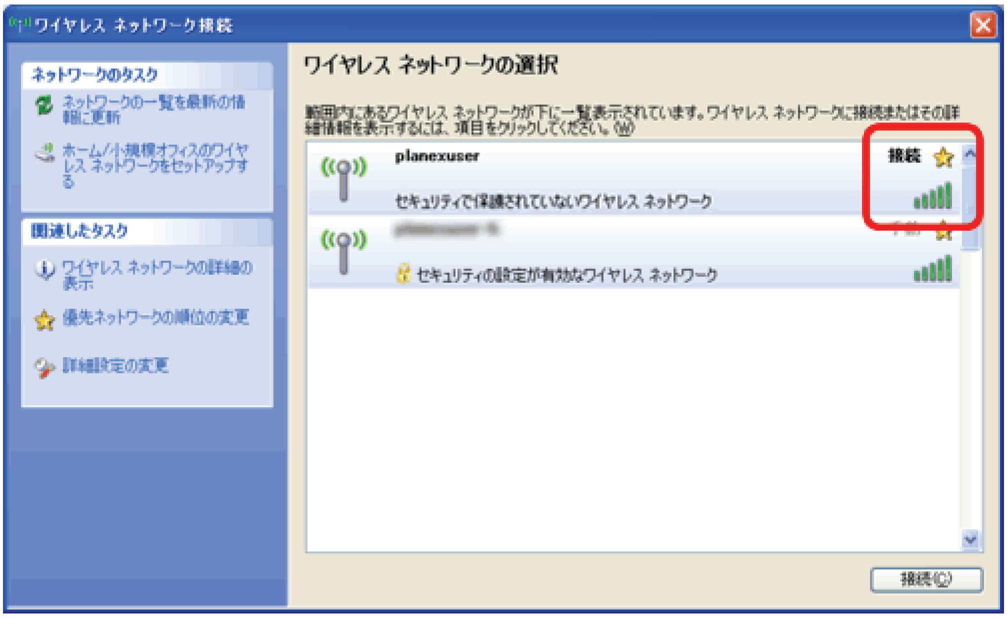


POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



7. 「接続」と表示されていることを確認します。



※「接続に失敗しました」などと表示されるときは、2～3 分ほどお待ちいただいてから、もう一度手順 1 から接続してください。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

以上で接続は完了です。

続いて「3.3　本製品の設定」に進みます。

3.2.5　Mac OS X

※　Mac OS X 10.5 の画面を使って説明しますが、Mac OS X 10.6/10.4 も同じ操作となります。
（お使いの環境によって、多少画面が異なる場合があります。）

1.　(1)画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。
(2)「AirMac を入にする」をクリックします。



※「AirMac を切にする」と表示されているときは、手順 2 へ進んでください。

メニューバーに「AirMac」が表示されていないときは、以下の手順で表示を有効にしてください。

①画面左上のアップルメニューをクリックします。
②「システム環境設定」をクリックします。
③「ネットワーク」をクリックします。
④ネットワーク画面左の「AirMac」をクリックします。
⑤ネットワーク画面内の「メニューバーに AirMac の状況を表示」にチェックを入れます。



⑥画面を閉じ、上記の手順 1 に戻ります。

2. 本製品の SSID（ネットワーク名）に接続します。

（1）画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。

（2）「planexuser」をクリックします。

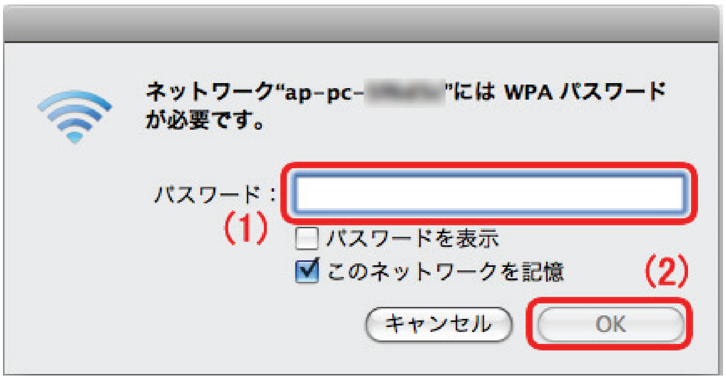


※「planexuser」が表示されないときは、もう一度メニューバーの「AirMac」をクリックしてください。

3. 本製品の暗号化キーを入力します。

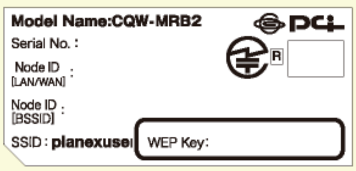
（1）本製品背面のラベルに記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2）［OK］をクリックします。



POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



4.　(1)画面右上のメニューバーの「AirMac」をクリックします。

(2)「planexuser」の左に、チェックマークが表示されていることを確認します。



以上で接続は完了です。

続いて「3.3　本製品の設定」に進みます。

3.2.6 無線 LAN アダプタを使用する

お使いの機器により接続方法が異なります。無線 LAN アダプタの取扱説明書をご確認頂き、以下の本製品の初期値の内容を設定して接続してください。

※ 設定を始める前に、あらかじめ無線 LAN 子機のソフトウェアやユーティリティを パソコンにインストールしておいてください。

【本製品の初期値】

ネットワーク名（SSID）	planexuser
ネットワーク認証	共有キー
データの暗号化	WEP（64bit）／文字列（5 文字）
キーのインデックス	1
暗号化キー	本製品背面にあるラベル内の「WEP Key」を確認してください。  ※初期設定の WEP キーは半角英数の 5 文字となります。 ※WEP キーは製品ごとに異なります。

以上で接続は完了です。
続いて「3.3 本製品の設定」に進みます。

3.2.7 WPS ボタンを使用する

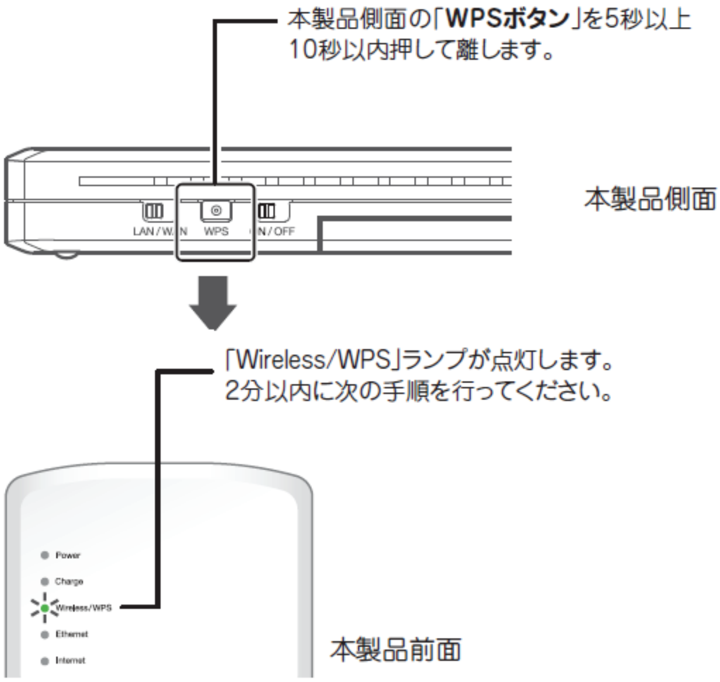
ご利用の無線 LAN アダプタが WPS 機能に対応している場合は、以下の手順を行ってください。

※ ご利用の無線 LAN アダプタが WPS 機能に対応している場合は、以下の手順を行ってください。

1. WPS 対応の無線 LAN 子機を取り付けたパソコンを用意し、本製品とパソコンの電源がオンになっていることを確認します。



2.



3. 無線 LAN 子機の「WPS ボタン」、または接続ユーティリティ上の「WPS ボタン」を押します。

※WPS のボタンの有無や位置、設定方法 については、機種ごとに異なります。詳細は各無線 LAN 子機の取扱説明書をご確認ください。

※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

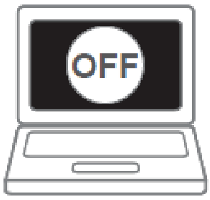
以上で接続は完了です。

続いて「3.3 本製品の設定」に進みます。

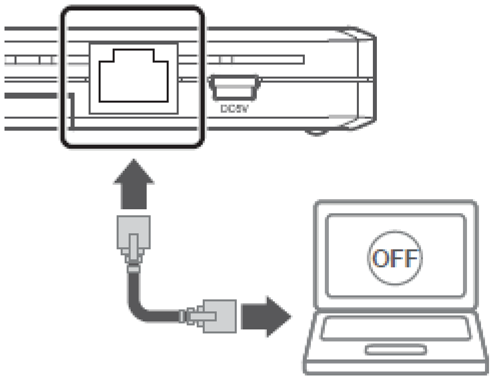
3.2.8 有線 LAN で接続

※本製品にインターネット回線を接続したときは、LAN ケーブルがもう一本必要になります。別途用意してください。

1. パソコンをオフにします。

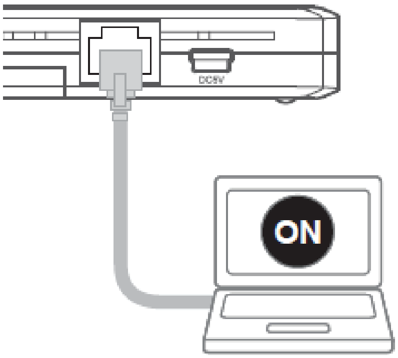


2. 本製品の LAN ポートと、パソコンの LAN ポートを別途用意した LAN ケーブルで接続します。



※LAN ポートとは、電話線のモジュラジャックより一回り大きいポートのことを指します。

3.　パソコンをオンにします。



※ウィルス対策ソフトのメッセージ画面が表示されたときは、アクセスを許可してください。

4.　本製品前面の「Ethernet」ランプが緑色で点灯または点滅します。



以上で接続は完了です。
続いて「3.3　本製品の設定」に進みます。

3.3 本製品の設定

設定画面を開き、インターネットのご利用に必要な本製品の初期設定を行います。
3G モバイル端末を接続したときと、インターネット回線を接続したときの設定方法を説明します。

3G モバイル端末を接続したとき

⇒ **「3.3.1　3G モバイル端末の設定」へ**

インターネット回線を接続したとき

⇒ **「3.3.2　インターネット回線の設定」へ**

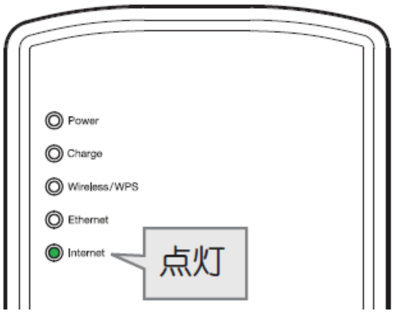
3.3.1 3G モバイル端末の設定

ここでは、3G モバイル端末を接続したときの設定方法を説明します。

1. はじめに本製品前面の「Internet」ランプを確認します。

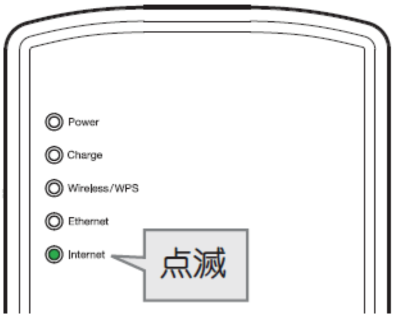
◆ **「Internet」ランプが点灯したとき**

本製品前面の「Internet」ランプが 3 分ほど経って、**点滅から点灯**に切り替わったときは、自動的に接続されています。WEB ブラウザを起動し、そのまま「3.4 接続状況を確認する」に進んでください。



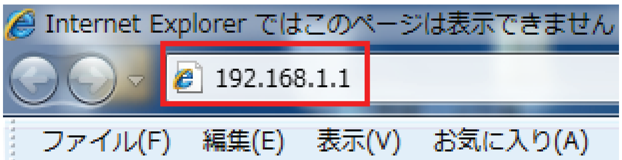
◆ **「Internet」ランプが点滅のままのとき**

3 分ほど経っても、本製品前面の「Internet」ランプが**点滅のまま**のときは設定が必要です。そのまま手順 2 に進んでください。



2. WEB ブラウザを起動します。

3. アドレス欄に IP アドレス「192.168.1.1」を入力し、<Enter>を押します。

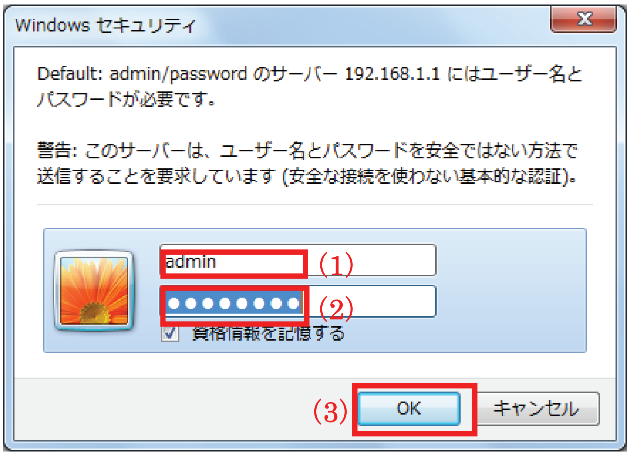


4.　ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、ログインします。

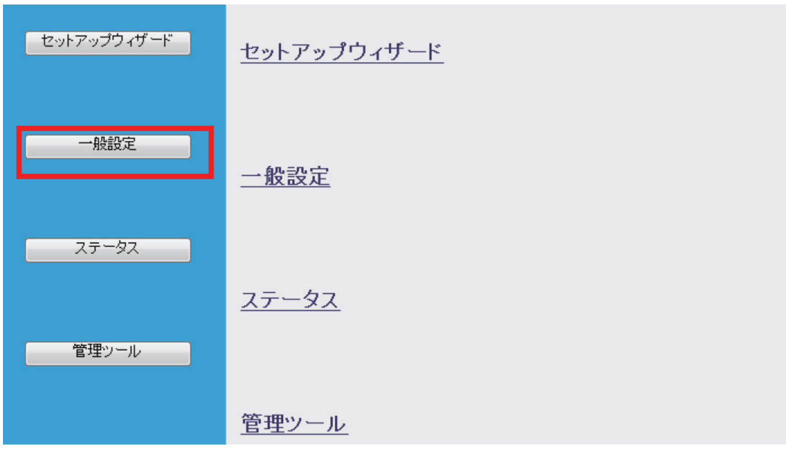
（1）ユーザ名：半角英数で「admin」（エー・ディー・エム・アイ・エヌ）を入力します。

（2）パスワード：半角英数で「password」（ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー）を入力します。

（3）[OK]をクリックします。



5.　設定画面が表示されるので、「一般設定」をクリックします。



6.　インターネット接続を行う WAN 側のタイプを選びます。

（1）「WAN」をクリックします。

（2）「3G/3.5G/LTE」をクリックします。



7.　接続先の設定方法を以下の三つの中から選びます。

・設定画面に登録済みの機種を選択する

⇒ 【標準の接続先を使用】のとき

・設定画面に未登録の機種を入力する

⇒ 【接続先を指定する】とき

・APN（アクセスポイント名）を入力して接続先を指定する

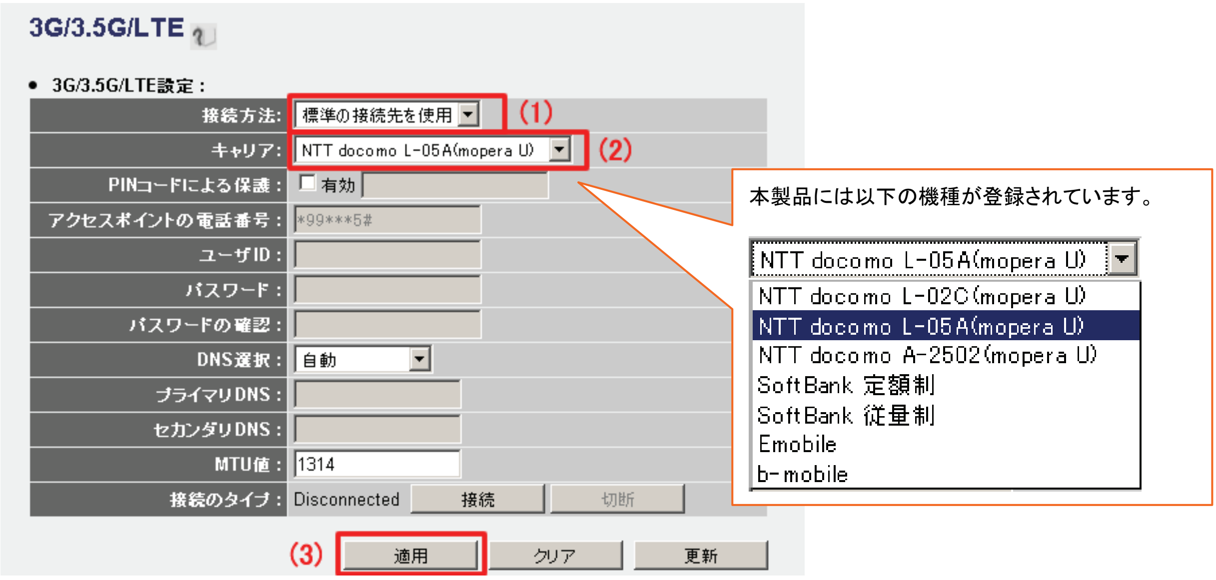
⇒ 【APN 設定】のとき

【標準の接続先を使用】のとき

（1）「標準の接続先を使用」を選びます。

（2）お使いの機種に合わせて「キャリア」を選びます。

（3）「適用」をクリックします。



※　「docomo L-02C」を使用するときは、「docomo L-02C」用のソフトウェアが最新版になっていることを確認してください。尚、バージョンの確認方法やソフトウェアの更新方法は「docomo L-02C」の取扱説明書を参照してください。

※　「docomo L-02C」を使用するときで、無通信状態が 2 時間続くと接続が切断されます。自動切断させたくない場合は、以下の「フェイルオーバー」の設定を行ってください。

但し、ご契約プランが「**従量制**」のときは通信費が請求されますので、ご注意ください。

①WEB 設定画面より、「一般設定」→「フェイルオーバー」の順にメニューをクリックします。

②以下の設定を行います。



※ 従量制など、パケットの使用量やインターネットの利用時間によって料金が変動するものもありますので、インターネットを利用しないときは接続を切断してください。

※ 通信会社とのご契約が従量制のときは、パケット量やご利用時間により料金が発生します。インターネットに接続しないときは、[切断]ボタンをクリックして、接続を切断してください。

※ ご契約が定額データプランであっても、以下のような誤った設定により従量制で通信し別途パケット通信料が請求される場合があります。ご注意ください。

例 1)docomo 社の 3G モバイル端末を本製品に接続し、「キャリア」の機種選択にて「Emobile 端末」を設定したとき。

例 2)docomo 社の 3G モバイル端末を本製品に接続し、手動設定にて「アクセスポイントの電話番号」に「*99***1#」を設定したとき。

※ NTT ドコモの「定額データプラン」をご利用時でも、他の従量制データ通信サービスや国際ローミングをご利用されるときには定額通信の対象外となり、別途 NTT ドコモから通信料が請求されます。ご注意ください。

手順 8 へ進みます。

【接続先を指定する】とき

(1)「接続先を指定する」を選びます。
(2)契約のアクセスポイントの電話番号を入力します。
(3)プロバイダから提供されているユーザ ID を入力します。
(4)プロバイダから提供されているパスワードを入力します。
(5)確認のために「パスワード」で入力したパスワードを入力します。
(6)「適用」をクリックします。



※ 従量制など、パケットの使用量やインターネットの利用時間によって料金が変動するものもありますので、インターネットを利用しないときは接続を切断してください。

手順 8 へ進みます。

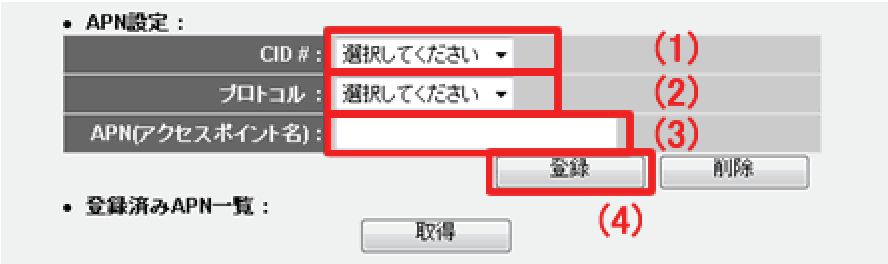
【APN 設定】のとき

(1)CID の番号を任意に選びます。

(2)プロトコルを「ppp」または「ip」から選びます。

(3)アクセスポイント名を入力します。

(4)[登録]をクリックします。



※接続する APN の設定情報がわからないときは、プロバイダから提供された契約書を確認してください。

※APN の設定ができないときは、「接続のタイプ」の[切断]ボタンをクリックし、インターネット接続を無効にしてください。

※[取得]ボタンをクリックすると、接続中の USB データ通信アダプタから APN の情報が取得できます。使用されていない「CID」の番号など APN の情報を確認したいときはクリックしてください。

(5)「接続先を指定する」を選びます。

(6)契約のアクセスポイントの電話番号を入力します。

※アクセスポイントの電話番号のあとに、(1)で設定した CID の番号を入力します。

例)アクセスポイントの電話番号が「*99***」、接続する APN の CID が「1」のときは「*99***1#」となります。

(7)プロバイダから提供されているユーザ ID を入力します。

(8)プロバイダから提供されているパスワードを入力します。

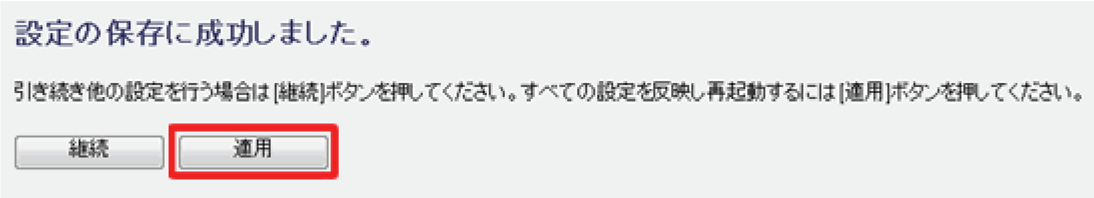
(9)確認のために「パスワード」で入力したパスワードを入力します。

(10)[適用]をクリックします。

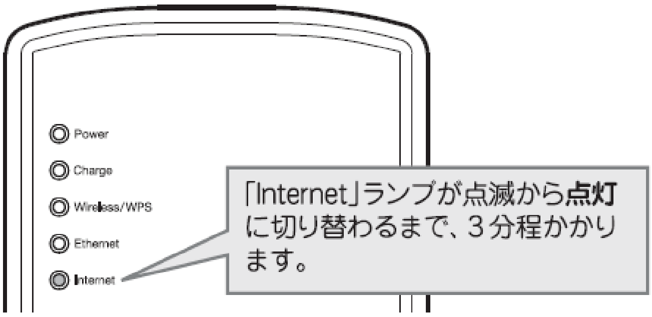


手順 8 へ進みます。

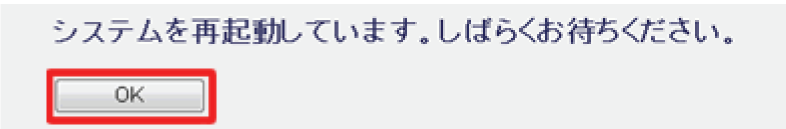
8. 「設定の保存に成功しました。」と表示されたら、[適用]をクリックします。



9. 本製品が再起動し、前面の「Internet」ランプが緑色で点滅から点灯に切り替わることを確認します。



10. [OK]をクリックします。



※[OK]をクリックしたあとに、WEB ブラウザがエラー表示したときは…

●本製品前面の「Internet」ランプが緑色で点灯しているときは、そのまま「接続状況を確認する」に進んでください。

●インターネット接続するまで時間がかかるときがあります。2 分程お待ちいただいてから、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。

●設定に使用したパソコンが、別の無線 LAN ルータと無線 LAN 接続しているときは、切断してください。

11. 「3G/3.5G/LTE」設定画面に戻ります。

以上で設定は完了です。**「3.4 接続状況を確認する」**へ進んでください。

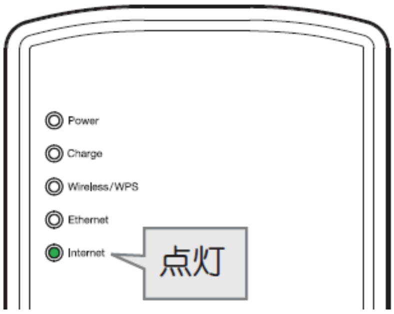
3.3.2 インターネット回線の設定

ここでは、インターネット回線を接続したときの設定方法を説明します。
本製品のインターネット接続の設定は、お客様が契約しているプロバイダのサービス内容によって異なります。
※接続方法がわからないときは、ご加入のプロバイダの契約書類をご覧になってお調べください。

1. はじめに本製品前面の「Internet」ランプを確認します。

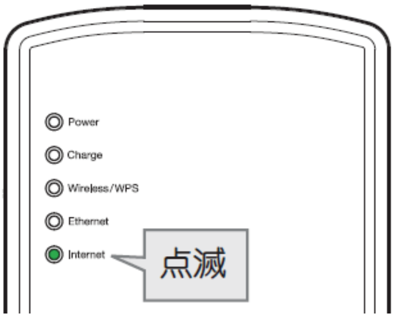
◆ **「Internet」ランプが点灯したとき**

本製品前面の「Internet」ランプが 3 分ほど経って、**点滅から点灯**に切り替わったときは、自動的に接続されています。WEB ブラウザを起動し、そのまま「3.4 接続状況を確認する」に進んでください。



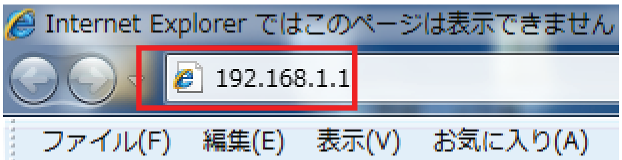
◆ **「Internet」ランプが点滅のままのとき**

3 分ほど経っても、本製品前面の「Internet」ランプが**点滅のまま**のときは設定が必要です。そのまま手順 2 に進んでください。



2. WEB ブラウザを起動します。

3. アドレス欄に IP アドレス「192.168.1.1」を入力し、<Enter>を押します。

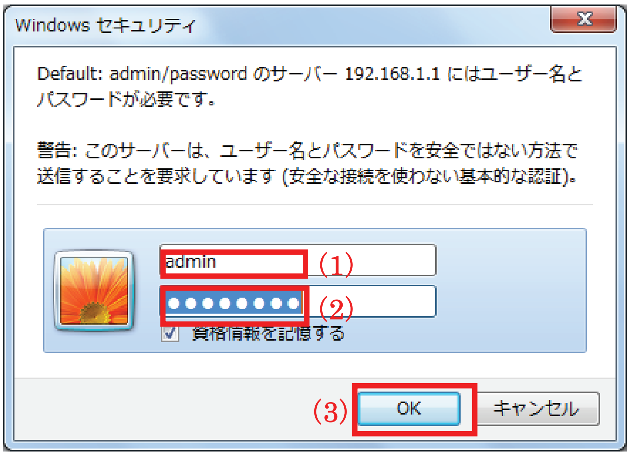


4. ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、ログインします。

(1)ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力します。

(2)パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー)を入力します。

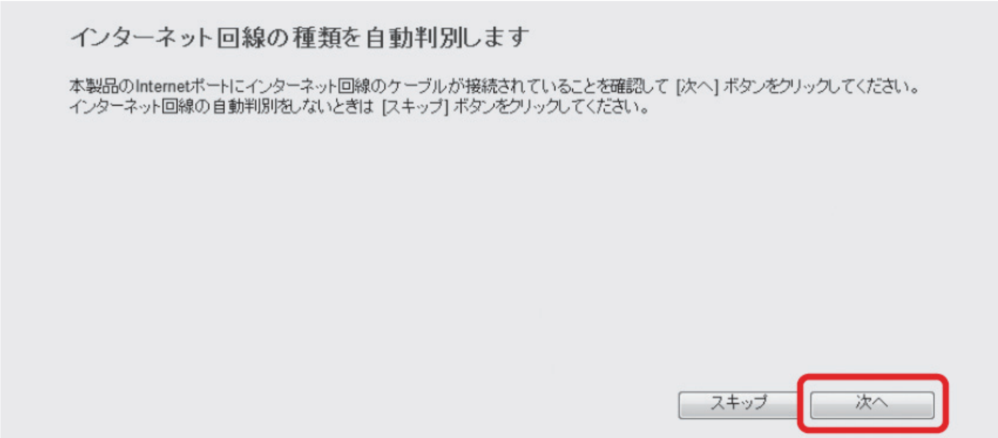
(3)[OK]をクリックします。



5. 設定画面が表示されるので、「セットアップウィザード」をクリックします。



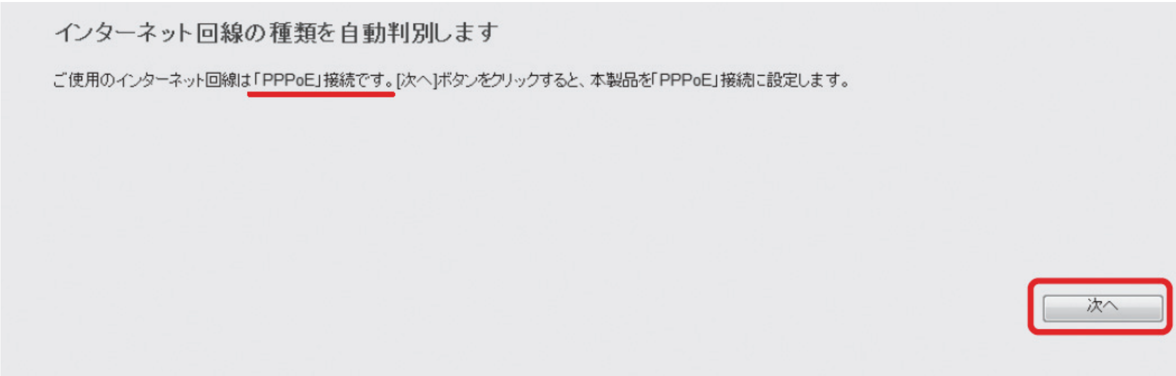
6. 「次へ」をクリックします。



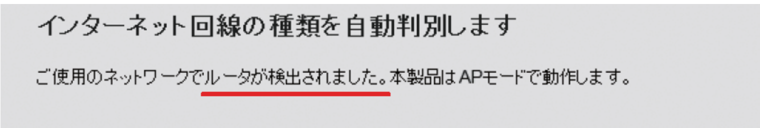
7. 判別結果が表示されます。

①「PPPoE 接続です」と表示されていることを確認します。

②[次へ]をクリックします。



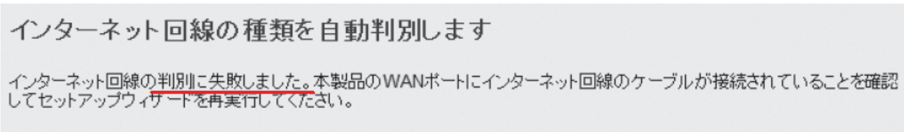
※ 「ルータが検出されました」と表示されたとき



➢ すでに設定は完了しています。

画面右上の「×」をクリックして画面を閉じて、「接続状況を確認する」へ進み、インターネットの接続を確認してください。

※ 「判別に失敗しました」と表示されたとき



➢ 下記の点を再度ご確認頂いたうえで、セットアップウィザードを再度実行してください。

・本製品と通信機器（モデム）とが、LAN ケーブルでしっかりと接続　されているか確認してください。

・通信機器（モデム）の電源が入っているか確認してください。

・「LAN/WAN スイッチ」が「WAN」側にセットされているか確認してください。

8. インターネットの設定を行います。

(1)「PPPoE」と表示されていることを確認します。

(2)「ユーザ名」にプロバイダ指定のユーザ名を入力します。

(3)「パスワード」にプロバイダ指定のパスワードを入力します。

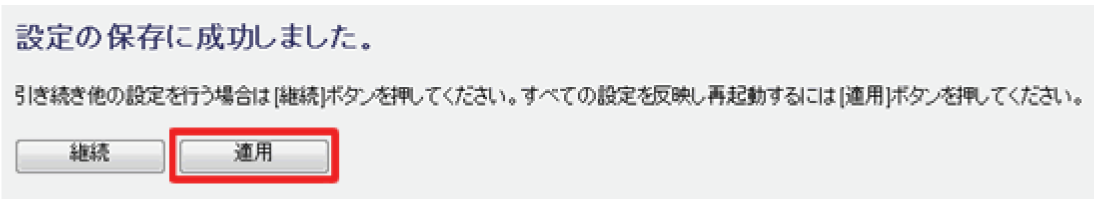
(4)「OK」をクリックします。



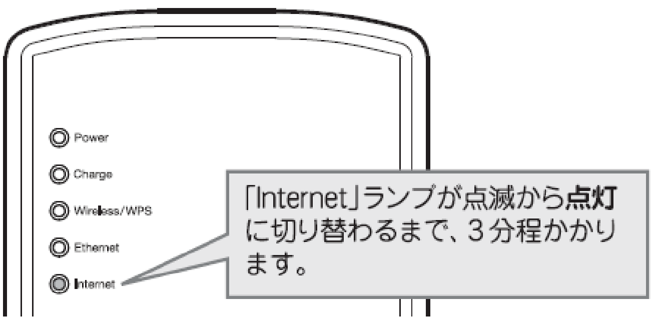
※ ユーザ名は、事業者により「ログイン名」、「接続ユーザー名」、「ユーザーID」などと表記する場合があります。

※ 大文字小文字に注意し、半角英数にて入力してください。

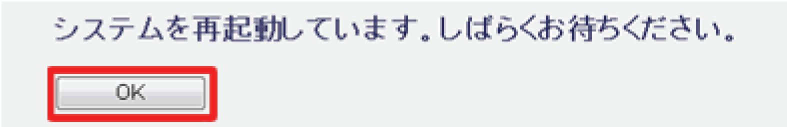
9. 「適用」をクリックします。



10. 本製品が再起動し、前面の「Internet」ランプが緑色で点滅から点灯に切り替わることを確認します。



11. [OK]をクリックします。



※[OK]をクリックしたあとに、WEB ブラウザがエラー表示したときは…

- ●本製品前面の「Internet」ランプが緑色で点灯しているときは、そのまま「接続状況を確認する」に進んでください。
- ●インターネット接続するまで時間がかかるときがあります。2 分程お待ちいただいてから、ブラウザの更新ボタンをクリックしてください。
- ●設定に使用したパソコンが、別の無線 LAN ルータと無線 LAN 接続しているときは、切断してください。

以上で設定は完了です。

続いて「**3.4　接続状況を確認する**」に進みます。

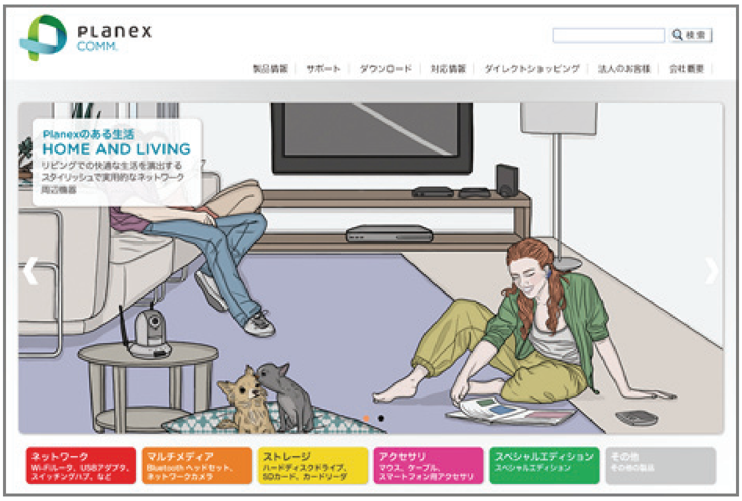
3.4 接続状況を確認する

ここでは、インターネット接続状況を確認する方法を説明します。

1 .WEB ブラウザのアドレス欄に IP アドレス「http://www.planex.co.jp」を入力し、<Enter>キーを押します。



2. 弊社のホームページが表示されていることを確認します。



以上で設定は完了です。

※インターネットマンションやホテルでお使いのときに、本設定でインターネットの接続ができないときは、本製品側面の LAN/WAN スイッチを「LAN 側」に変更してください。

第 4 章　ゲーム機／スマートフォンを接続する

本製品に、ゲーム機やスマートフォンを接続します。

該当する項目を参照してください。

- Wii を接続するとき……………………… 「4.1　Wii」
- PS3 を接続するとき………………… 「4.2　PS3」
- DSi／DSi LL を接続するとき………… 「4.3　DSi／DSi LL」
- DS／DS Lite を接続するとき………… 「4.4　DS／DS Lite」
- PSP を接続するとき………………… 「4.5　PSP」
- ギャラクシータブを接続するとき…… 「4.6　ギャラクシータブ」

※本手順では工場出荷時の設定情報でご説明しています。SSID（ネットワーク名）や無線 LAN セキュリティを変更したときは、変更した情報で設定してください。

4.1 Wii

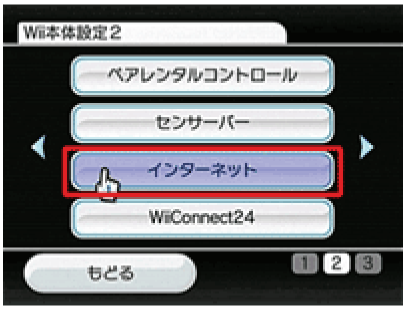
1. Wii メニュー画面で「Wii」を選びます。



2. 「Wii 本体設定」を選びます。



3. 「Wii 本体設定 1」の画面で右方向キーを押して「Wii 本体設定 2」の画面へ進み、「インターネット」を選びます。



4. 「接続設定」を選びます。



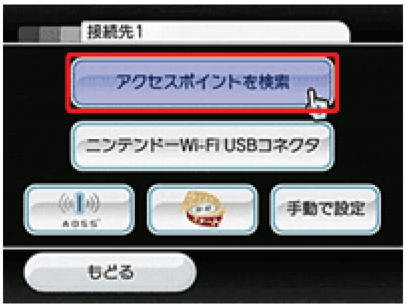
5. 「接続先 1～3」の中から、「未設定」のものを一つ選びます。



6. 「Wi-Fi 接続」を選びます。



7. 「アクセスポイントを検索」を選びます。



8. アクセスポイントが検索されると「接続したいアクセスポイントを選んでください。」と表示されるので、「OK」を選びます。

9. 検索結果から、「planexuser」を選びます。

※「planexuser」が表示されないときは、「再検索」を選んで、再検索してください。



10. 本製品の暗号化キーを入力します。

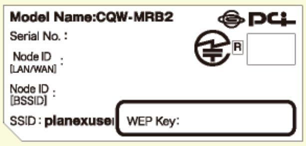
（1） 本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2） 「OK」をタップします。



POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



11. 「この内容を保存します。よろしいですか？」と表示されるので、「OK」を選びます。

12. 「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されるので、「OK」を選んで接続テストを開始します。

13. 「接続テストに成功しました。」と表示され、Wii 本体の更新を確認されるので「はい」を選びます。更新が終了したら設定は終了です。

※更新がすでに済んでいるときは、「この Wii の更新はありませんでした。」と表示されます。

※ニンテンドーWii の操作に関しては、ニンテンドーWii に付属している取扱説明書を参照してください。

以上で接続は完了です。

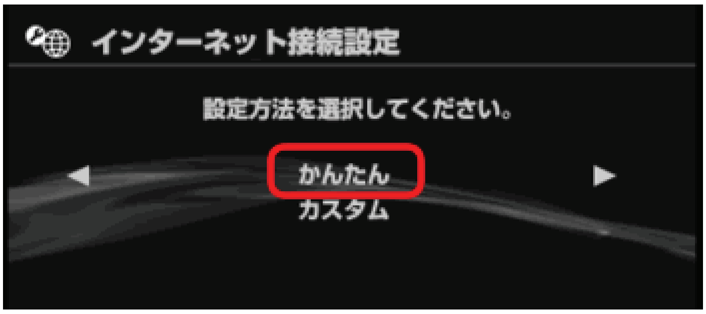
4.2 PS3

1. ホームメニューの「設定」ー「ネットワーク設定」を選びます。

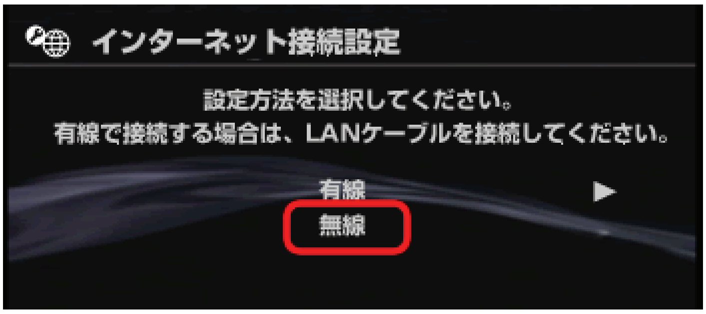
2. 「インターネット接続」が「有効」になっているのを確認し、「インターネット接続設定」を選びます。

3. 「インターネット接続の設定を行います。有線で接続する場合は、LAN ケーブルを接続してください。」と表示されますので、〇ボタンを押します。

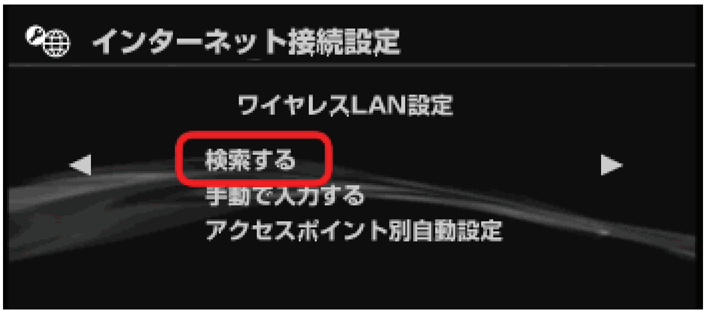
4. 「設定方法を選択してください」から、「かんたん」を選び、〇ボタンを押します。



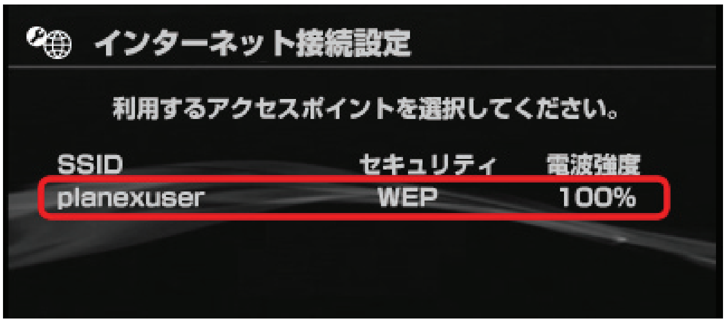
5. 「接続方法を選択してください。有線で接続する場合は、LAN ケーブルを接続してください。」と表示されます。「無線」を選び、〇ボタンを押します。



6.　「検索する」を選び、SSID（ネットワーク名）の･一覧を表示します。

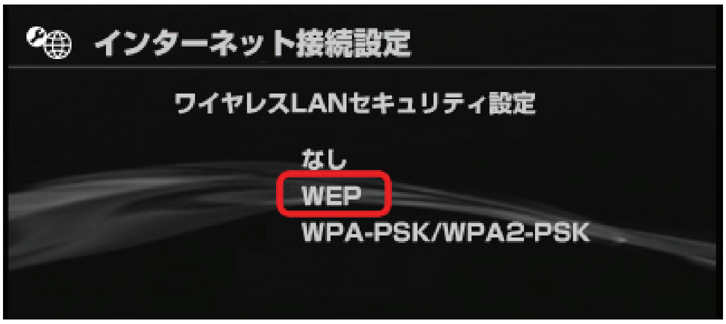


7.　一覧から「planexuser」を選び、〇ボタンを押します。
※「planexuser」が表示されないときは、「 × 」ボタンを押してから、再度「検索する」を選んで再検索してください。



8.　「planexuser」が表示されていることを確認し、右方向キーを押します。

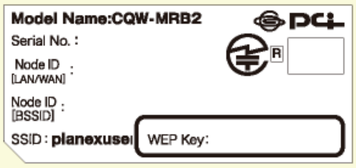
9. ワイヤレス LAN セキュリティ設定から「WEP」を選びます。



10. 本製品の暗号化キーを入力します。
（1） 本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。
（2） 「OK」を選びします。

POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



11. 「プロキシサーバー」の画面が表示されたときは、「使用しない」を選びます。
※表示されないときは次に進んでください。

12. 「設定一覧」の内容を確認し、〇ボタンを押して設定内容を保存します。

13. 接続テストが完了して、「IP アドレス取得」に成功したら、設定は完了です。

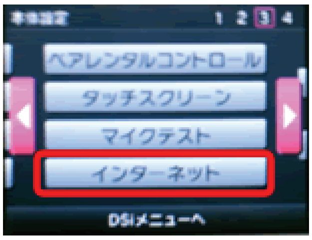
※PS3 の操作に関しては、PS3 に付属している取扱説明書を参照してください。

4.3 DSi／DSi LL

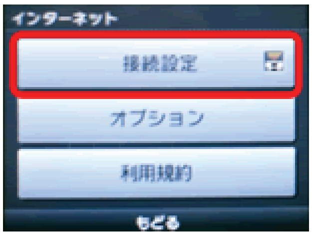
1. ニンテンドーDSi メニューから「はじめる」をタッチします。



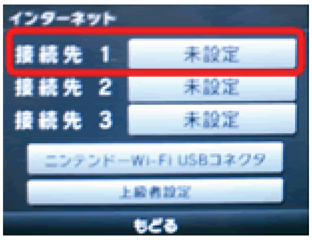
2. 右に 2 回タッチし、「インターネット」をタッチします。



3. 「接続設定」をタッチします。



4. 「接続先 1～3」の中から、「未設定」のものを一つタッチします。

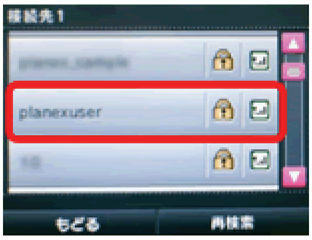


5. 「アクセスポイントを検索」をタッチします。

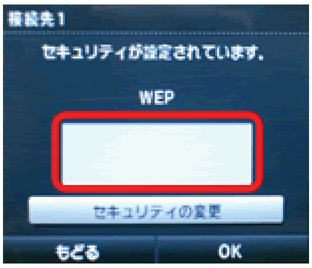


6.　検索結果から、「planexuser」をタッチします。

※「planexuser」が表示されないときは、「再検索」をタッチして、再検索してください。



7.　WEP キーの入力欄をタッチします。



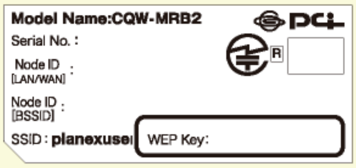
8.　本製品の暗号化キーを入力します。

（1）本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

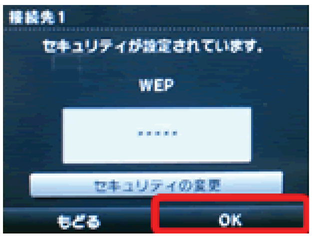
（2）「決定」をタッチします。

POINT

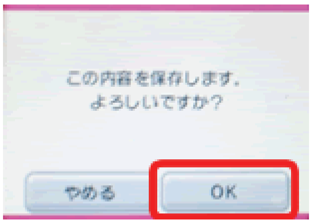
●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



9.　「OK」をタッチします。



10. 「この内容で保存します。よろしいですか？」と表示されるので、「OK」をタッチします。



11. 「設定内容を保存しました。接続テストを開始します。」と表示されるので、「OK」をタッチします。

12. 接続テストに成功したら、設定は完了です。

※ニンテンドーDSi/DSi LL の操作に関しては、ニンテンドーDSi/DSi LL に付属している取扱説明書を参照してください。

4.4 DS／DS Lite

1. Wi-Fi コネクション対応のゲームソフトをニンテンドーDS/DS Lite に挿込み、電源を ON にしてゲームソフトを起動します。

2. 「Wi-Fi コネクション設定」画面を表示させます。
   ※ゲームソフトにより異なりますが、「Wi-Fi」または「Wi-Fi 設定」ボタンで表示されます。

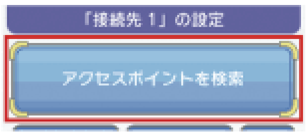
3. 「Wi-Fi 接続先設定」をタッチします。



4. 「接続先 1～3」の中から、「未設定」のものを一つタッチします。



5. 「アクセスポイントを検索」をタッチします。



6.　検索結果から、「planexuser」をタッチします。

※「planexuser」が表示されないときは、「再検索」をタッチして、再検索してください。



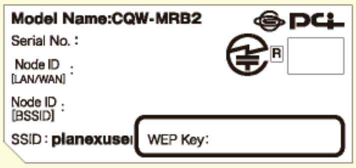
7.　本製品の暗号化キーを入力します。

（1）本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

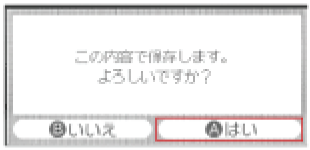
（2）「OK」をタッチします。

POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



8.　「この内容で保存します。よろしいですか？」と表示されるので、「はい」をタッチします。



9.　「設定内容をセーブしました。接続テストを開始します。」と表示されるので、「はい」をタッチします。

10.「接続テストに成功しました。」と表示されたら設定は完了です。

※ニンテンドーDS/DS Lite の操作に関しては、ニンテンドーDS/DS Lite に付属している取扱説明書を参照してください。

4.5 PSP

1. PSP の電源を ON にし、ワイヤレス LAN スイッチを ON にします。

2. ホームメニューの「設定」－「ネットワーク設定」を選びます。



3. 「インフラストラクチャーモード」を選びます。



4. 「新しい接続の作成」を選びます。

5. 「検索する」を選び、SSID（ネットワーク名）の一覧を表示します。



6. 一覧から「planexuser」を選び、〇ボタンを押し、右方向キーを押して次の画面へ進みます。
   ※「planexuser」が表示されないときは、再検索してください。

7.　ワイヤレス LAN セキュリティ設定から「WEP」を選びます。



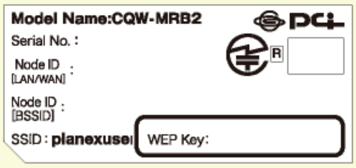
8.　本製品の暗号化キーを入力します。

（1） 本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2） 「OK」を選びします。

POINT

●WEP キーは、本製品背面のラベルに記載されています。ラベルを参照し、WEP キーを入力してください。



9.　アドレス設定から「かんたん」を選び、右方向キーを押して次の画面へ進みます。



10. 接続名に任意の名前を入力し、右方向キーを押して次の画面へ進んで設定の確認をします。

11. 確認ができたら、右方向キーを押して次の画面へ進み、○ボタンを押して設定内容を保存します。

12. 「接続テストをする」が表示されたら○ボタンを押し、インターネット接続が確認できれば設定は完了です。

※PSP の操作に関しては、PSP に付属している取扱説明書を参照してください。

※うまく接続できないときは

・PSP のシステムソフトウェアが最新のものであるか確認してください。

・ホームメニューの「設定」－「省電力設定」－「ワイヤレス LAN 省電力モード」を選び、「切」に設定してみてください。

4.6 ギャラクシータブ

1. メインメニューより「設定」をタッチします。



2. 「無線とネットワーク」をタッチします。



3. 「Wi-Fi 設定」をタッチします。



4. 「Wi-Fi」をオンにします。

※「Wi-Fi」がオンになっているときは、手順 5 に進んでください。



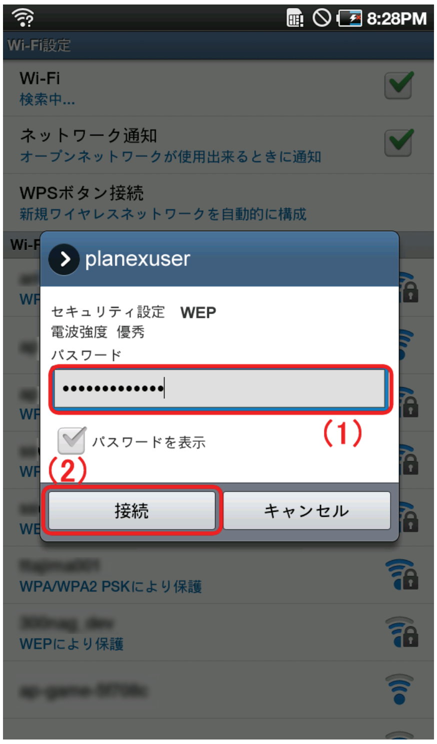
5. 「Wi-Fi ネットワーク」にて、「planexuser」をタッチします。

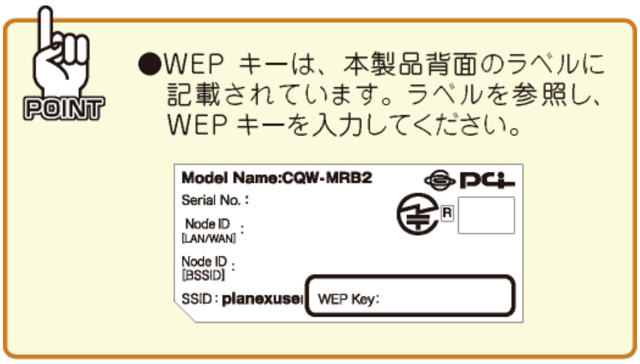


6. 本製品の暗号化キーを入力します。

（1） 本製品背面に記載されている「WEP キー」を半角英数で入力します。

（2） 「接続」をタッチします。





7. 「planexuser」の下の表示が、「接続」となっていることを確認します。



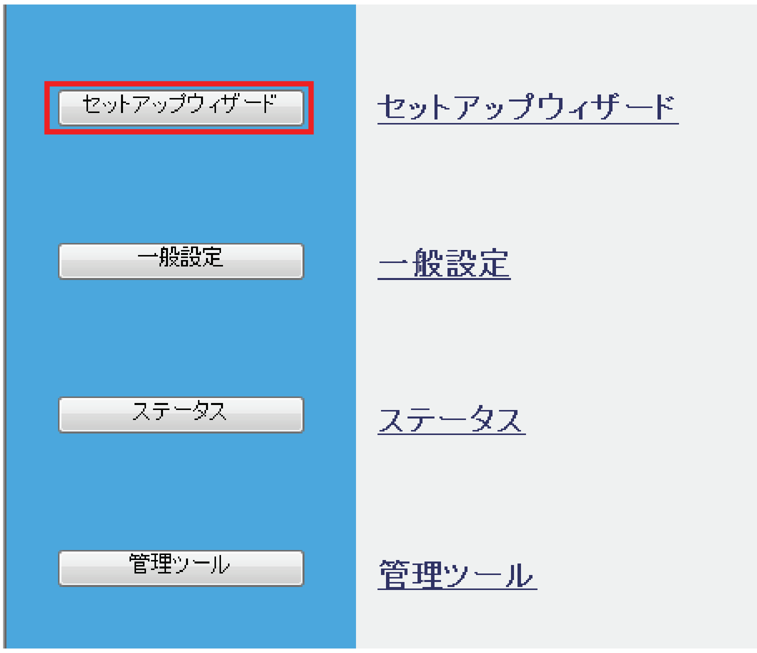
※ギャラクシータブの操作に関しては、ギャラクシータブに付属している取扱説明書を参照してください。

第 5 章　セットアップウィザードを使う

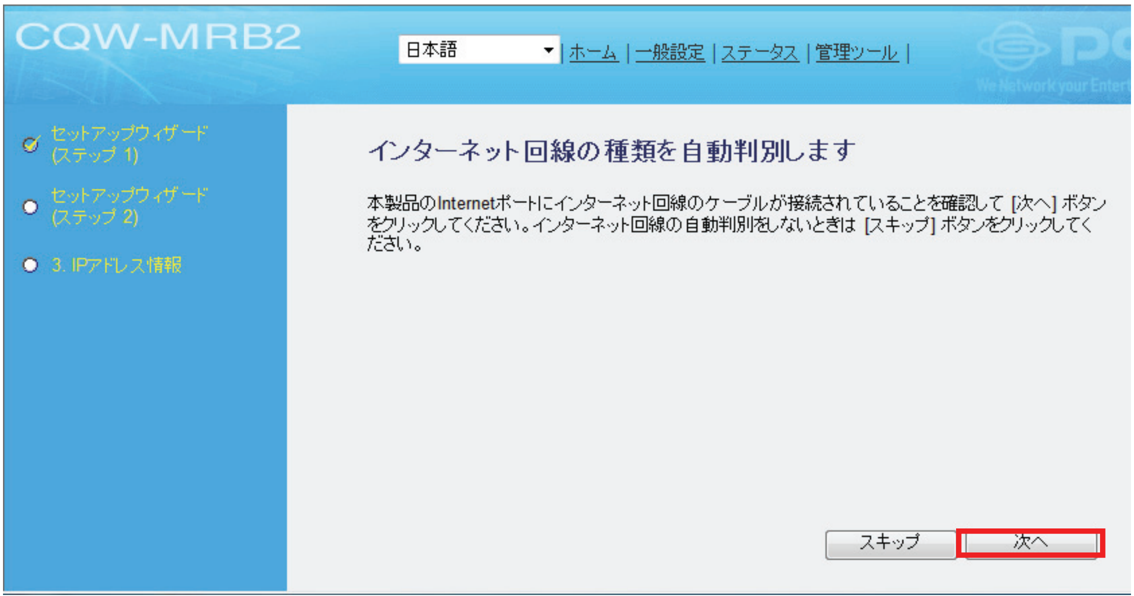
5.1　セットアップウィザード

ここでは、セットアップウィザードを使って、本製品の初期設定を行う方法を説明します。

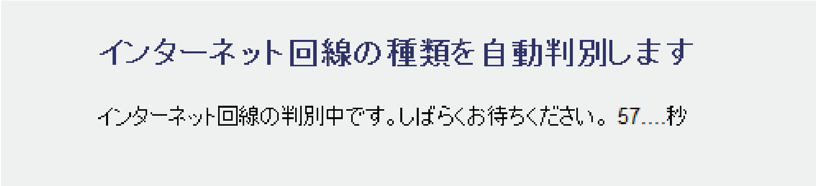
1. 左側メニューから[セットアップウィザード]をクリックします。



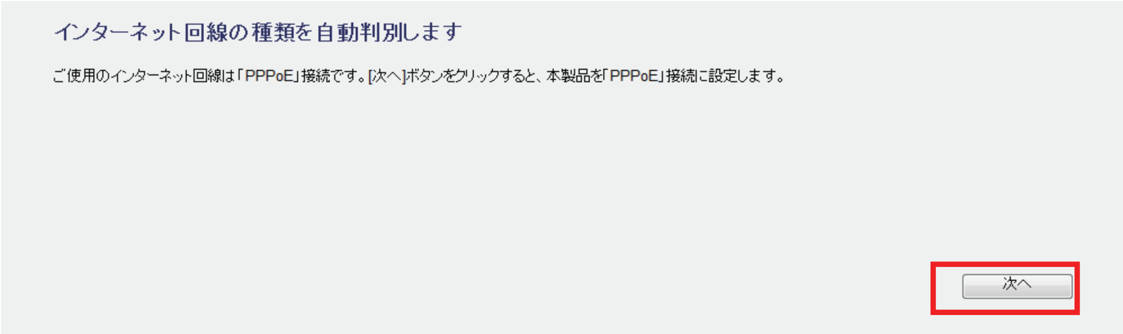
2. インターネット回線の種類を自動判別しますので、「次へ」をクリックします。



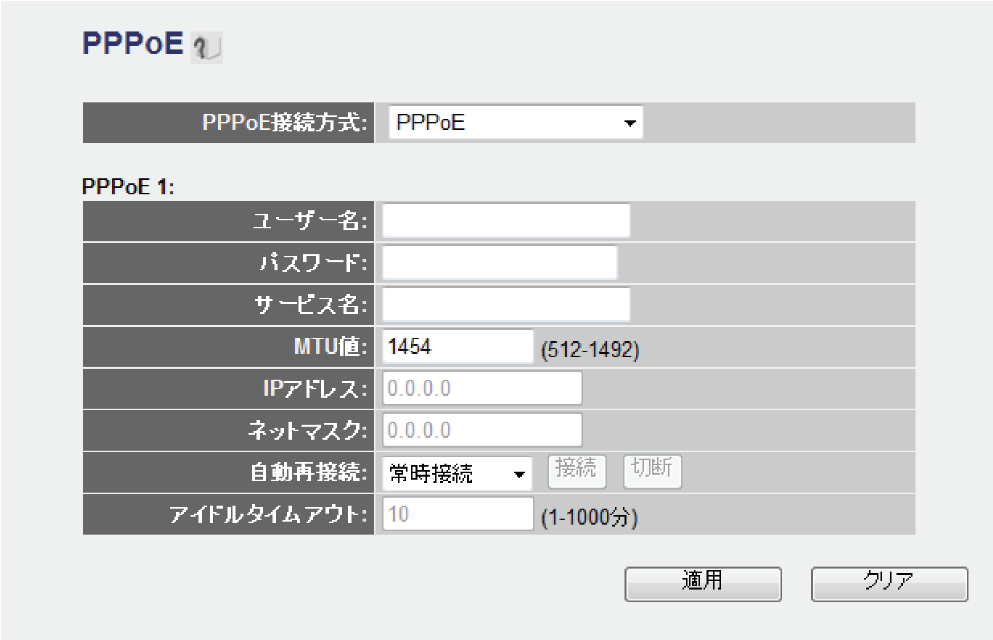
3.　「インターネット回線の種類を自動判別します」と表示がされますので、しばらくお待ちください。

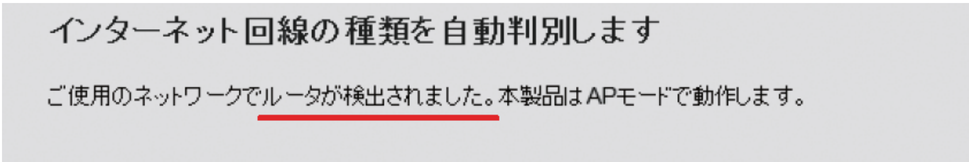
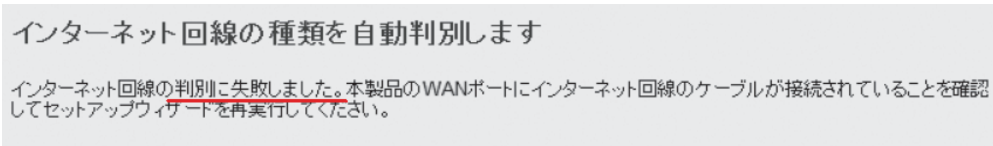


4.　自動判別された結果が表示されます。[次へ]をクリックします。



自動判別された結果毎の各設定については、以下の説明を参照してください。

項目名	動作
「PPPoE 接続」 と表示されたとき	 **ユーザー名**： プロバイダから指定されたログイン ID（例:abc123@xyz.ne.jp）を半角で入力します。 **パスワード**： プロバイダから指定されたパスワード（例:abcDEF123）を半角で入力します。 **サービス名**： プロバイダから指定されているときのみ入力します。 **MTU 値**： MTU 値を設定します。初期設定は「1454」です。通常は初期設定のまま使用します。 **IP アドレス**： プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。 **サブネットマスク**： プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。 **自動再接続**： 接続タイプを選びます。 ・常時接続 ： 常に接続状態になります。 ・オンデマンド ： LAN 側からインターネットへの通信が検出されたときに自動的に接続を行います。 ・マニュアル ： 手動で接続/切断します。 ※初期設定は「常時接続」です。

	アイドルタイムアウト: 　自動切断する時間を分単位で設定します。設定した時間通信がないとき、自動的に切断されます。「自動再接続」で「オンデマンド」が選ばれているとき、設定することができます。 　※初期設定は「10」分です。 [適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。
「ルータが検出」とと表示されたとき	 すでに設定は完了しています。 画面右上の「×」をクリックして画面を閉じて、インターネットの接続を確認してください。
「判別に失敗」と表示されたとき	 下記の点を再度ご確認頂いたうえで、セットアップウィザードを再度実行してください。 ・本製品と通信機器(モデム)とが、LAN ケーブルでしっかりと接続　されているか確認してください。 ・通信機器(モデム)の電源が入っているか確認してください。 ・「LAN/WAN スイッチ」が「WAN」側にセットされているか確認してください。。

第 6 章　詳細設定

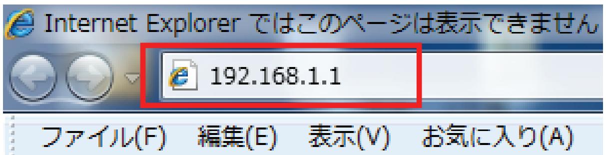
ここでは、各設定画面について説明します。

6.1　設定画面の表示方法

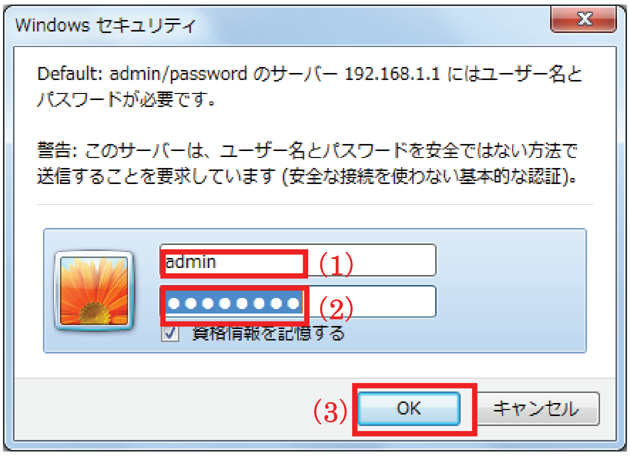
※　以下では、本製品の IP アドレス初期値「192.168.1.1」を例に説明します。
　　IP アドレスを変更したときは、以下の手順を参考に IP アドレスの値を変更してログインしてください。

1.　WEB ブラウザを起動します。

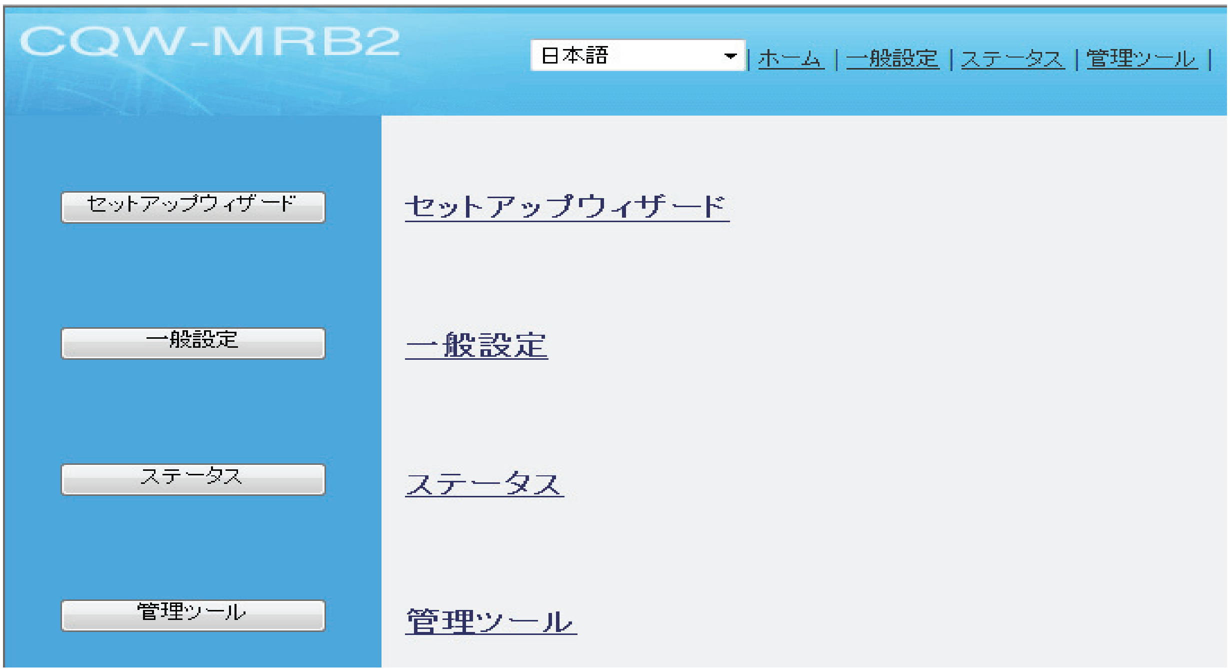
2.　アドレス欄に IP アドレス「192.168.1.1」を入力し、<Enter>を押します。



3.　ログイン画面が表示されますので、下記のユーザ名とパスワードを入力し、OK をクリックします。
　　(1) ユーザ名：半角英数で「admin」(エー・ディー・エム・アイ・エヌ)を入力
　　(2) パスワード：半角英数で「password」(ピー・エー・エス・エス・ダブリュ・オー・アール・ディー)を入力
　　(3) [OK]をクリックします。



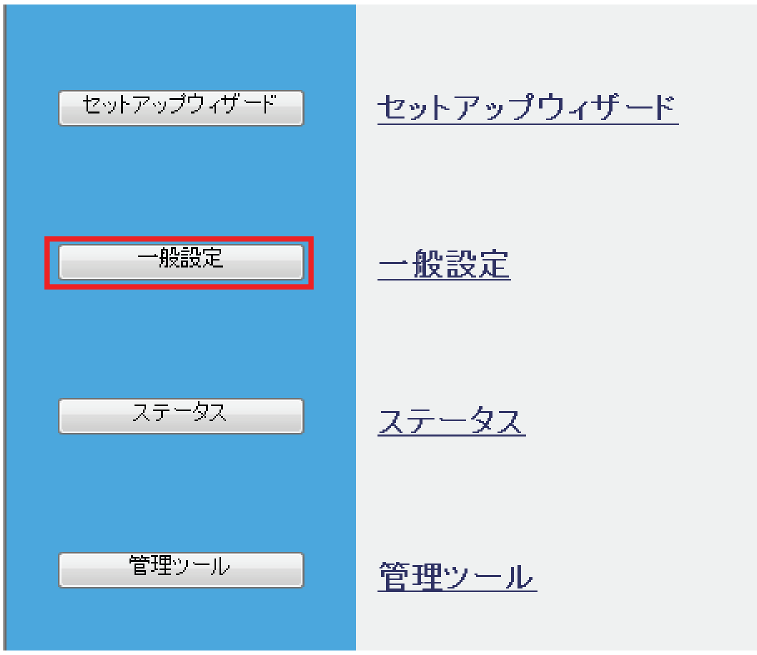
4. 設定画面が表示されることを確認します。



6.2 インターネット関連の設定

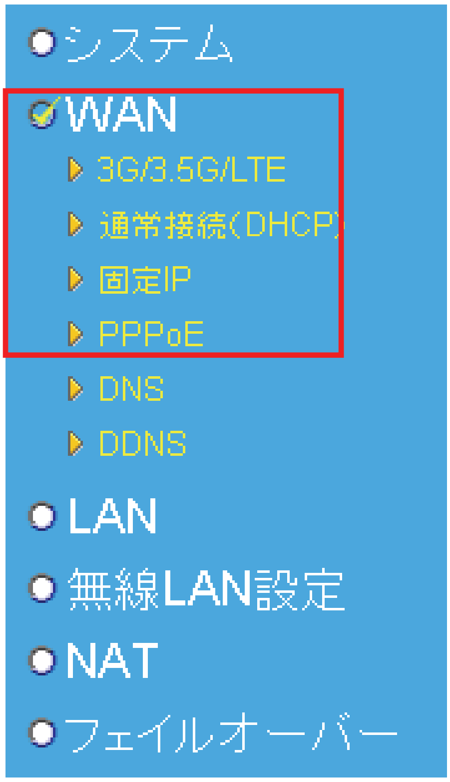
インターネット接続の設定を説明します。
手動で設定するときや設定情報を変更するときは、以下のメニューより設定を行ってください。

メインメニューより「一般設定」→「WAN」の順にクリックしてください。





インターネット関連の設定を行う際は、WAN の接続タイプによって、設定画面が異なります。



● 3G モバイル端末を使って本製品をインターネットに接続するとき

⇒ 6.2.1 3G モバイル端末へ

● Yahoo!BB、CATV（ケーブルテレビ）または USEN などのとき

⇒ 6.2.2 通常接続（DHCP）へ

●プロバイダから固定 IP アドレスが割り当てられているとき

⇒ 6.2.3 固定 IP 接続へ

●フレッツ・ADSL または B フレッツなどのとき

⇒ 6.2.4 PPPoE 接続へ

●一つの回線で複数の接続先に同時接続するとき

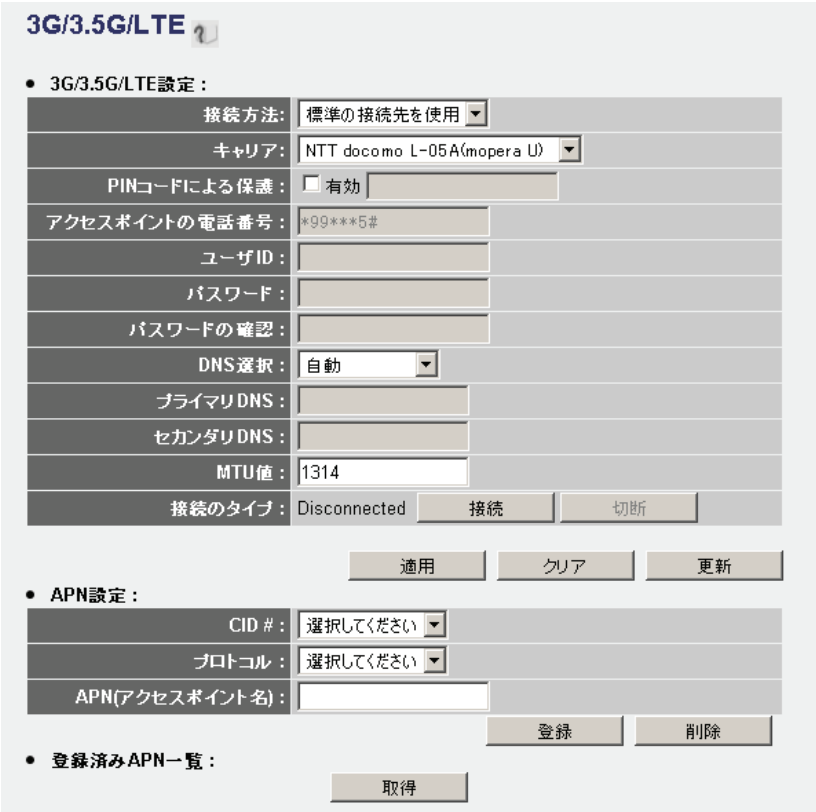
⇒ 6.2.5 PPPoE マルチセッション接続へ

6.2.1 3G モバイル端末

3G モバイル端末(USB データ通信アダプタ)接続の詳細設定です。

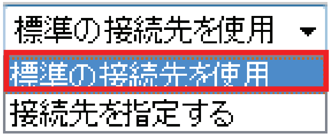
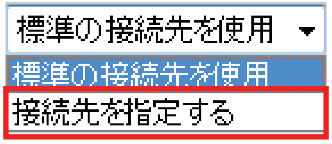
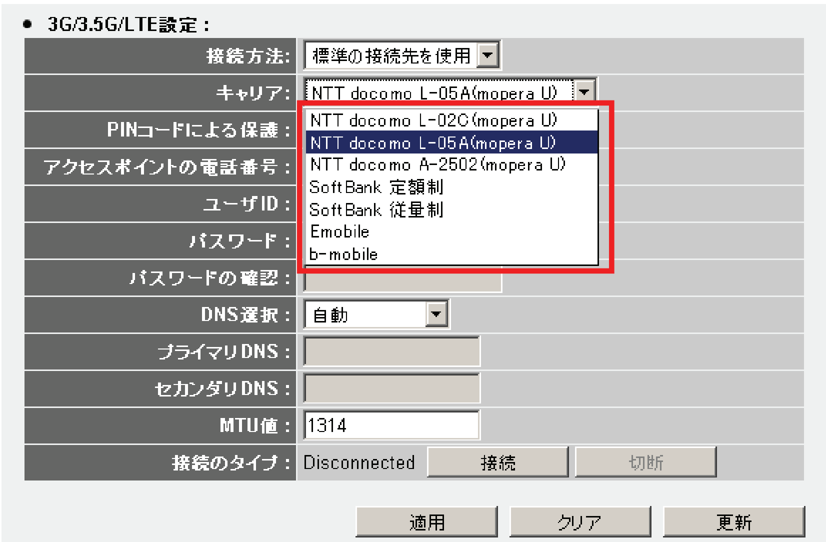
※　第 3 章「3.3.1 3G モバイル端末の設定」で設定を済ませているときは、ここでの設定は不要です。

左側メニューの「WAN」より「3G/3.5G/LTE」をクリックすると、下記画面が表示されます。



各設定項目内容は以下の通りです。

≪3G/3.5G/LTE 設定≫

項目	動作
接続方法	■設定画面に登録済みのキャリア・課金方法を選択するとき 「標準の接続先を使用」を選び、「キャリア」へ進みます。  ■設定画面に未登録の機種を入力するとき 「接続先を指定する」を選び、ご契約の「アクセスポイントの電話番号」、プロバイダから指定された「ユーザ ID」と「パスワード」を入力します。  ■APN（アクセスポイント名）を入力して接続先を指定するとき 最初に、「3G/3.5 G/LTE 設定」の下にある「APN 設定」へ進んでください。 「APN 設定」にある三つの項目に入力後「登録」ボタンを押下後、「設定画面に未登録の機種を入力するとき」と同じ設定手順となります。
キャリア	お使いの 3G モバイル端末に合った機種名を下記の中から選びます。 ・NTT docomo L-02C（mopera U） ・NTT docomo L-05A（mopera U） ・NTT docomo L-2502（mopera U） ・SoftBank 定額制 ・SoftBank 従量制 ・E mobile ・b-mobile 

PIN コードによる保護	PIN コードによる保護機能を有効にするときはチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
アクセスポイントの電話番号	契約のアクセスポイントの電話番号を入力します。 ※アクセスポイントの電話番号のあとに、「APN 設定」の「CID#」で設定した番号を入力します。 例）アクセスポイントの電話番号が「*99***」で、接続する APN の CID が「1」のときは、「*99***1#」となります。
ユーザ ID	プロバイダから提供されているユーザ ID を入力します。
パスワード	プロバイダから提供されているパスワードを入力します。
パスワードの確認	「パスワード」に入力した情報を入力します。
DNS 選択	プロバイダから提供されているときに設定します。 プライマリ DNS とセカンダリ DNS を任意に入力するときは、「マニュアル設定」にします。 初期設定は「自動」です。
プライマリ DNS	プロバイダから提供されたプライマリ DNS を入力します。
セカンダリ DNS	プロバイダから提供されたセカンダリ DNS を入力します。
MTU 値	MTU 値を設定します。 初期設定は「1314」です。通常は初期設定のまま使用します。

≪APN 設定≫

項目	動作
CID #	CID の番号を任意に選びます。
プロトコル	プロトコルを「ppp」または「ip」から選びます。
APN（アクセスポイント名）	アクセスポイント名を入力します。

※接続する APN の設定情報ががわからないときは、プロバイダから提供された契約書を確認してください。

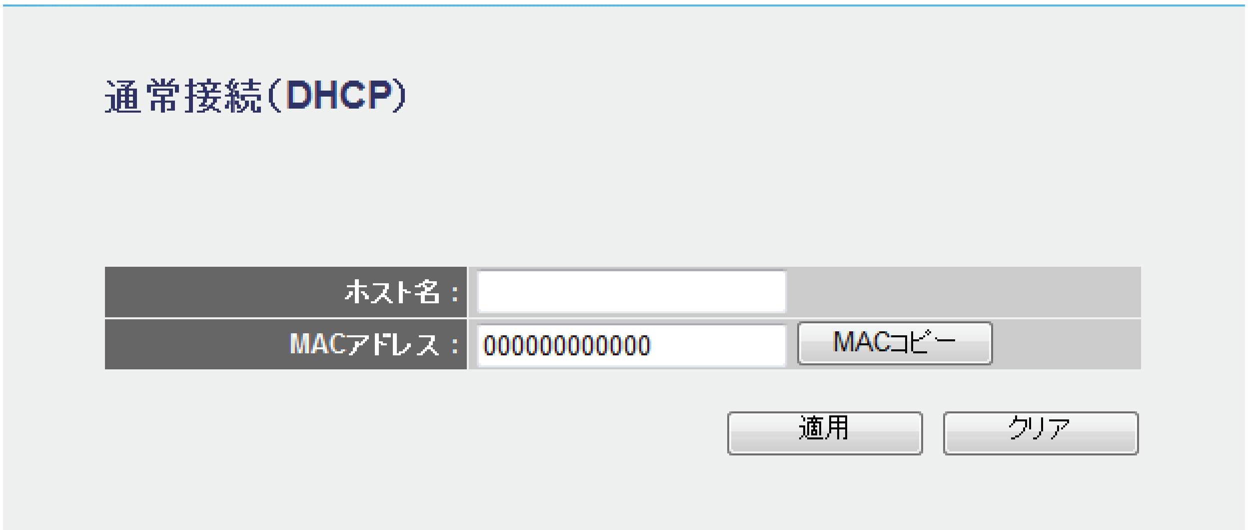
※APN の設定ができないときは、「接続タイプ」の［切断］ボタンをクリックし、インターネット接続を無効にしてください。

※［取得］ボタンをクリックすると、接続中の USB データ通信アダプタから APN の情報が取得できます。使用されていない 「CID」の番号など APN の情報を確認したいときはクリックしてください。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.2 通常接続（DHCP）

通常接続（DHCP）の詳細設定です。CATV などのご契約のときに行います。
左側メニューの「WAN」より「DHCP」をクリックすると、下記画面が表示されます。
※第 3 章「3.3.2 インターネット回線の設定」で設定を済ませているときは、ここでの設定は不要です。



各設定項目内容は以下の通りです。

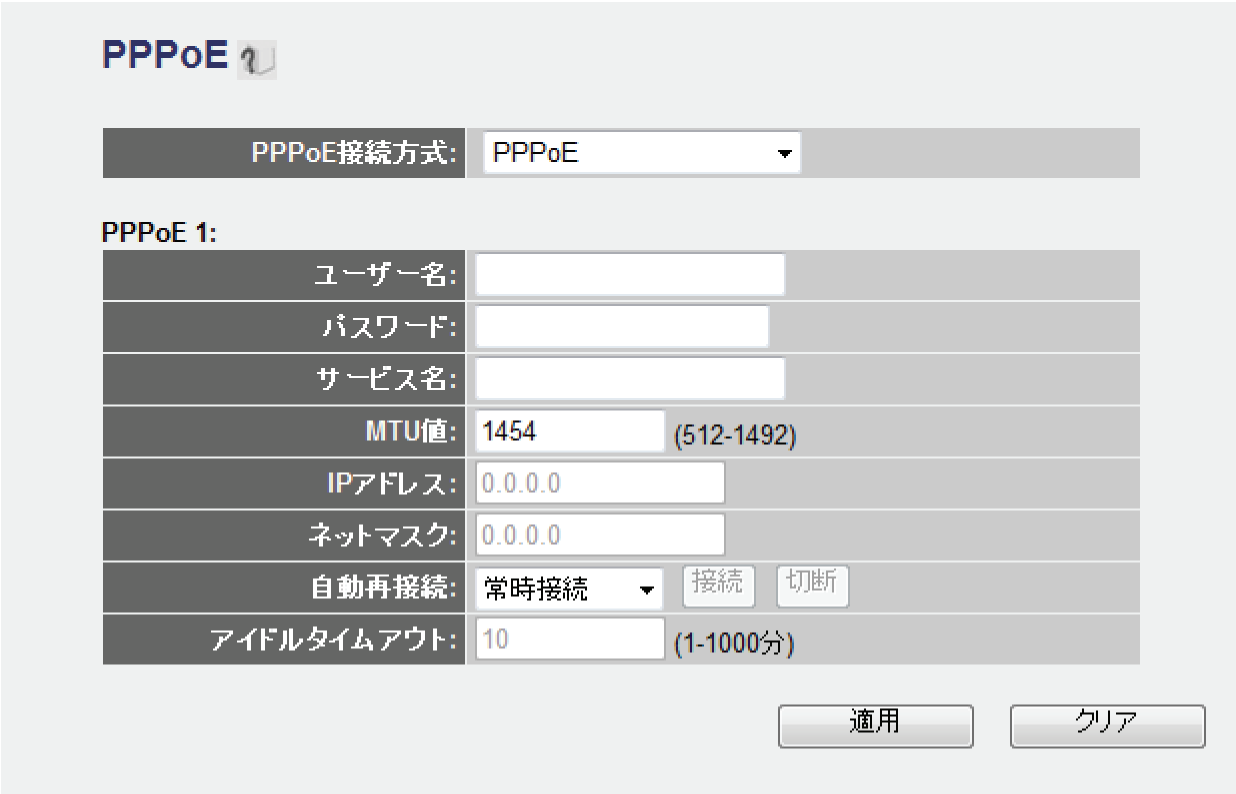
※MAC アドレスを登録していないときは、以下の設定は不要です。

項目	動作
ホスト名	任意の名前を入力します。
MAC アドレス	CATV 回線の一部のプロバイダによっては、MAC アドレス登録が必要なときがあります。 そのときはプロバイダに登録している MAC アドレスを入力します。 [MAC コピー]をクリックすると、パソコンの MAC アドレスが自動的に入力されます。

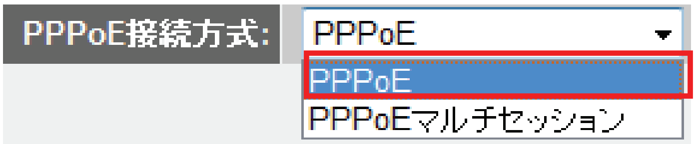
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.3 PPPoE 接続

PPoE 接続の詳細設定です。フレッツ・ADSL または B フレッツなどをご契約のときに行います。
※ 第 3 章「3.3.2 インターネット回線の設定」で設定を済ませているときは、ここでの設定は不要です。



各設定項目内容は以下の通りです。

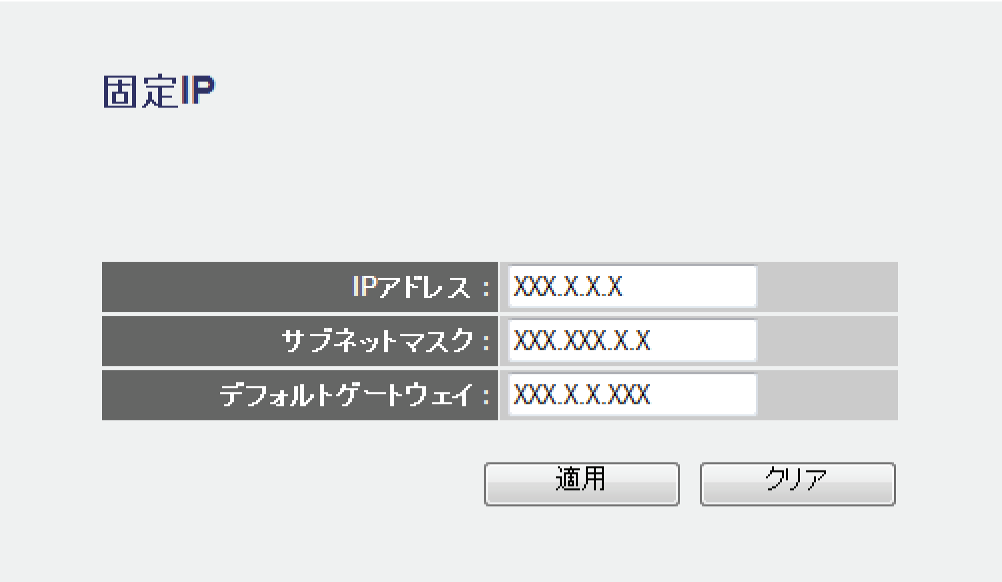
項目	動作
PPPoE 接続方式	「PPPoE」を選びます。 
ユーザー名	プロバイダから指定されたログイン ID(ユーザ名)を半角で入力します。 例 : abc123@xyz.ne.jp
パスワード	プロバイダから指定されたパスワードを半角で入力します。 例 : abcDEF123
サービス名	プロバイダから指定されているときのみ入力します。
MTU 値	MTU 値を設定します。初期設定は「1454」です。 通常は初期設定のまま使用します。
IP アドレス	プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。
自動再接続	常時接続: 常に接続状態になります。 オンデマンド: LAN 側からインターネットへの通信が検出されたときに自動的に接続を行います。 マニュアル: 手動で接続/切断します。 ※初期設定は「常時接続」です。
アイドルタイムアウト	自動切断する時間を分単位で設定します。 設定した時間通信がないとき、自動的に切断されます。 初期設定は 10 分です。 「自動再接続」で「オンデマンド」が選ばれているとき、設定することができます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.4 固定 IP 接続

固定 IP 接続の詳細設定です。固定 IP アドレスが割り当てられているとき（本製品の上位にルータがあるときなど）に設定します。

※ 第 3 章「3.3.2 インターネット回線の設定」で設定を済ませているときは、ここでの設定は不要です。



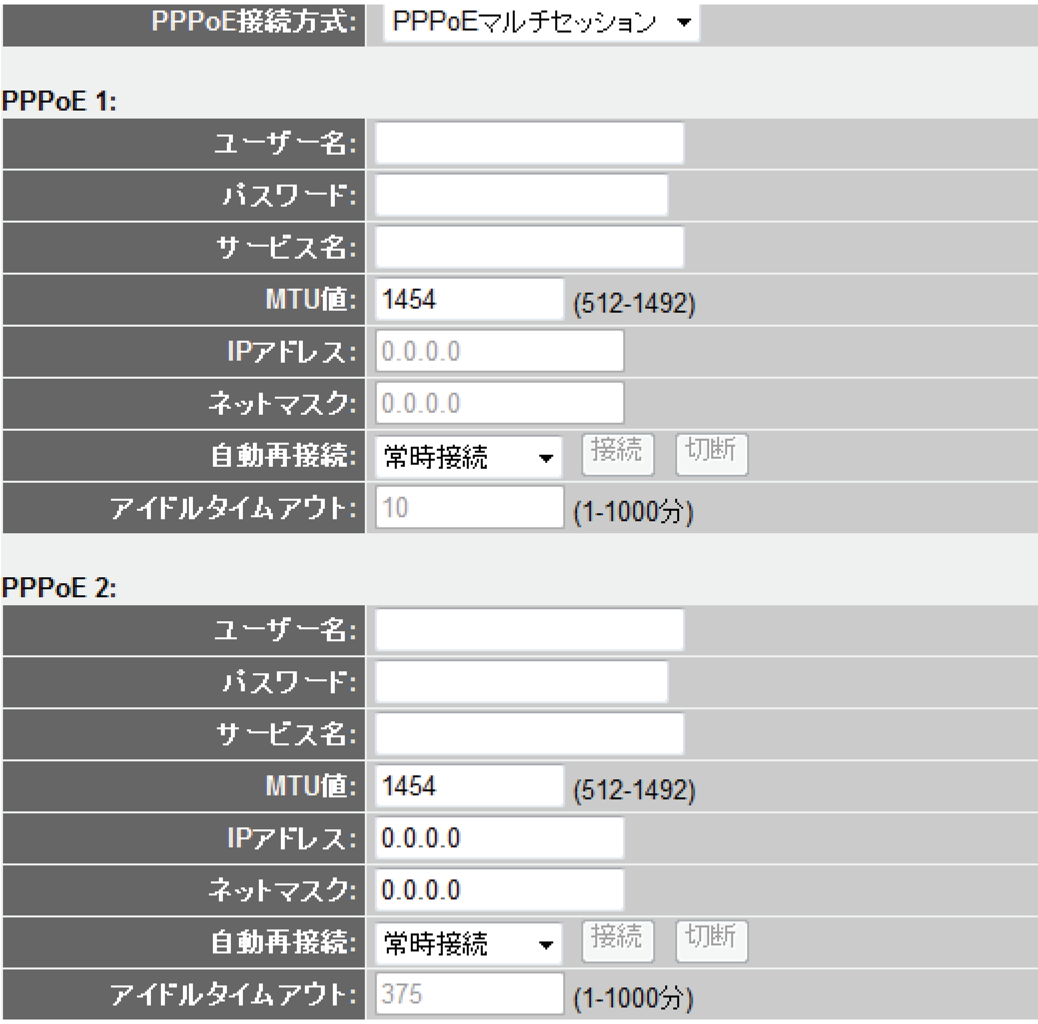
各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
IP アドレス	プロバイダや上位のルータから割り当てられた IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダや上位のルータから割り当てられたサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	プロバイダや上位のルータから割り当てられたデフォルトゲートウェイを入力します。

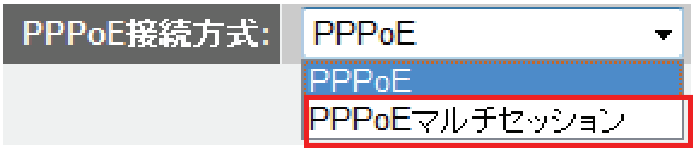
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.5 PPPoE マルチセッション接続

PPPoE マルチセッションとは、一つの回線で複数のセッションに同時接続できる機能です。
本製品は、最大 2 つの PPPoE セッションに同時接続できます。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
PPPoE 接続方式	「PPPoE マルチセッション」を選びます。  PPPoE マルチセッション接続の設定は以下の手順で行います。 (1)「PPPoE1」に 1 つ目のセッションを設定 (2)「PPPoE2」に 2 つ目のセッションを設定
ユーザー名	プロバイダから指定されたログイン ID(ユーザー名)を半角で入力します。 (例:abc123@xyz.ne.jp)
パスワード	プロバイダから指定されたパスワードを半角で入力します。 (例:abcDEF123)
サービス名	プロバイダから指定されているときのみ入力します。
MTU 値	MTU 値を設定します。 初期設定は「1454」です。 通常は初期設定のまま使用します。
IP アドレス	プロバイダから指定された IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	プロバイダから指定されたサブネットマスクを入力します。
自動再接続	常時接続: 常に接続状態になります。 オンデマンド: LAN 側からインターネットへの通信が検出されたときに自動的に接続を行います。 マニュアル: 手動で接続/切断します。 ※初期設定は「常時接続」です。
アイドルタイムアウト	自動切断する時間を分単位で設定します。 設定した時間通信がないとき、自動的に切断されます。 初期設定は 10 分です。 「自動再接続」で「オンデマンド」が選ばれているとき、設定することができます。

フレッツ・スクウェアへの接続設定を例に説明します。

※フレッツ・スクウェアへ接続するときの詳細については NTT 東日本、NTT 西日本のホームページも参照ください。

項目	動作	
ユーザー名	以下にしたがって、接続ユーザー名を入力します。	
	NTT 東日本	guest@flets
	NTT 西日本	flets@flets
パスワード	以下にしたがって、接続パスワードを入力します。	
	NTT 東日本	guest
	NTT 西日本	flets
サービス名、MTU 値、IP、アドレス、サブネットマスク、自動再接続、アイドルタイムアウトの設定が必要なときは、PPPoE 1 と同様に行います		

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.6 DNS 設定

ここでは、DNS の設定を行います。



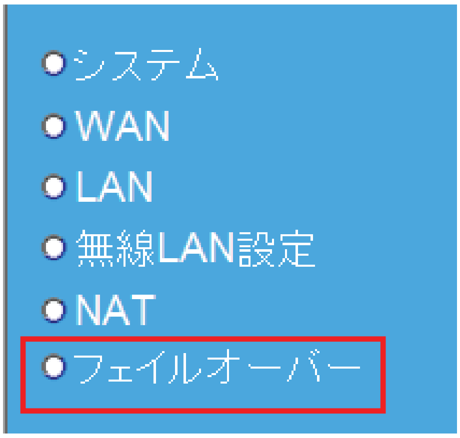
各設定項目内容は以下の通りです。

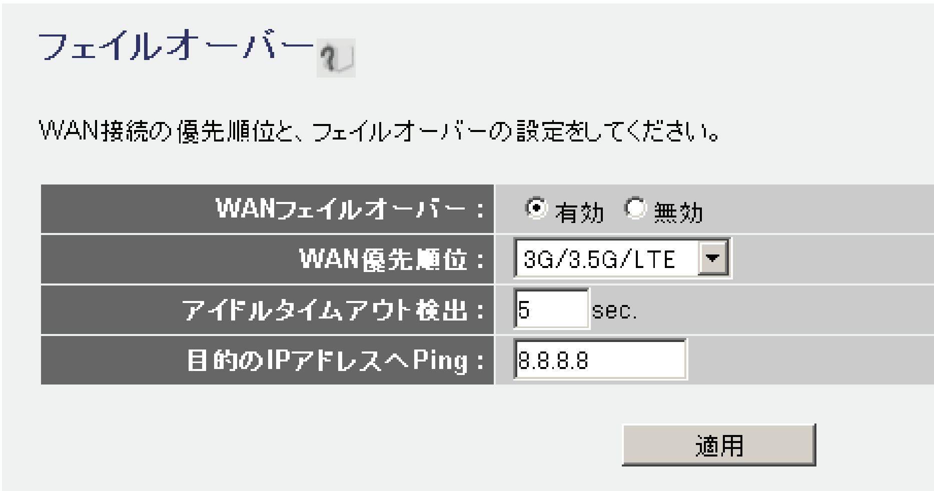
項目	動作
プライマリ DNS	DNS アドレスを入力します。
セカンダリ DNS	契約のプロバイダからセカンダリ DNS アドレスが提供されているときのみ入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.2.7 フェイルオーバーの設定

WAN 回線の障害が発生したときに、指定の IP アドレスに確認し、回線障害を回避する機能を設定します。
左メニューの「フェイルオーバー」をクリックし、設定画面を表示します。





各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
WAN フェイルオーバー	フェイルオーバーの有効／無効を設定します。 初期値は「無効」です。
WAN 優先順位	WAN 回線の優先順位を「3G/3.5G/LTE」、または「イーサネット WAN」から選びます。 例えば、「3G/3.5G/LTE」を設定したときは、USB データ通信アダプタを使ってインターネットに接続し、障害があったときは「イーサネット WAN」に切り替わります。 初期設定は「3G/3.5G/LTE」です。 ※「WAN 優先順位」の機能を有効にするには、3G モバイル端末と WAN 回線がインターネット接続の設定を済ませている必要があります。
アイドルタイムアウト検出	以下の確認先として設定した IP アドレスに、Ping を送るアイドルタイムを設定します。 時間は「秒」で入力します
目的の IP アドレスへ Ping	インターネット接続を確認するための IP アドレスを、任意に入力します。 例）000.000.000.000

以下のことにご注意ください。

※ 「目的の IP アドレスへ Ping」に設定する Ping は、必ず応答可能なアドレスを設定してください。

※ 障害時により回線が切り替わった後に、切り替え前の回線には自動的には戻りません。

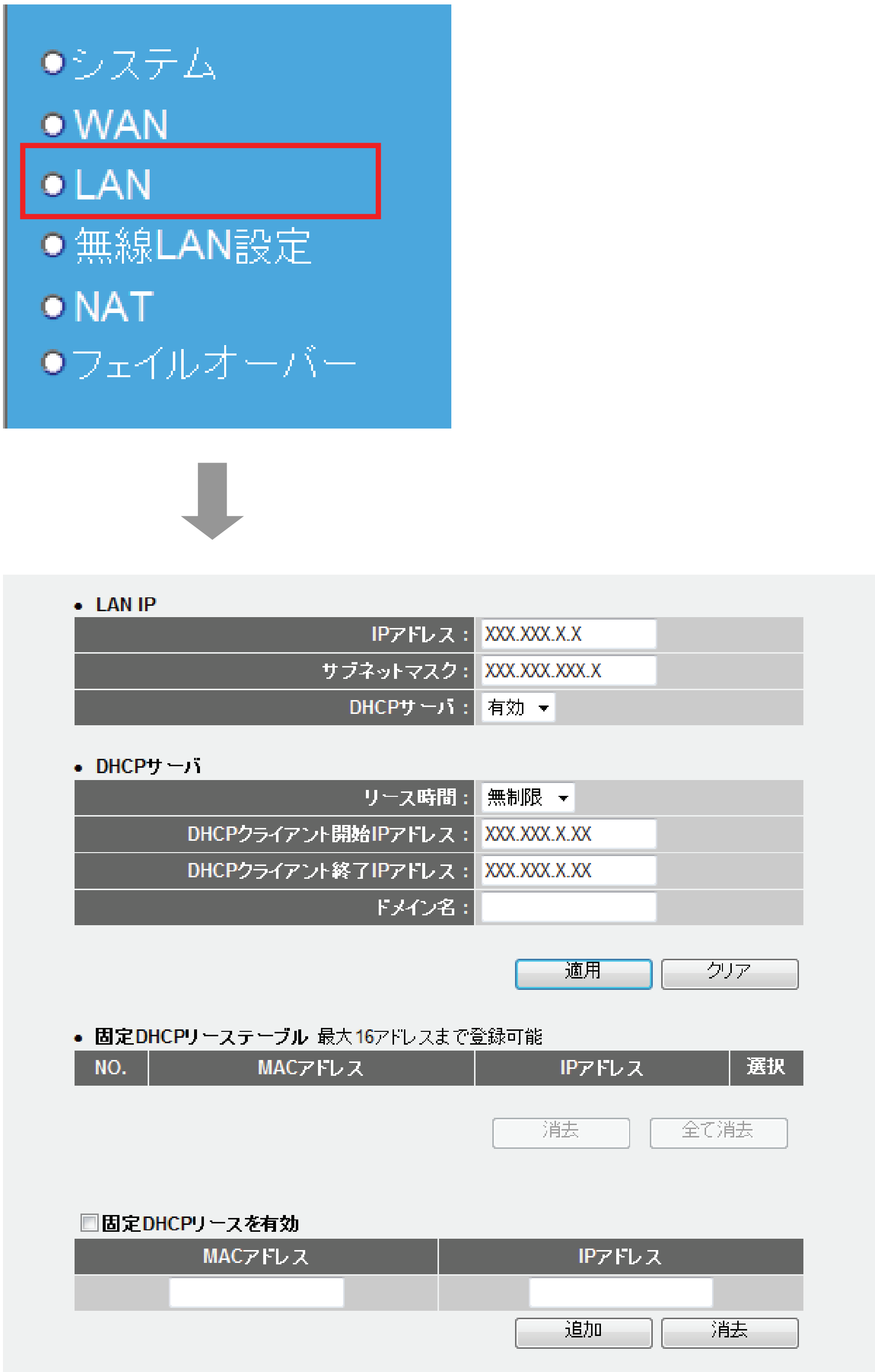
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.3 ネットワーク関連の設定

ここでは、ネットワーク関連の各種設定を行います。

6.3.1　LAN 設定

ここでは、LAN の設定を行います。



各設定項目内容は以下の通りです。

■LAN IP

項目	動作
IP アドレス	本製品に設定する LAN 側の IP アドレスを入力します。 初期設定は「192.168.1.1」です。
サブネットマスク	本製品に設定する LAN 側のサブネットマスクを入力します。 初期設定は「255.255.255.0」です。
DHCP サーバ	DHCP サーバ機能を有効にするときは、「有効」を選びます。 初期設定は「有効」です。

■DHCP サーバ

項目	動作
リース時間	本製品が割り当てる IP アドレスを使用する時間を設定します。設定した時間を越えると、新たに IP アドレスを割り当てます。「30 分」「1 時間」「2 時間」「12 時間」「1 日」「2 日」「1 週間」「2 週間」「無制限」から選びます。 初期設定は「無制限」です。
DHCP クライアント開始 IP アドレス	DHCP サーバを「有効」に設定したとき、本製品が割り当てる IP アドレスの開始アドレスを設定します。 初期設定は「192.168.1.20」です。
DHCP クライアント終了 IP アドレス	DHCP サーバを「有効」に設定したとき、本製品が割り当てる IP アドレスの終了アドレスを設定します。 初期設定は「192.168.1.50」です。
ドメイン名	プロバイダから提供されたドメイン名があるとき入力します

■固定 DHCP リーステーブル

項目	動作
MAC アドレス ／IP アドレス	DHCP サーバによって、割り当てられた IP アドレスを固定することができます。 「LAN IP」、「DHCP サーバ」の各項目を設定した後、以下の手順で進みます。 (1)「MAC アドレス」に IP アドレスを固定するパソコンの MAC アドレスを入力します。 (2)「IP アドレス」にパソコンに割り当てる IP アドレスを入力します。 (3)「固定 DHCP リースを有効」にチェックを付けます。 (4)[追加]をクリックします。 「固定 DHCP リーステーブル」に表示されます。 ※ 複数登録するときは、手順(1)～(4)を繰り返します。最大 16 個まで登録できます。 **設定内容を消去するには** ・ 選んで削除するときは、「固定 DHCP リーステーブル」から削除したい設定内容の「選択」ボックスにチェックを付け、「消去」をクリックします。 ・ すべてを消去するときは、「全て消去」をクリックします。

6.3.2 ダイナミック DNS（DDNS）の登録

本製品は、「CyberGate – DDNS –」をはじめ以下のダイナミック DNS サービスに対応しています。
本製品にダイナミック DNS の設定をするときは、先にダイナミック DNS の登録を済ませておいてください。

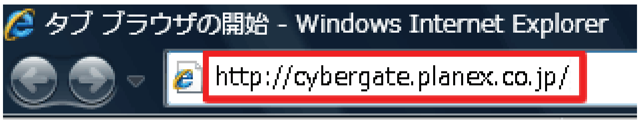
- CyberGate – DDNS –※1
- 3322(qdns)
- DHS
- DynDNS
- ODS
- TZO
- GnuDIP
- DyNS
- ZoneEdit

※1 「CyberGate – DDNS –」は、弊社が運営するダイナミック DNS サービスです。

ここでは、「CyberGate – DDNS –」の登録方法をご紹介します。
既にダイナミック DNS サービスの登録が完了しているときは、「6.3.3 ダイナミック DNS の設定」より本製品の設定を行ってください。

■アカウントの登録

1. WEB ブラウザのアドレス欄に「http://cybergate.planex.co.jp/」を入力し、「CYBER GATE」のホームページを表示します。

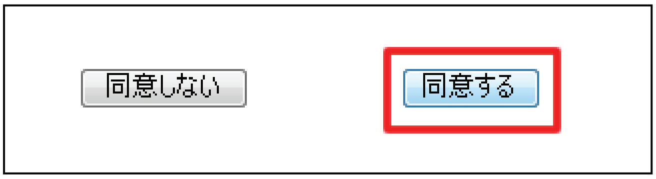


2. CyberGate – DDNS –のトップページの右メニュー「会員登録」をクリックします。



※「adobe Flash Player」がインストールされていないときは、インストール画面が表示されますので、インストールを実行してください。
※「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「はい」または「続行」をクリックしてください。

3. 「会員規約」が表示されます。 規約内容を確認が終わったら「同意する」をクリックします。

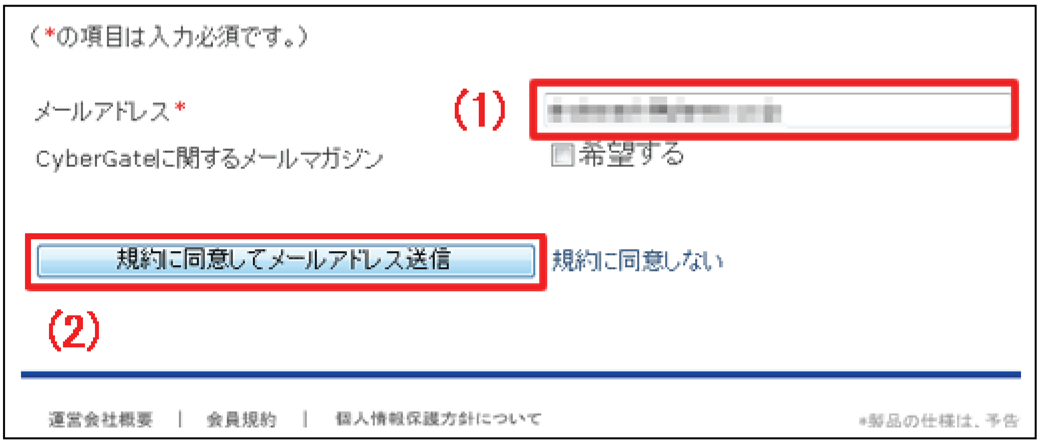


4. 「メールアドレス入力フォーム」が表示されます。

(1)メールアドレスを入力します。

*は必須項目になります。

(2)「規約に同意してメールアドレス送信」ボタンをクリックします。

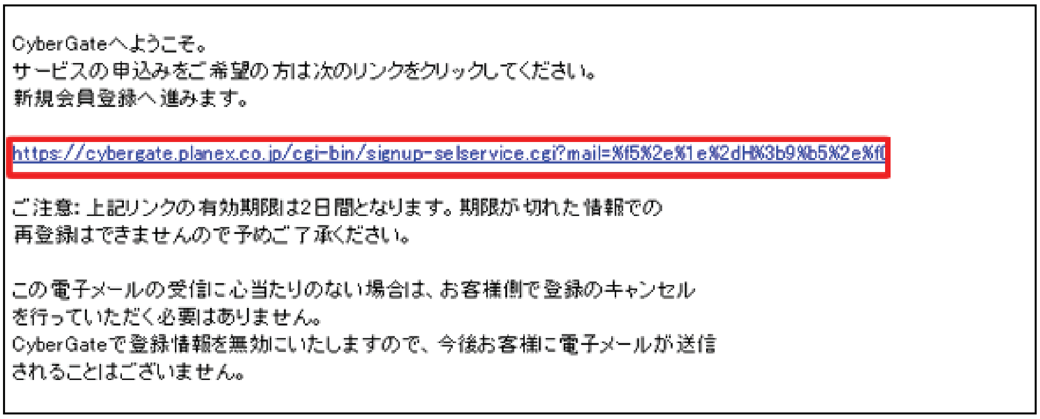


▼

「xxxx@xxxx.xx.xx 宛にメールを送信しました。」が表示されます。

5. 「CyberGate 登録確認」メールが登録したメールアドレス宛てに届きます。

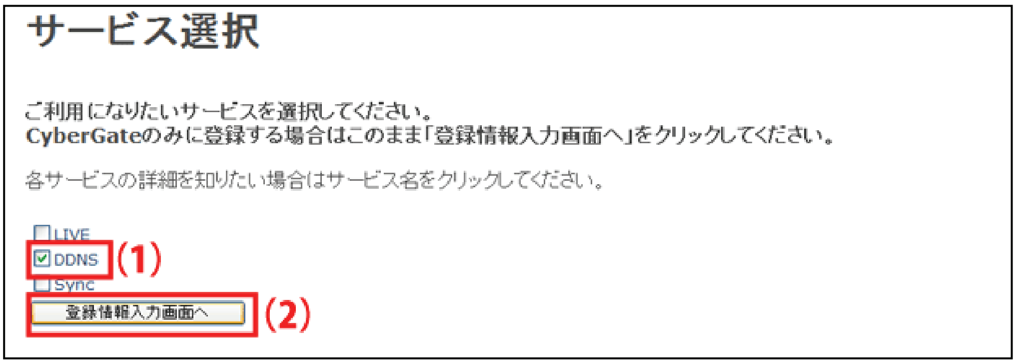
「http://cybergate.planex.co.jp/cgi-bin…」で始まるキーフレーズをクリックします。



6.「サービス選択」が表示されます。

(1)「DDNS」にチェックを入れます。

(2)「登録情報入力画面へ」をクリックします。



7.「サイバーゲート登録情報入力」が表示されます。

※「ユーザ ID」と「パスワード」は後の手順で使用するので、メモなどに控えてください。

(1)以下の内容を入力します。

・姓 ： 全角で姓を入力します。

・名 ： 全角で名前を入力します。

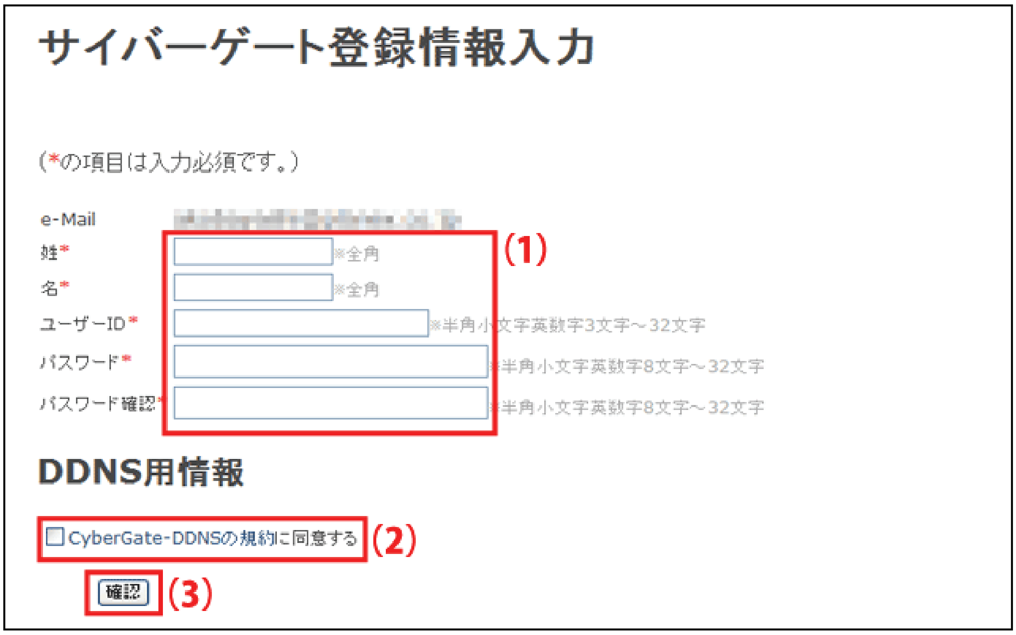
・ユーザーID ： 半角小文字英数字でご希望のユーザーID を入力します。(3～32 文字)

・パスワード ： 半角小文字英数字でご希望のパスワードを入力します。(3～32 文字)

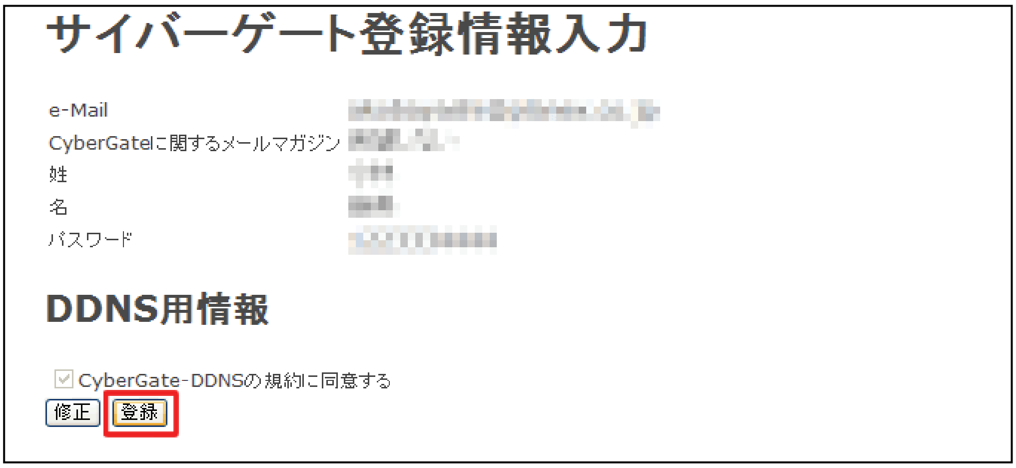
・パスワード確認 ： 上記で入力したパスワードを再度入力します。

(2)「CyberGate-DDNS の規約に同意する」にチェックを入れます。

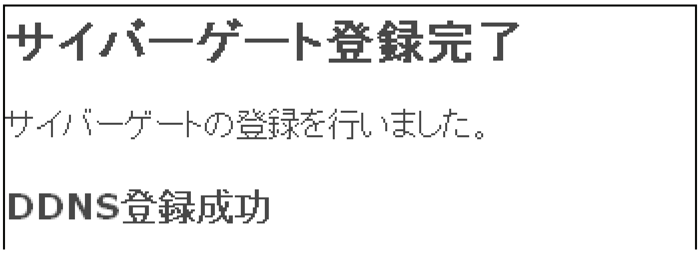
(3)「確認」をクリックします。



8. 「サイバーゲート登録情報入力」の確認画面が表示されます。
登録内容を確認し、「登録」をクリックします。



9. 登録の完了です。お手元に「CyberGate -DDNS- 登録完了」メールが届きます。



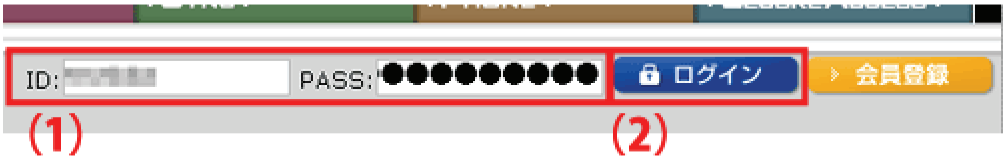
以上で、登録は完了です。

■ホスト名の登録

1. 「CyberGate –DDNS– 登録完了」メールから CyberGate のトップページを開き、ログインします。

　(1) 登録した「ID」と「パスワード」を入力します。

　(2)「ログイン」をクリックします。



2. ログインするとユーザ管理ページが表示されます。



3. ダイナミック DNS の設定を行います。

　右メニューの「CYBER GATE DDNS」をクリックします。



4. 「CyberGate － DDNS －ホストの追加」を選びます。



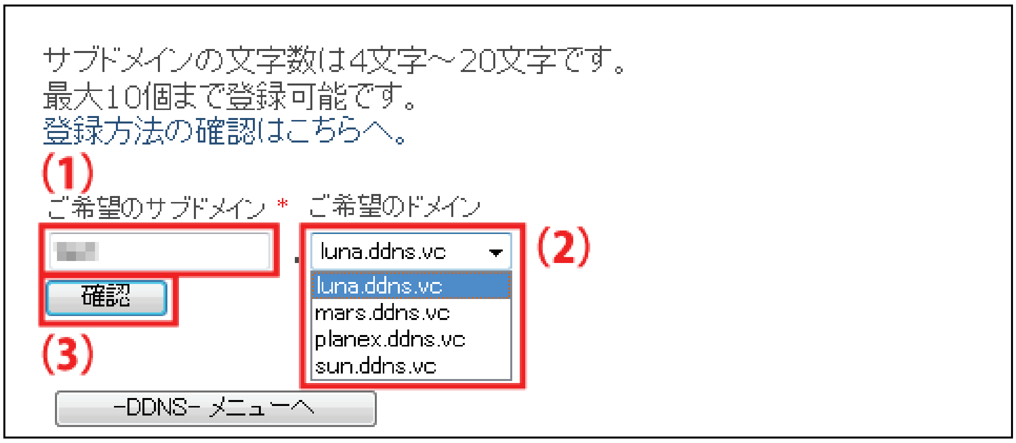
5. 「サブドメイン」、「ドメイン」設定画面が表示されます。

※「サブドメイン」と「ドメイン」は後の手順で使用するので、メモなどに控えてください。

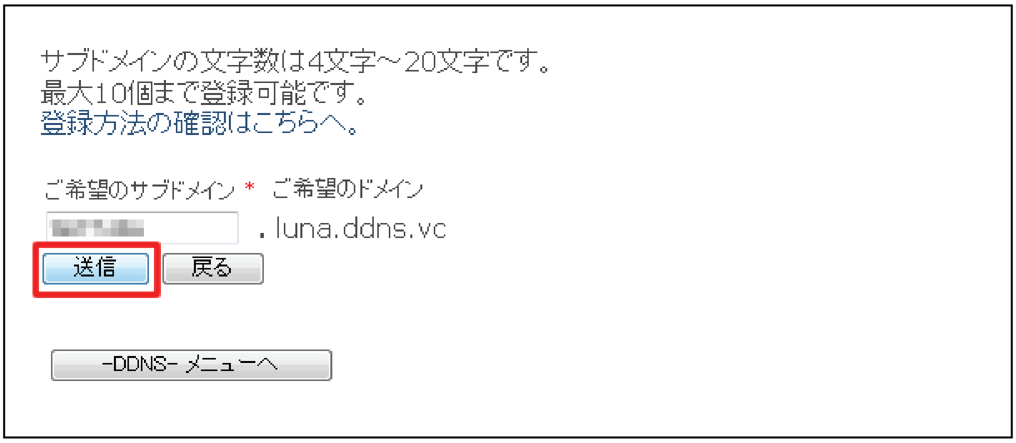
(1)「ご希望のサブドメイン」に任意のサブドメインを入力します。

(2)ご希望のドメインを選びます。

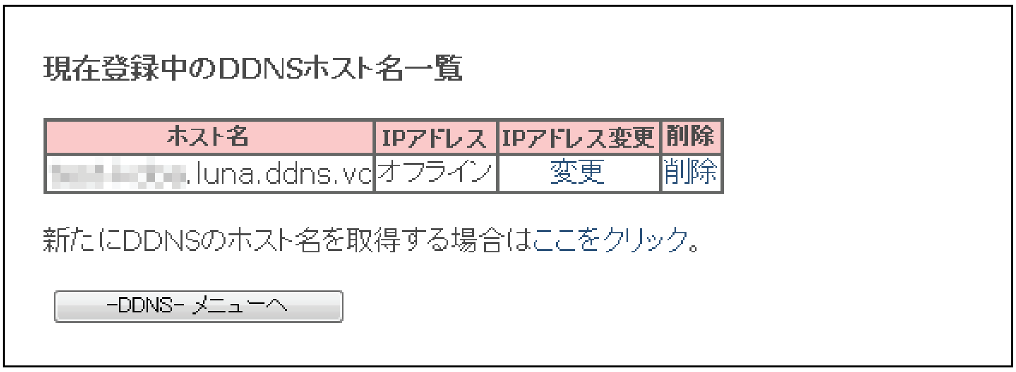
(3)「確認」をクリックします。



6. 「送信」をクリックします。



7. 「登録しました」が表示された後、「現在登録中の DDNS ホスト名一覧」が表示されます。



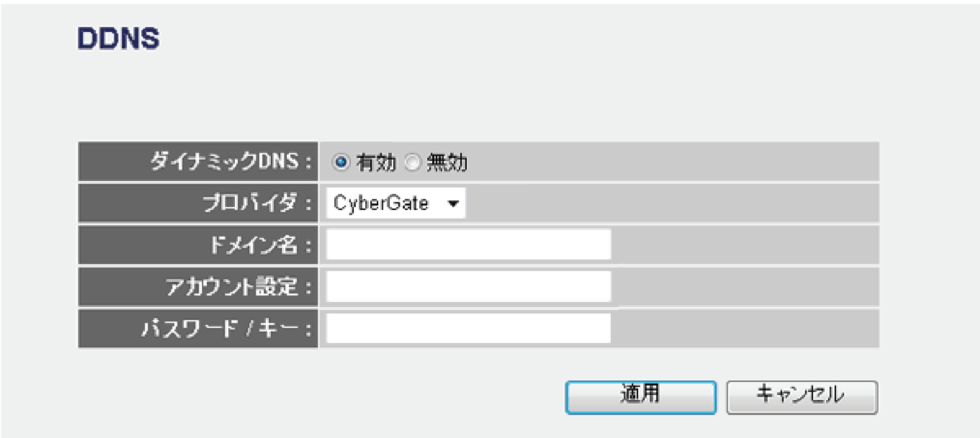
以上で、設定は完了です。

引き続き、「6.3.3　ダイナミック DNS の設定」より本製品の設定を行ってください。

6.3.3 ダイナミック DNS（DDNS）の設定

ここでは、本製品へのダイナミック DNS の設定を行います。
ダイナミック DNS サービスにすでに登録しているユーザ名、パスワード等を本製品に設定することで、本製品のインターネット側の IP アドレスを定期的にダイナミック DNS サービスに通知します。





各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
ダイナミック DNS	ダイナミック DNS を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。
プロバイダ	登録したダイナミック DNS サービスを選びます。
ドメイン名	ダイナミック DNS サービスで登録したドメイン名を入力します。 ※「CyberGate」のときは、サブドメイン名とドメイン名を入力してください。
アカウント設定	ダイナミック DNS サービスで登録したアカウントまたは E メールアドレスを入力します。
パスワード/ キー	ダイナミック DNS サービスで登録したパスワードまたはキーを入力します。

（ダイナミック DNS の設定例は以下を参考にしてください。）

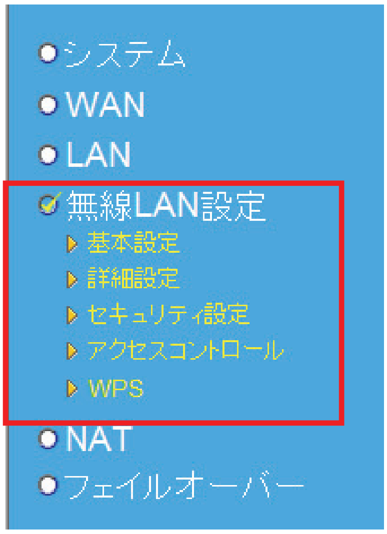
ダイナミック DNS ： 有効
プロバイダ ： CyberGate
ドメイン名 ： planex.luna.ddns.vc
アカウント設定 ： planex （planex.luna.ddns.vc の場合）
パスワード/キー ： ******

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4 無線 LAN 設定

「無線 LAN 設定」画面で、無線 LAN 関連の項目を設定することができます。
SSID（ネットワーク名）、セキュリティ設定、WPS、などの設定は「無線 LAN 設定」画面で設定内容を変更してください。

「無線 LAN 設定」画面には、「基本設定」、「詳細設定」、「セキュリティ設定」、「アクセスコントロール」、「WPS」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。



各設定については、以下の説明を参照してください。

6.4.1　基本設定

ここでは、SSID（ネットワーク名）、帯域、チャンネルなど、無線 LAN の基本設定を行います。

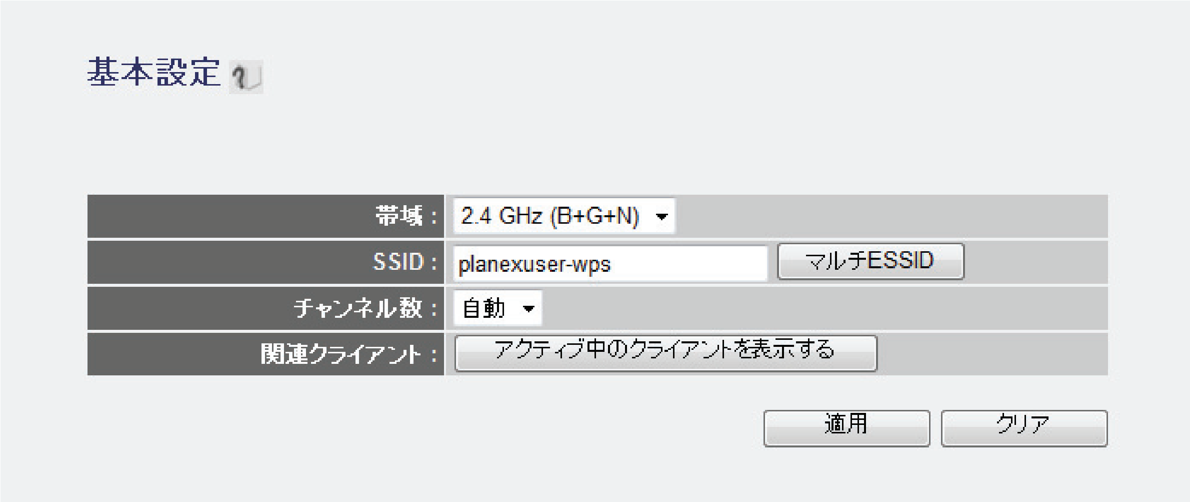
1.「無線機能」が「有効」になっていることを確認します。
　※無線機能」が「無効」に設定されているときは、「有効」を選び、[適用]をクリックして、設定を保存してください。



2.「基本設定」をクリックします。



3.「基本設定」画面が表示されます。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
帯域	「2.4GHz(B)」: IEEE802.11b でのみ通信します。 「2.4GHz(N)」: IEEE802.11n でのみ通信します。 「2.4GHz(B+G)」: IEEE802.11b および IEEE802.11g で通信します。 「2.4GHz(G)」: IEEE802.11g でのみ通信します。 「2.4GHz(B+G+N)」: IEEE802.11b、IEEE802.11g および IEEE802.11n で通信します。本製品で最適に通信したいときは、ここを選びます。 初期設定は「2.4GHz(B+G+N)」です。
SSID	任意のネットワーク名を半角英数字で入力します。(32 文字まで) 複数の SSID を設定する場合は「マルチ ESSID」をクリックしてネットワーク名を入力します。(最大 4 つまで) マルチ ESSID の設定については「6.4.3 マルチ ESSID の設定」を参照してください。
チャンネル数	近隣との電波干渉があるときに適当なチャンネルを選んでください。 初期設定は「自動」です。(通常は「自動」を選びます)
関連クライアント	「アクティブ中のクライアントを表示する」をクリックすると、現在接続中の無線 LAN 子機の詳細な情報が表示されます。

SSID（ネットワーク名）の登録について

本製品は予め SSID（ネットワーク名）が登録されています。お客様にて SSID を変更するときは、以下の手順で変更をしてください。

①上記の画面で、［マルチ ESSID］をクリックします。

②（1）ESSID1 の SSID を任意に設定します。（半角英数字で 32 文字まで入力できます。）

（2）［適用］をクリックします。

③「設定の保存に成功しました。」が表示されますので、［適用］をクリックします。

④本製品が再起動します。再起動が終わったら「マルチ ESSID」の画面を閉じます。

［適用］をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.2　セキュリティ設定

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。暗号化キーを用いた WEP または WPA を設定し、無線 LAN ネットワークへの不正アクセスを防止できます。

「セキュリティ設定」が表示されます。



各設定方法は以下の通りです。

■WEP のとき



(1) 設定する「SSID」を選びます。

(2) 「WEP」を選びます。

(3) 「64-bit」または「128-bit」を選びます。

(4) 「文字列」または「16 進数」を選びます。

※(3)で「64-bit」を選んだときは、「文字列(5 文字)」または「16 進数(10 文字)」と表示されます。

※(3)で「128-bit」を選んだときは、「文字列(13 文字)」または「16 進数(26 文字)」と表示されます。

(5) WEP キー(暗号化キー)を任意に半角英数で入力します。

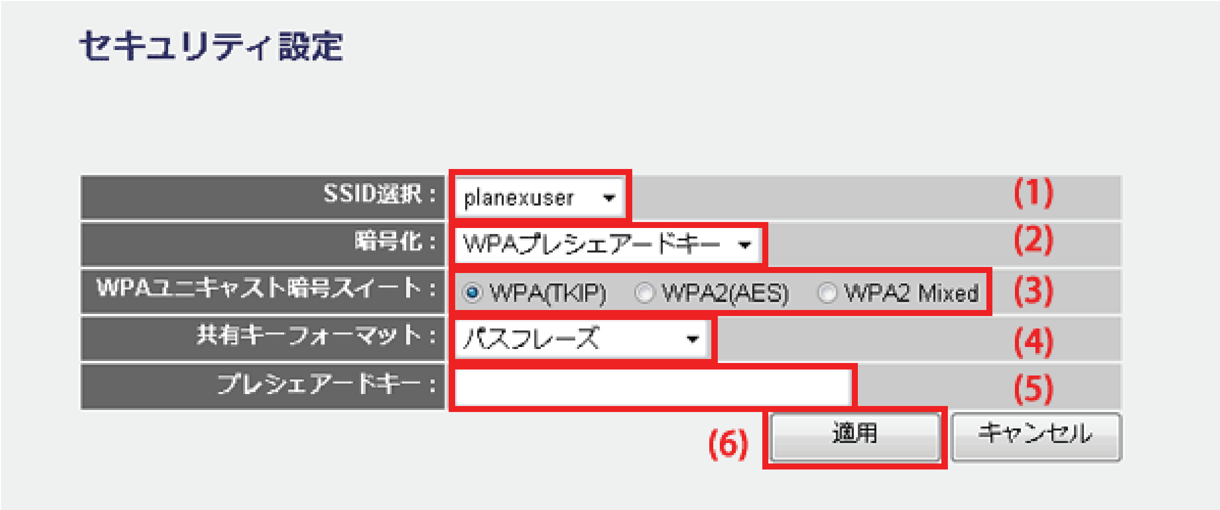
以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数(Hex)	文字列(ASCII)
64-bit	10 文字で設定	5 文字で設定
128-bit	26 文字で設定	13 文字で設定

※16 進数(Hex)のときに入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

(6)[適用]をクリックします。

■WPA-PSK/WPA2-PSK のとき



(1) 設定する「SSID」を選びます。

(2) 「WPA プレシェアードキー」を選びます。

(3) 「WPA(TKIP)」、「WPA2(AES)」または「WPA2 Mixed」から選びます。

※「WPA2 Mixed」を設定したときは、「TKIP」と「AES」が混在したネットワークでも互いに通信することができます。

(4) 「パスフレーズ」または「Hex(64 文字)」を選びます。

(5) 暗号化キーを任意に半角英数で入力します。

以下のルールにしたがって入力してください。

	16 進数(64 文字)	パスフレーズ
暗号化キー	64 桁で設定	8～63 文字の間で設定

※16 進数(64 文字)のときに入力できる文字列は、数字「0～9」、英字「A～F、a～f」となります。

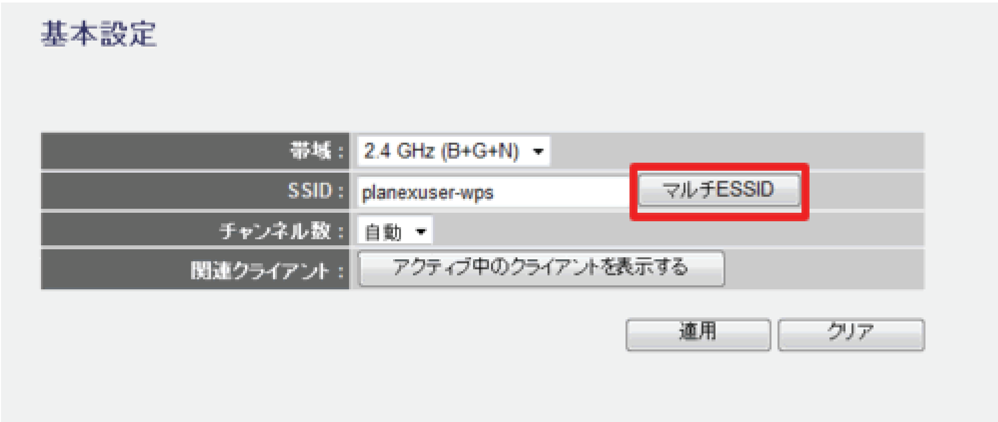
(6)[適用]をクリックします。

6.4.3 マルチ ESSID の設定

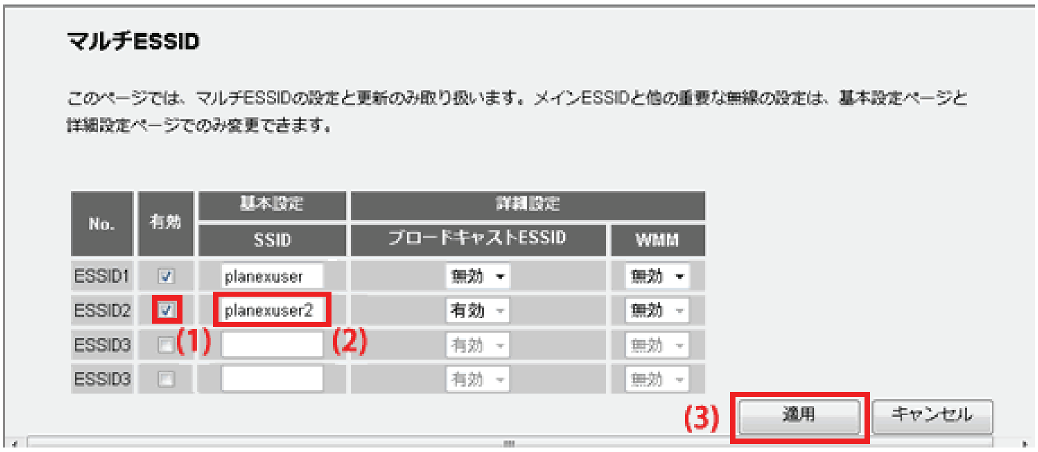
本製品では、複数の SSID を同時に使用できる「マルチ ESSID」に対応しています。設定した SSID ごとに使用帯域やセキュリティの設定を設定でき、携帯ゲーム機やパソコンなど、それぞれセキュリティレベルの異なる機器を本製品の設定を変更する事なく同時に使用する事が可能です。

設定方法は以下の通りです。

1. [マルチ ESSID]をクリックします。



2. 設定します。



(1)設定する ESSID の「有効」にチェックを入れます。

(2)[SSID]に任意のネットワーク名※を半角英数字で入力します。

　※上記画面では「planexuser2」が設定されています。

　※半角英数字で 32 文字まで入力できます。

(3)[適用]をクリックします。

3. 「設定の保存に成功しました。」が表示されます。
　[適用]をクリックします。
　　▼
　「システムを再起動しています。しばらくお待ちください。」が表示されます。

4. [OK]をクリックし、マルチ ESSID の画面を閉じます。

5. セキュリティを設定します。
　設定方法は、「6.4.2　セキュリティ設定」にしたがって設定を行ってください。

6.4.4　詳細設定

ここでは、無線 LAN の詳細設定を行います。　※通常、設定の必要はありません。



各設定項目内容は以下の通りです。

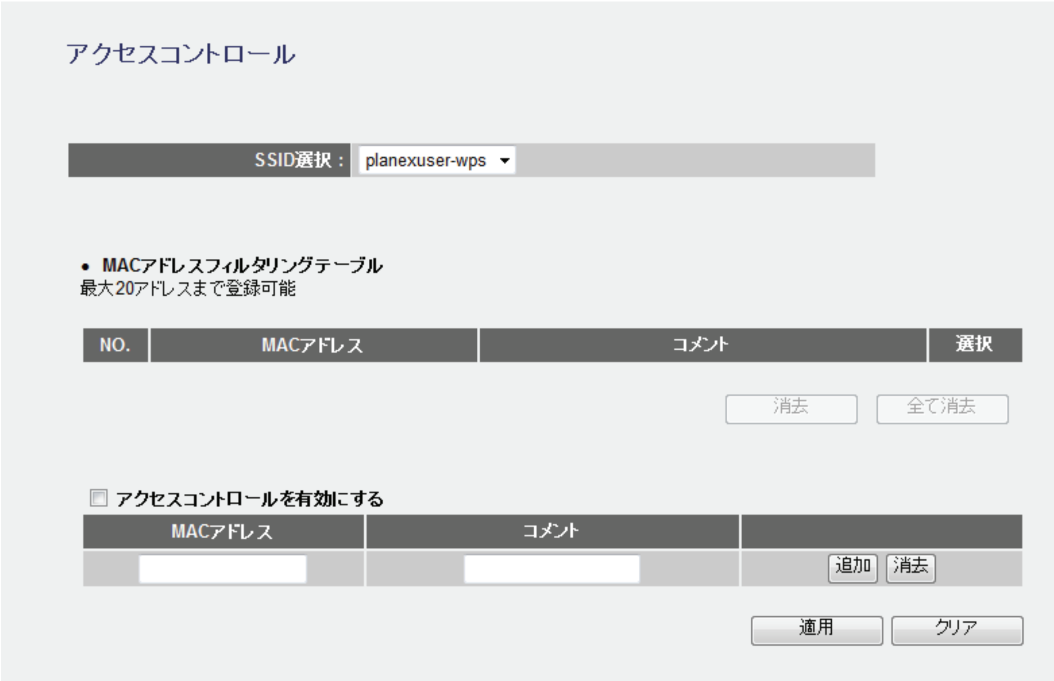
項目	動作
フラグメントしきい値	フラグメントしきい値を 256～2346 の間で設定します。 設定したサイズよりも大きなパケットを送信するとき、パケットを分割して、送信します。 初期設定は「2346」です。※通常は初期設定で使用します。
RTS スレッショルド値	RTS しきい値を 0～2347 の間で設定します。 RTS しきい値とは、本製品が無線 LAN 機器へパケットを送信する前に、同一ネットワーク内(SSID が同じ無線 LAN 機器)へ送信する RTS(Request To Send:送信要求)信号を送信するかどうかを決めるための境界値(＝しきい値)のことです。 初期設定は「2347」です。※通常は初期設定で使用します。
ビーコン間隔	ビーコン間隔を 20～1024 の間で設定します。 ビーコンとは無線ネットワークを同期させるためにアクセスポイントから一定間隔で送信するパケットのことです。 ビーコン間隔を小さくすると、クライアントの接続効率が上がりますが、通信効率が下がります。 初期設定は「100」です。※通常は初期設定で使用します。
DTIM ピリオド値	DTIM 間隔を 1～10 の間で設定します。 初期設定は「3」です。※通常は初期設定で使用します。
データレート	IEEE802.11b の送信速度を Auto/54/48/36/24/18/12/9/6/11/5.5/2/1Mbps から選択します。「Auto」を選択したときは常に最適な送信速度を自動的に設定します。 初期設定は「Auto」です。
N データレート	IEEE802.11n の通信速度を「MCS 0」～「MCS 15」から選択します。 「Auto」を選択したときは常に最適な送信速度を自動的に設定します。 初期設定は「Auto」です。
チャンネル幅	チャンネル幅を「Auto 20/40 MHZ」または 「20 MHZ」から選びます。 初期設定は「20 MHZ」です。 「Auto 20/40 MHZ」を選ぶと高速に通信することができます。
プリアンブルタイプ	「ショートプリンアンブル」、「ロングプリンアンブル」から選びます。 「ショートプリンアンブル」のとき、無線 LAN 間の通信速度が速くなりますが、ショートプリアンブルに対応していないクライアントのとき、通信できなくなる恐れがあります。この場合は、「ロングプリンアンブル」に設定してください。 初期設定は「ショートプリンアンブル」です。
ブロードキャスト ESSID	「有効」に設定すると、クライアント側から本製品に設定されている SSID を見ることができます。「無効」のときは、SSID が見えなくなり、不正アクセスを防止することができます。
CTS プロテクト	IEEE802.11b の帯域を確保します。初期設定は「なし」です。
送信パワー	送信出力を「100%」「90%」「75%」「50%」「25%」「10%」から選びます。 初期設定は「100%」です。

WMM	ビデオや音声などのストリーミングを データが途切れないように帯域を確保 します。 初期設定は「有効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.5 アクセスコントロール

ここでは、無線による本製品への接続を制限します。アクセスコントロール機能が「有効」の場合、登録機器のみ接続できます。



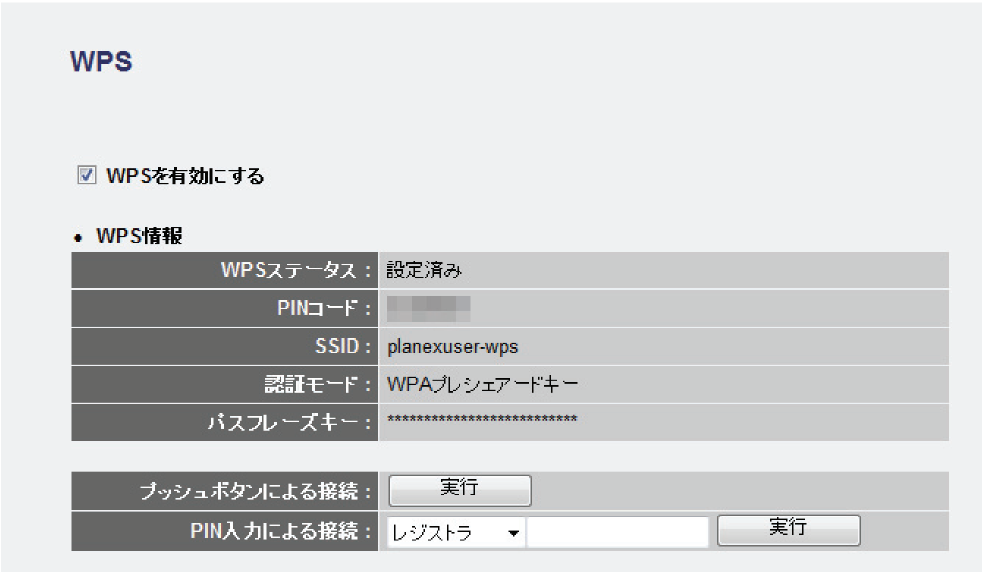
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
SSID 選択	アクセスコントロールを設定したい SSID をリストから選びます。
アクセスコントロールを有効にする	アクセスコントロールを設定したいときはチェックを入れます。
MAC アドレス	登録する機器の MAC アドレスを入力します。
コメント	任意でコメントを入力します。（最大 20 文字）
MAC アドレスフィルタリングテーブル	登録した機器の一覧が表示されます。

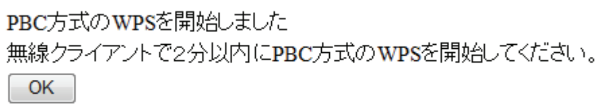
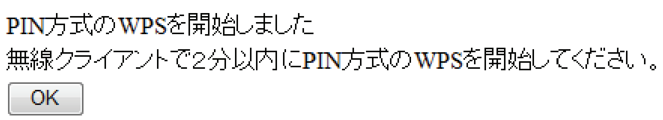
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.4.6 WPS

ここでは、WPS の設定を行います。WPS 機能に対応している機器との無線設定が簡単にできます。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
WPS を有効にする	WPS 機能を有効にするときは、ここにチェックを入れます。 ※初期値は有効です。
PIN コード	本製品の PIN コードです。 相手側機器との接続に PIN コードの登録が必要なときは、このコードを指定します。
プッシュボタンによる接続	PBC 方式で相手側機器と接続します。 [実行]ボタンをクリックすると、以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 
PIN 入力による接続	PIN コードを使って相手側機器と接続します。 【レジストラ】 相手側機器の PIN コードを入力し、[実行]ボタンをクリックします。 以下の画面が表示されますので、[OK]をクリックします。 

	【エンローリー】 [実行]ボタンをクリックし、WPS 画面に表示されている PIN コードを相手側機器に登録し、接続を実行します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5 NAT 関連の設定

ここでは、仮想サーバ、UPnP などの NAT 関連の設定を行います。



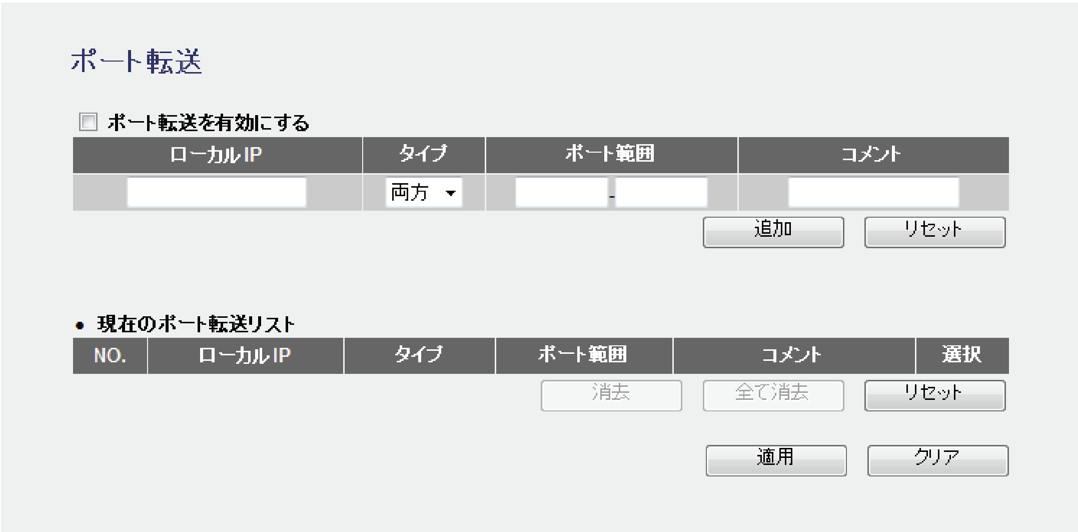
「NAT 機能」が「有効」になっていることを確認します。

※ NAT 機能」が「無効」に設定されているときは、「有効」を選び、[適用]をクリックして、設定を保存してください。

6.5.1 仮想サーバの設定（ポート転送）

本製品の LAN 側にあるパソコンをサーバとして公開したり、ネットワークゲームをプレイしたりするときに利用します。 特定のポートに対して外部（インターネット）からアクセスがあったとき、本製品の LAN 側にあるパソコンに通信を転送する設定を行います。

※IP アドレスを手動で設定する方法（IP 手動設定）を推奨します。
※アプリケーションを利用するとき、設定するポート番号やプロトコルはアプリケーションにより異なります。アプリケーションの取扱説明書などを参照して、設定してください。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
ポート転送を有効にする	ポート転送機能を有効にするときは、「有効」チェックを付けます。
ローカル IP	LAN 側のパソコンの IP アドレスを入力します。 ※「コンピューター名」からアクセスを許可するパソコンの IP アドレスを選び、をクリックすると、選んだパソコンの IP アドレスが自動的に入力されます。
タイプ	プロトコルを「TCP」「UDP」「両方」から選びます。 初期設定は「両方」です。
ポート範囲	インターネット側から見た送信先ポート番号の範囲を入力します。
コメント	サーバ名など任意にコメントを入力します。
追加	[追加]をクリックします。 「現在のポート転送リスト」に追加した内容が登録されます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

登録内容を消去するには

・ 選んで削除するときは、「現在のポート転送リスト」から削除したい設定内容の「選択」ボックスにチェックを付け、「消去」をクリックします。
・ すべてを消去するときは、「全て消去」をクリックします。

ポート転送の設定例は以下を参考にしてください。

ポート転送　：　有効
ローカル IP　：　192.168.1.xxx(ポート転送)
タイプ　：　両方
ポート範囲　：　80-80
コメント　：　WebServer

6.5.2 UPnP 設定

UPnP を設定します。インスタントメッセンジャーなどを利用するときは、UPnP を有効にします。
※　初期設定で無効です。



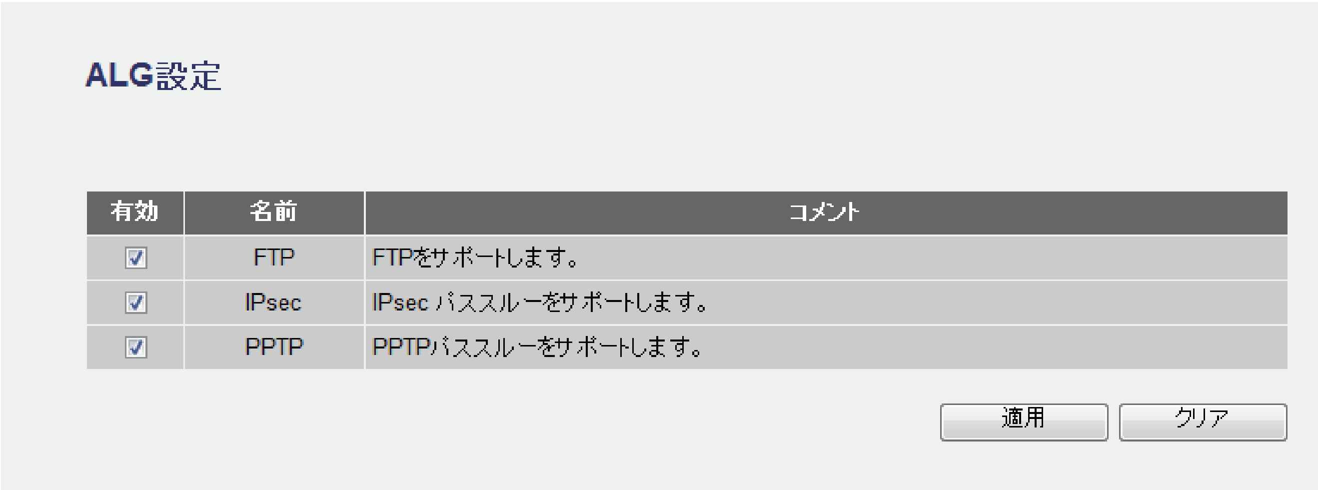
各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
UPnP 機能	ポート転送機能を有効にするときは、「有効」チェックを付けます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5.3 アプリケーションゲートウェイの設定

アプリケーションゲートウェイ(Proxy サーバ)を設定します。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
FTP	FTP プロトコルをサポートするときは、「有効」チェックを付けます。
IPsec	IPsec プロトコルをサポートするときは、「有効」チェックを付けます。
PPTP	PPTP プロトコルをサポートするときは、「有効」チェックを付けます。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.5.4 スタティックルーティングの設定

WAN 側に通信するルート（経路）の設定をおこないます。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目	動作
スタティックルーティングを有効にする	スタティックルーティング機能を有効にするときは、「有効」チェックを付けます。
送信先 LAN IP アドレス	送信先ネットワークの IP アドレスを入力します。
サブネットマスク	送信先ネットワークのサブネットマスクを入力します。
デフォルトゲートウェイ	送信先ネットワークのゲートウェイを入力します。
ポップス数	ホップ数を入力します。 通常は「0」を設定します。 ※複数のルータがあるとき、設定したホップ数が小さい順に経路としてパケットが流れていきます。 ※ホップ数は、「0」から「255」までの範囲で入力してください。
追加	[追加]をクリックします。 「現在のスタティックルーティングテーブル」に追加した内容が登録されます。 ※複数登録するときは、(2)～(6)を繰り返します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

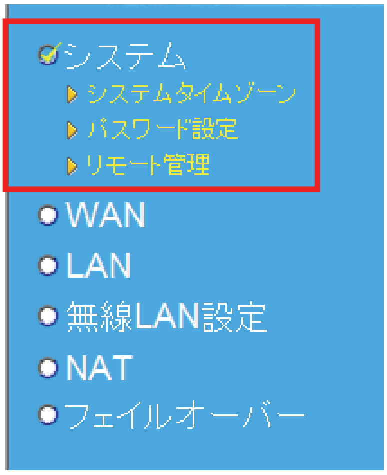
登録内容を消去するには

- 「現在のスタティックルーティングテーブル」から削除したい設定内容の「選択」ボックスにチェックを付け、「消去」 をクリックします。
- すべてを消去するときは、「全て消去」をクリックします。

6.6 システム管理関連

「システム管理」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。時刻設定、ファームウェア更新、設定情報管理などは「システム管理」画面で設定・確認をしてください。

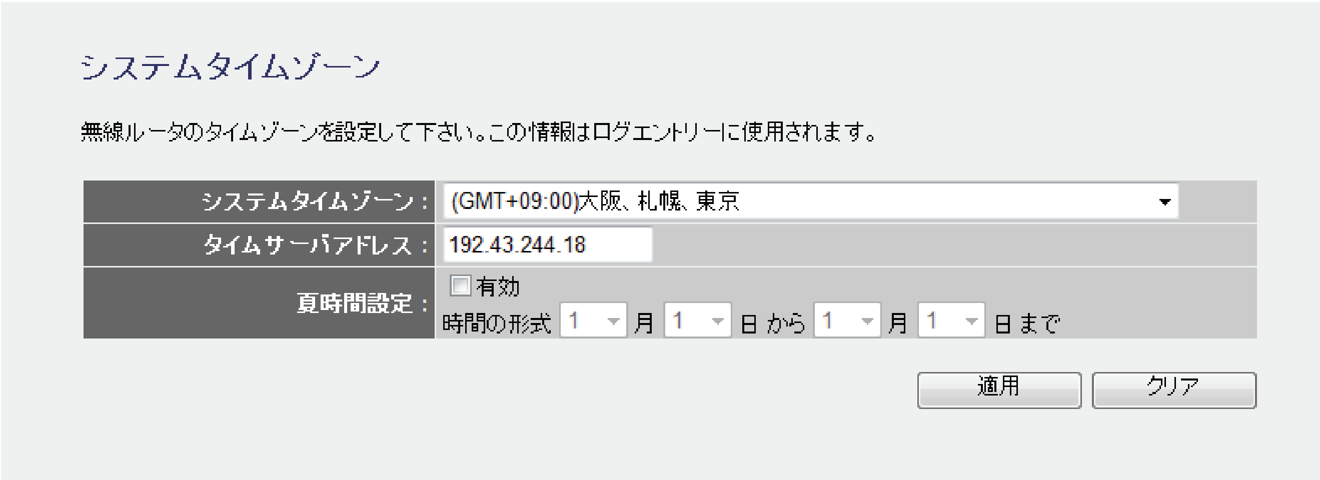
システム管理画面には、「システムタイムゾーン」「パスワード変更」、「リモート更新」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。



各設定については、以下の説明を参照してください。

6.6.1 システムタイムゾーン（時刻設定）

ここでは、パソコンと同期または NTP サーバを利用し、時刻を設定します。



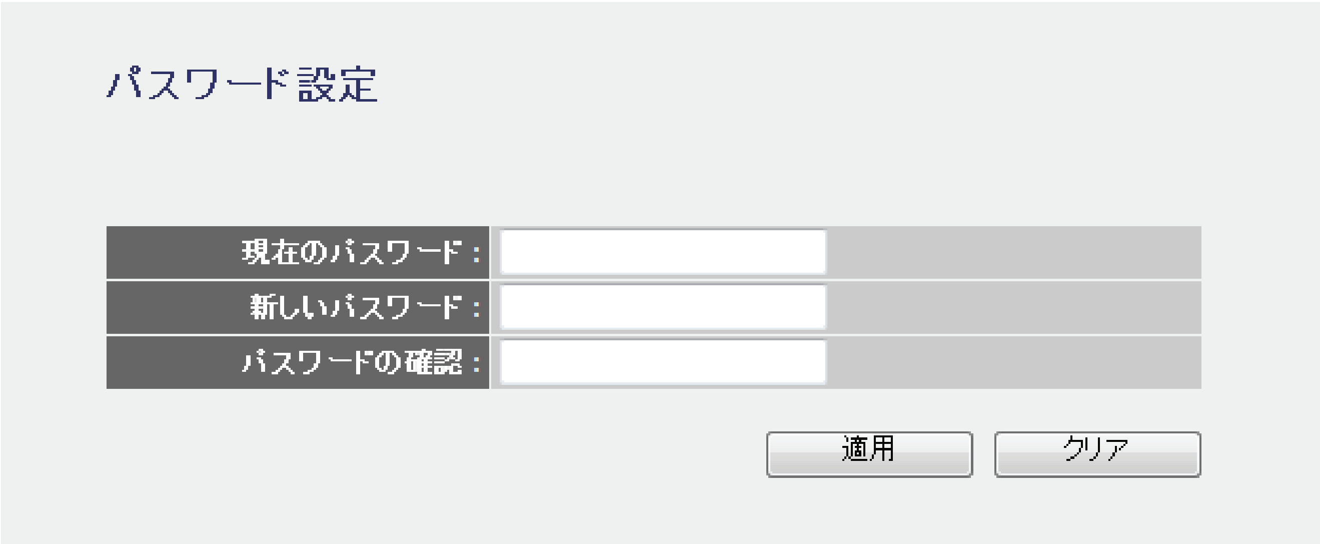
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
システムタイムゾーン	タイムゾーンを選びます。 ※初期値は「（GMT＋09：00）大阪、札幌、東京」です。
タイムサーバアドレス	NTP サーバを設定します。 ※初期値は「192.43.244.18」です。
夏時間設定	夏時間（サマータイム）を調整するときは、「有効」にチェックを入れます。 有効にしたときは、夏時間として設定する範囲を指定します。 初期値は「無効」です。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6.2 パスワード設定

ここでは、設定画面にログインするためのユーザ名、パスワードを設定します。



各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
現在のパスワード	現在設定されている本製品設定画面にログインするときのパスワードを入力します。
新しいパスワード	新たに設定する本製品設定画面にログインするときのパスワードを入力します。
パスワードの確認	入力間違いを防ぐ為、もう一度パスワードを入力します。

[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.6.3 リモート管理

ここでは、リモート管理をするための設定をします。



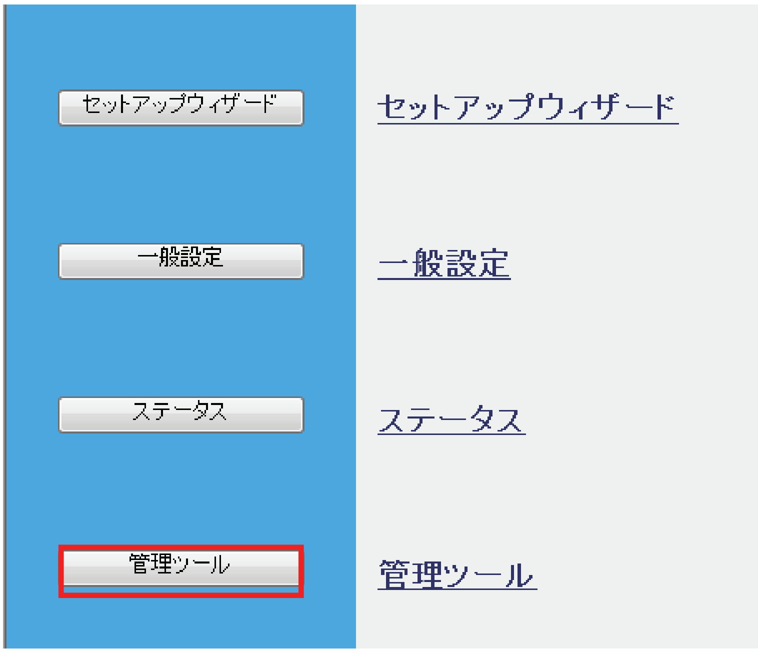
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
ホストアドレス	本製品へのリモートアクセスを許可する IP アドレスを入力します。
ポート	本製品へのリモートアクセスを許可するポート番号を入力します。 ※初期値は「8080」です。
有効	本製品へのリモートアクセスを許可するときは「有効」にチェックを入れます。 ※初期値は「無効」です。

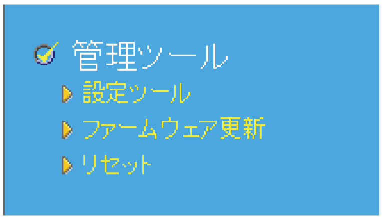
[適用]をクリックして設定内容を保存すると、新しい設定内容が適用されます。

6.7 管理ツール関連

「管理ツール」画面で、機器管理関連の項目を設定することができます。設定情報管理、ファームウェア更新などは「システム管理」画面で設定・確認をしてください。



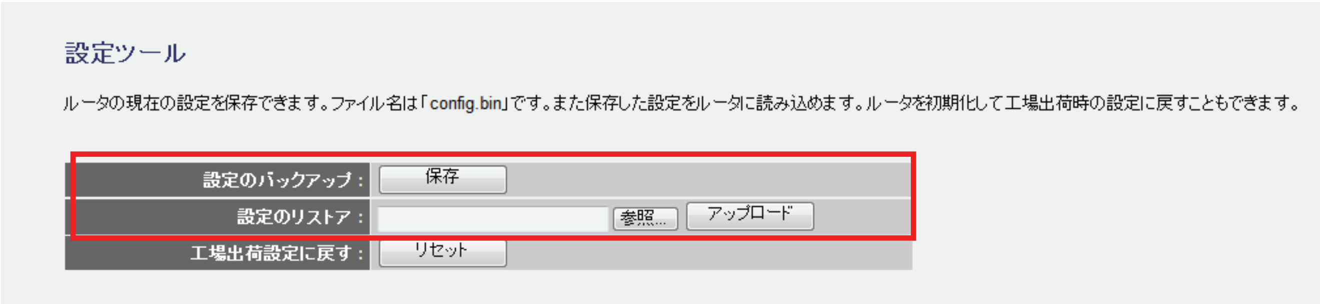
管理ツール画面には、「設定ツール」、「ファームウェア更新」、「リセット」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。



各設定については、以下の説明を参照してください。

6.7.1 設定情報の保存／復元

ここでは、現在の設定情報を保存や読み込み設定をします。

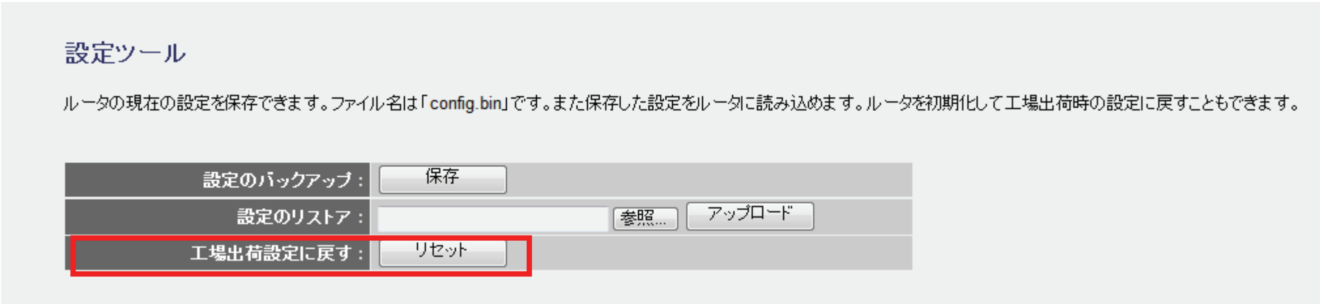


各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
現在のバックアップ	現在の設定情報を保存します。 [保存]ボタンをクリックすると以下の画面が表示されますので、[保存(S)]をクリックして設定ファイルをハードディスクなどに保存します。 
設定のリストア	設定情報を保存したファイルを読み込み復元します。 [参照]をクリックして、予め保存した設定ファイルを指定した後、[アップロード]をクリックすると、設定情報を読み込みます。 読み込みが完了すると、本製品が再起動します。 ※異なるバージョンのファームウェアで保存したファイルを読み込むことはできません。

6.7.2 初期化

ここでは、本製品の初期化を行います。



設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
工場出荷時設定に戻す	本製品を工場出荷時状態に戻します。 [リセット]をクリックすると、本製品が再起動し初期化します。

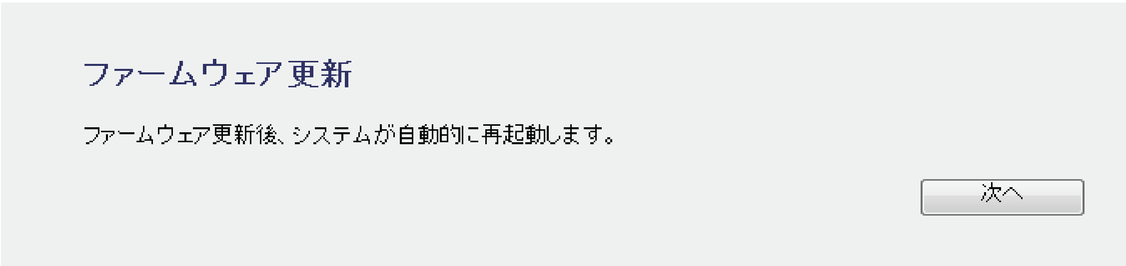
※初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

6.7.3 ファームウェア更新

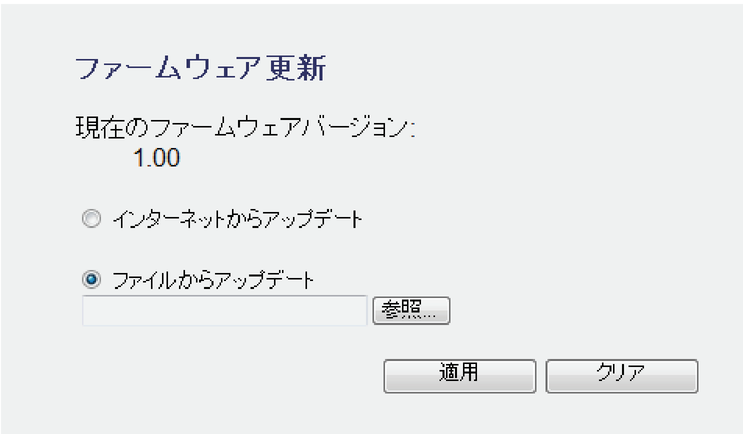
ここでは、ファームウェアを更新します。
下記弊社のホームページより最新のファームウェアがあるときはダウンロードできます。

http://www.planex.co.jp/support/download/

あらかじめ弊社ホームページから最新のファームウェアをダウンロードし、パソコンのハードディスクなどに保存しておいてください。



[次へ]をクリックすると下記の画面が表示されます。



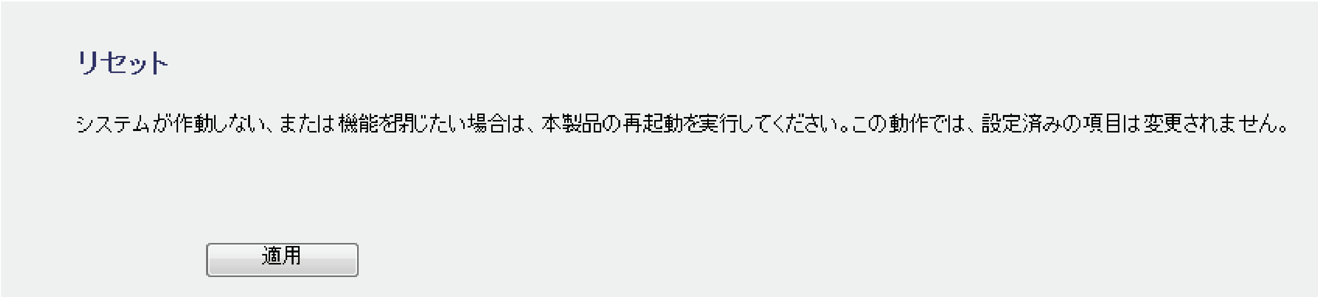
各設定項目内容は以下の通りです。

項目名	動作
インターネットからアップデート	チェックを入れると、最新のファームウェアを取得します。
ファイルからアップデート	予めダウンロードしたファームウェアを指定します。 [参照]をクリックして、予め保存した新しいファームウェアファイルを指定します。

[適用]をクリックすると、ファームウェアのアップデートを開始します。
ファームウェアの更新が完了すると、本製品が再起動します。

6.7.4 再起動

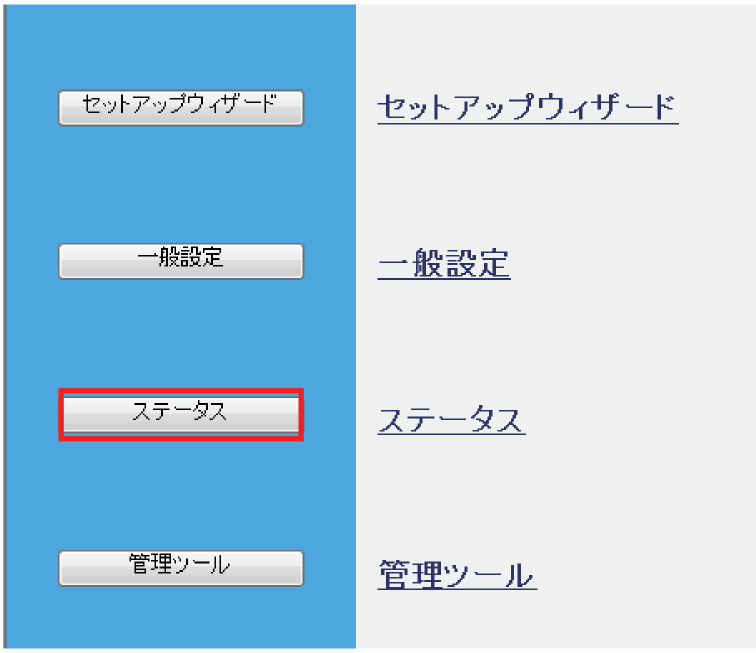
「再起動」画面で、本製品を再起動することができます。



[適用]をクリックすると、本製品が再起動します。

6.8 ステータス関連

ここでは、ステータス関連の表示方法を説明します。



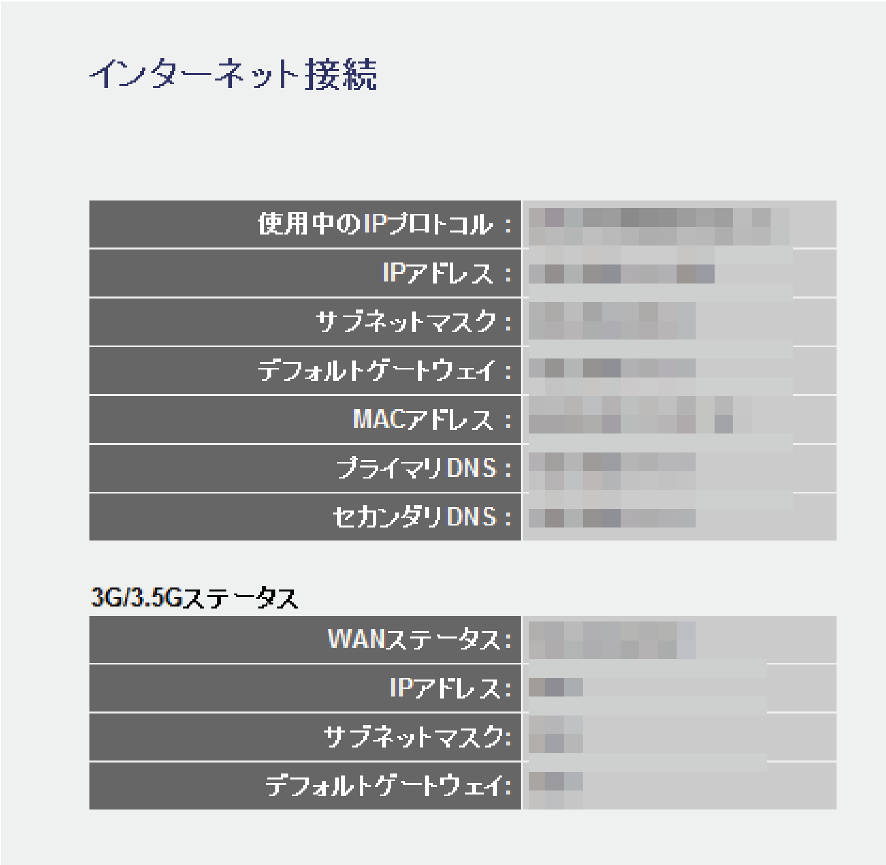
ステータス画面には、「インターネット接続」、「デバイス情報」、「システムログ」、「セキュリティログ」、「接続中のDHCP クライアント」、「パケット統計」、「モデム情報」のメニューがあり、それぞれ左側のメニューから選ぶことができます。



各設定については、以下の説明を参照してください。

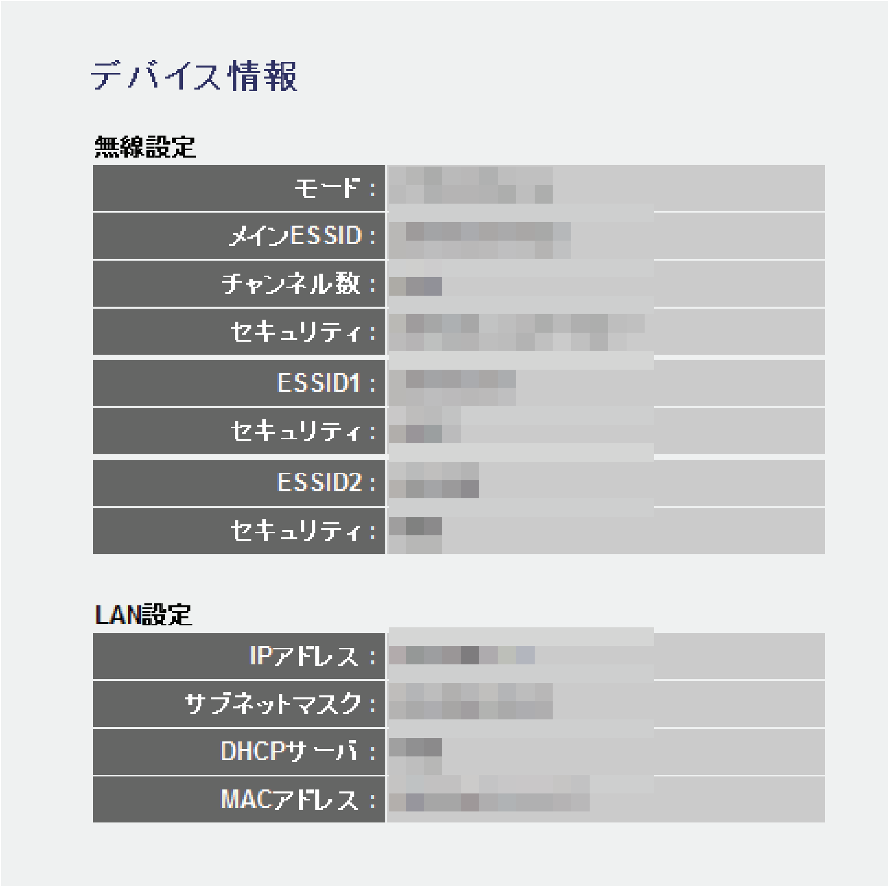
6.8.1 インターネット接続を確認する

「インターネット接続」画面で、インターネット接続状況（WAN 側情報）が確認できます。



6.8.2 デバイス情報を確認する

「デバイス情報」画面で、インターネット接続状況（WAN 側情報）が確認できます。



6.8.3 システムログを確認する

「システムログ」画面で、本製品のシステムログ情報を表示します。



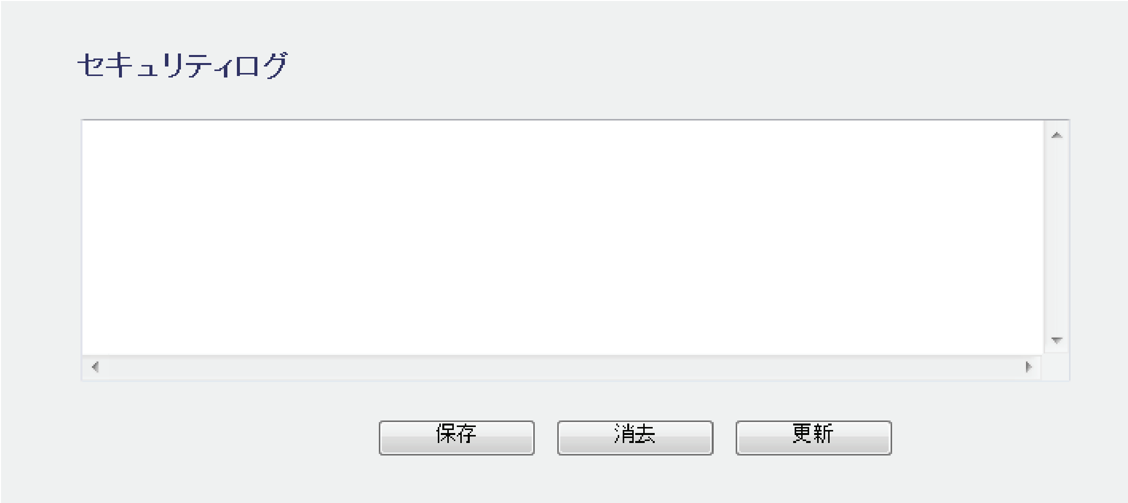
[保存]をクリックすると、テキスト形式でログを保存する事が出来ます。

[消去]をクリックすると、ログを消去します。

[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

6.8.4 セキュリティログを確認する

「セキュリティログ」画面で、本製品のシステム情報を表示します。



[保存]をクリックすると、テキスト形式でログを保存する事が出来ます。
[消去]をクリックすると、ログを消去します。
[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

6.8.5 接続中の端末を確認する

「接続中の DHCP クライアント」画面で、接続中の端末情報を表示します。



[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

6.8.6　パケットを確認する

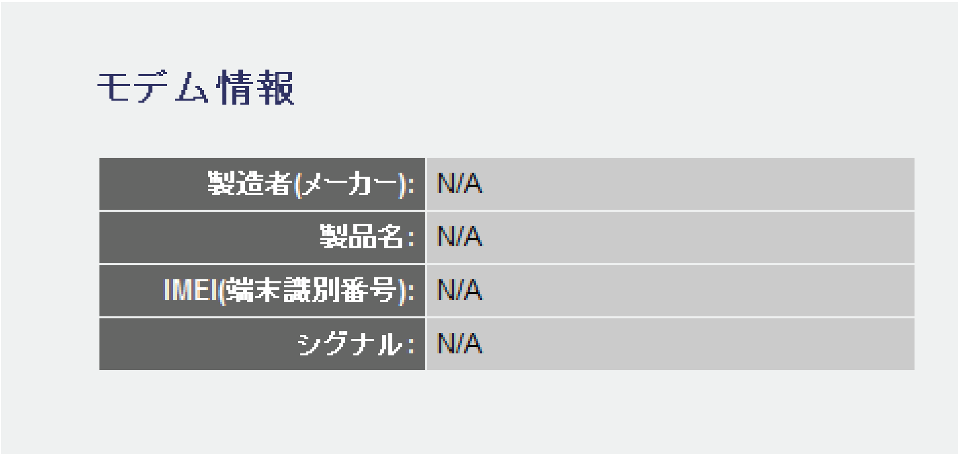
「パケット統計」画面で、パケットの送受信情報を表示します。



[更新]をクリックすると、最新の情報に更新します。

6.8.7 モデム情報を確認する

「モデム」画面で、本製品に接続されている 3G モバイル端末情報を表示します。



第 7 章　困ったときは

7.1 トラブルシューティング

もし本製品が正常に動作しないとき、販売店または弊社テクニカルサポートに連絡する前に、本章に記載されているトラブルシューティングをご確認ください。トラブルの解決に役立つ可能性があります。

症状	可能な解決策
電源が入らない	本製品の電源がはいらないときは、次の内容を確認してください。 ・　AC アダプタが正しく接続されているか ・　同梱品以外の AC アダプタを使用していないか ・　延長コードやタップを使用しないときはどうか ・　他のコンセント差込口ではどうか ・　正しい電源、電圧で使用しているか それでも改善されないときは、恐れ入りますが、本製品の不具合の可能性がございますので、同梱の「はじめにお読みください」裏面記載の保証規定を必ずご確認頂き、ご同意のうえで、修理を依頼してください。 ★同意頂けない場合は、ご購入の販売店にご返却ください。 但し、お客様の過失で製品にキズ、欠損、欠品などがある場合にはご返却できません。
設定画面にログインできない	設定画面にログインできないときは、次の内容を確認してください。 ・　IP アドレスは「自動取得」になっているか ・　WEB ブラウザにプロキシサーバーの設定をしていないか ・　WEB ブラウザでセキュリティを高く設定していないか ・　セキュリティソフトウェア(ウィルスチェック、ファイアウォールなど)を停止させて改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化し、再度ログインをお試しください。
インターネットに接続できない	●インターネットに接続できないときは、次の内容を確認してください。 ・　パソコンの IP アドレスは自動取得になっているか ・　すべての機器の電源を OFF にして、60 分ほどそのままの状態にして改善するか ・　IP アドレスでホームページにアクセスできるか ●セキュリティソフトをご利用中の場合は、一時的に停止して頂き、再度お試しください。本製品の設定が終了しましたら、設定を元に戻してください。無効にする方法につきましては、セキュリティソフトの取扱説明書などをご確認ください。 ●ブラウザのアドレスに「http://210.197.79.10」と入力して<Enter>キーを押して、弊社（プラネックス）のホームページが表示されるか確認してください。

	それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、再度インターネットの設定を行ってください。
無線 LAN がつながらない	無線 LAN がつながらないときは、次の内容を確認してください。 ・ 本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に距離がないか ・ 本製品と無線 LAN クライアント（子機）との間に障害物がないか ・ 電子レンジの傍で接続をしていないか ・ 本製品の Wireless/WPS ランプ（LED ランプ）は有効になっているか ・ 無線 LAN アダプタが搭載のパソコンで、無線 LAN のスイッチがオフになっていないか ・ 無線 LAN が無効になっていないか ・ ワイヤレスネットワークの IP アドレスが手動設定になっていないか ・ 無線 LAN クライアント（子機）に設定されている SSID および無線 LAN セキュリティ設定は本製品と同じになっているか ・ ルータ側の無線チャンネルを変更して改善されるか それでも改善されないときは、お手数ですが本製品を初期化後、セットアップウィザードをお試しください。

7.2 初期化の方法.

次のようなときは、本製品を工場出荷時状態に戻して頂き、再度設定をお試しください。

- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、設定画面にログインできないとき
- 接続方法、パソコン側の設定を見直しても、インターネットに接続できないとき
- 本製品の IP アドレスを変更し、変更後の IP アドレスを忘れてしまったとき
- お客様が設定された内容を元に戻したいとき

注意：初期化すると本製品の設定内容がすべて消去されます。初期化する前に必要な情報はメモなどに控えてください。

1. 本製品の電源がオンになっていることを確認します。
2. 本製品側面の「WPS」ボタンを 25 秒以上長押しします。
3. 本製品上面の「Power」ランプが点灯から点滅になり、さらにに消灯したら、「Power」ボタンから手を離します。
4. しばらくそのままお待ちいただき、本製品が再起動したら初期化の完了です。

7.3 IP アドレスの設定.

7.3.1 自動設定

パソコンの IP アドレスを DHCP サーバから取得する方法に設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき………………………………… 「7.3.1.1 Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「7.3.1.2 Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「7.3.1.3 Windows XP」
- Mac OS X のとき………………………………… 「7.3.1.4 Mac OS X」

7.3.2 手動設定

パソコンの IP アドレスを手動で設定します。
お使いの OS を参照してください。

- Windows 7 のとき………………………………… 「7.3.2.1 Windows 7」
- Windows Vista のとき……………………………「7.3.2.2 Windows Vista」
- Windows XP のとき………………………………「7.3.2.3 Windows XP」
- Mac OS X のとき………………………………… 「7.3.2.4 Mac OS X」

7.3.1 自動設定

7.3.1.1 Windows 7

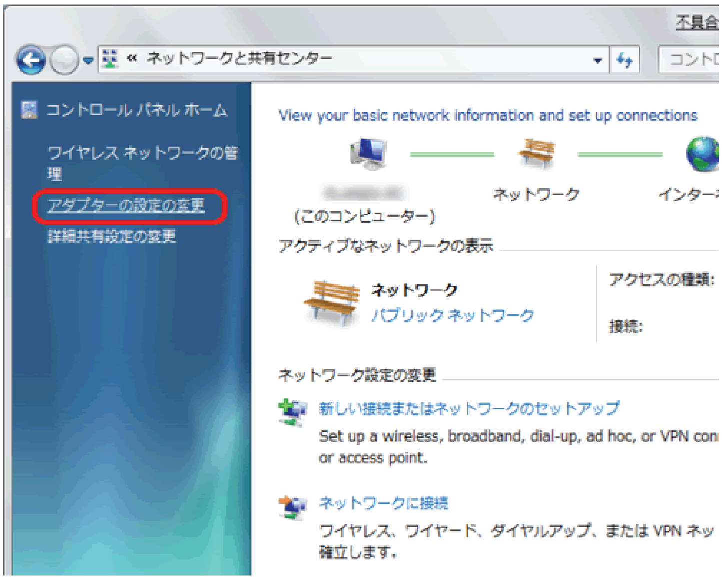
1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。
   (2)「コントロールパネル」をクリックします。



2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

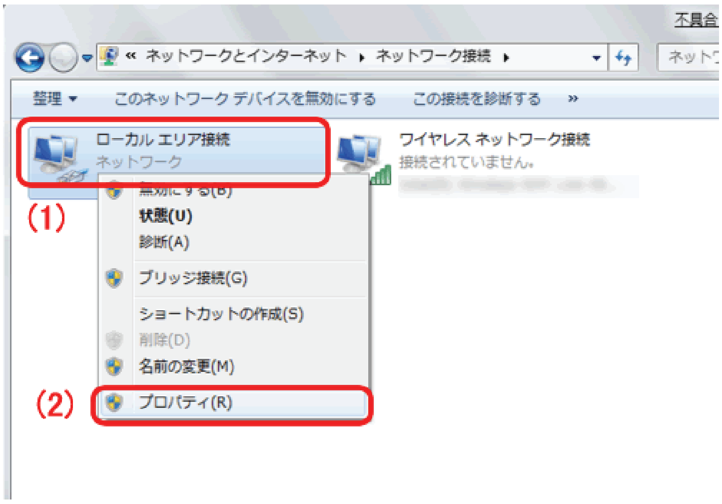


3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



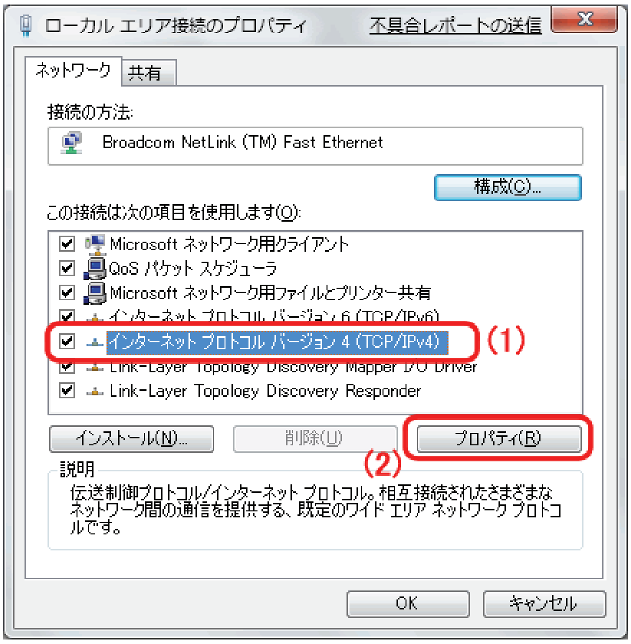
4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選びます。

(2) [プロパティ]をクリックします。



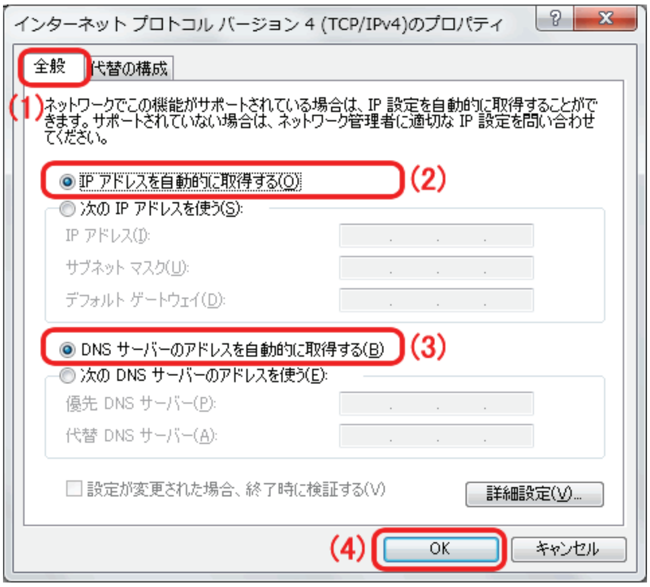
6. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

(4)[OK]をクリックします。

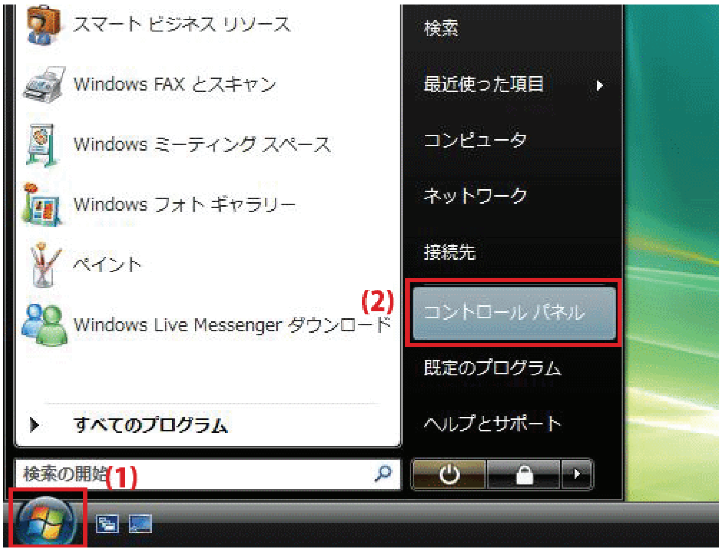
※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



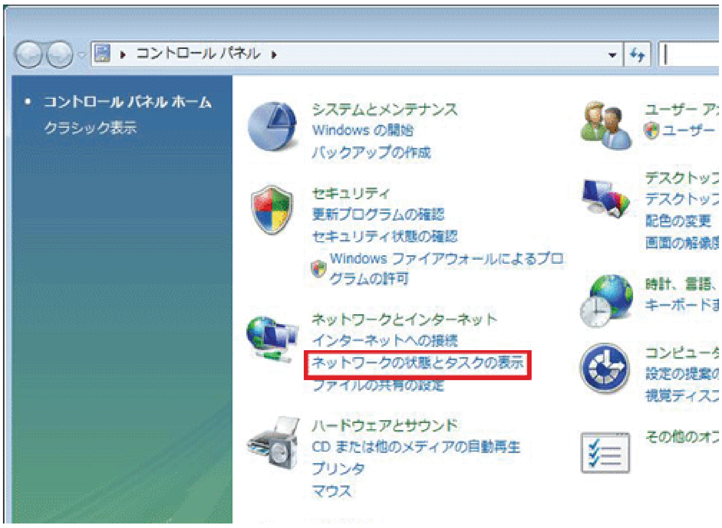
7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.1.2 Windows Vista

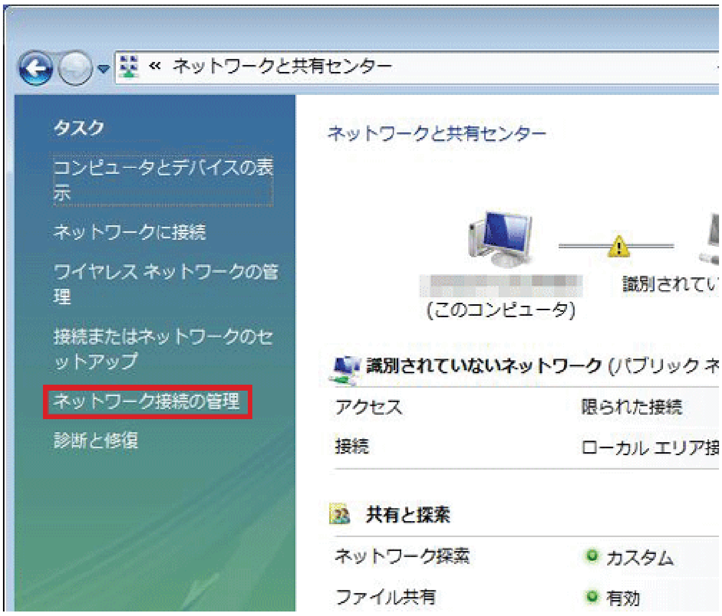
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



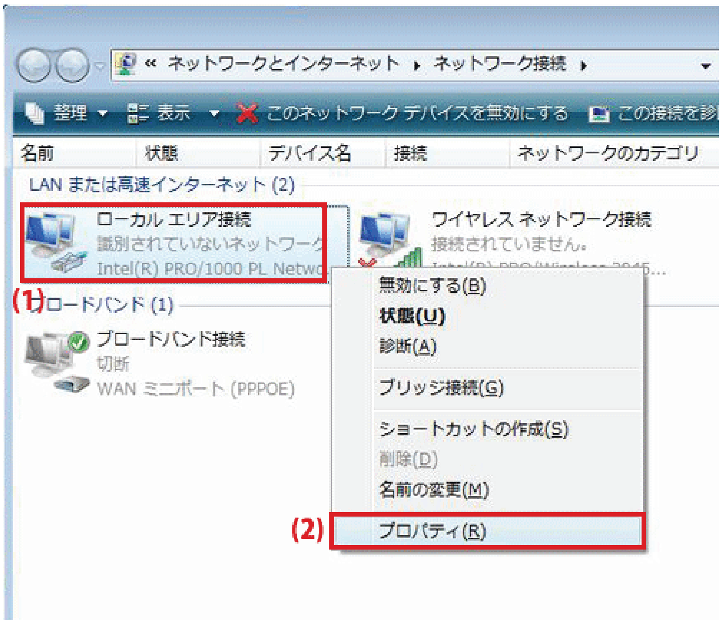
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。

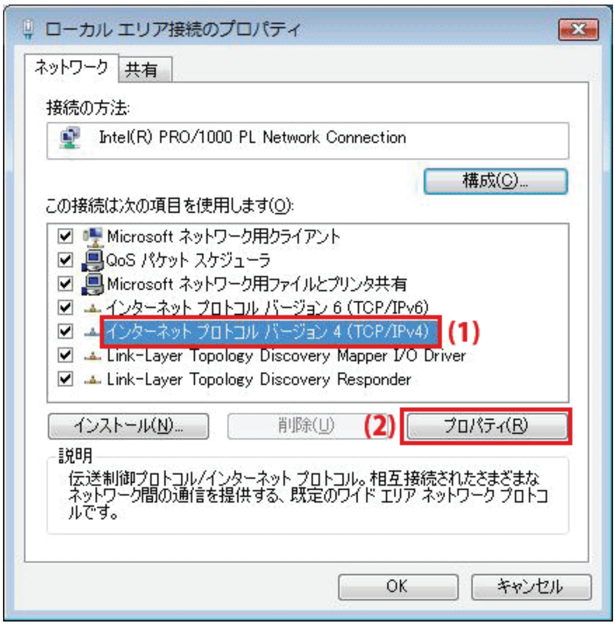


4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。
[続行]をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、[プロパティ]をクリックします。



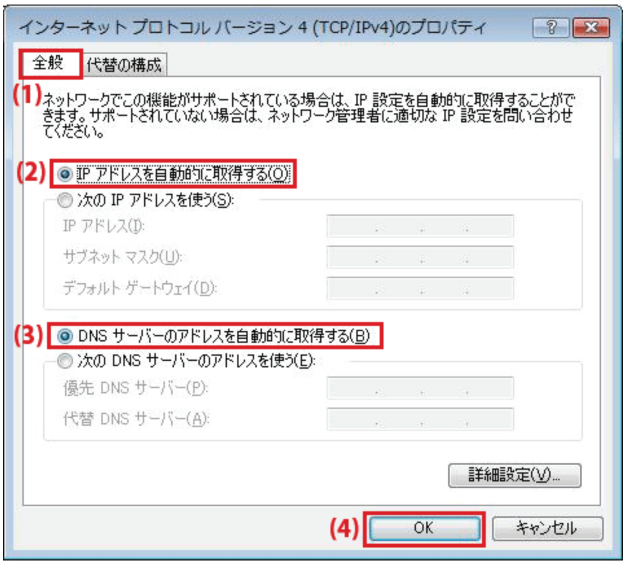
7. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

(4)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。



8. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.1.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



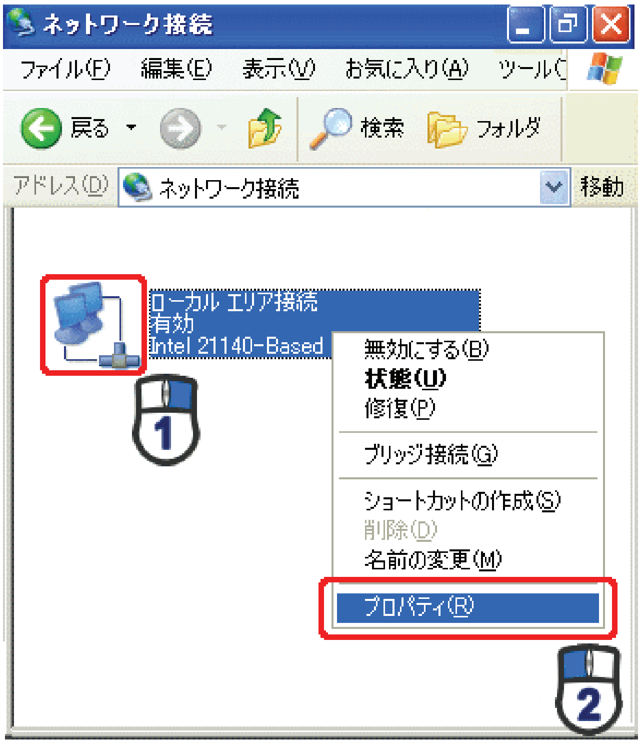
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



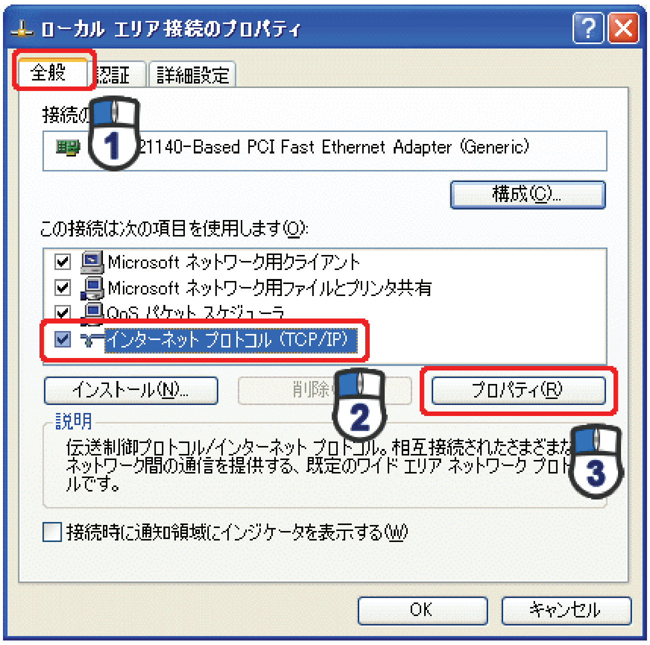
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。

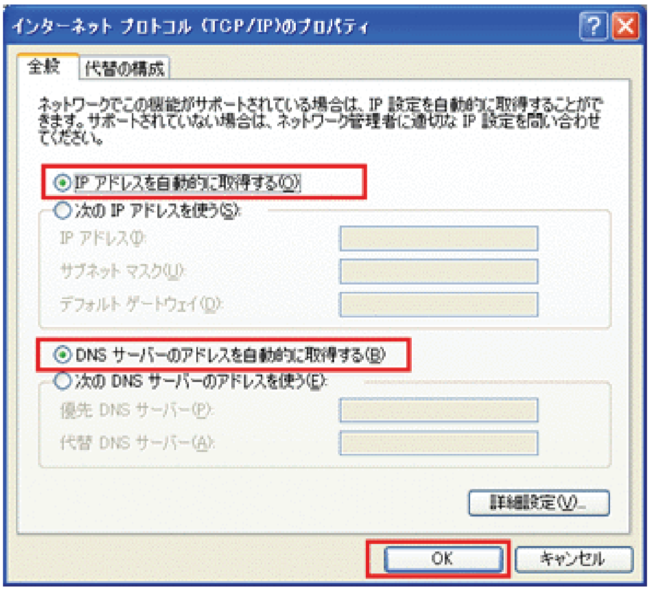


6. (1) 「IP アドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

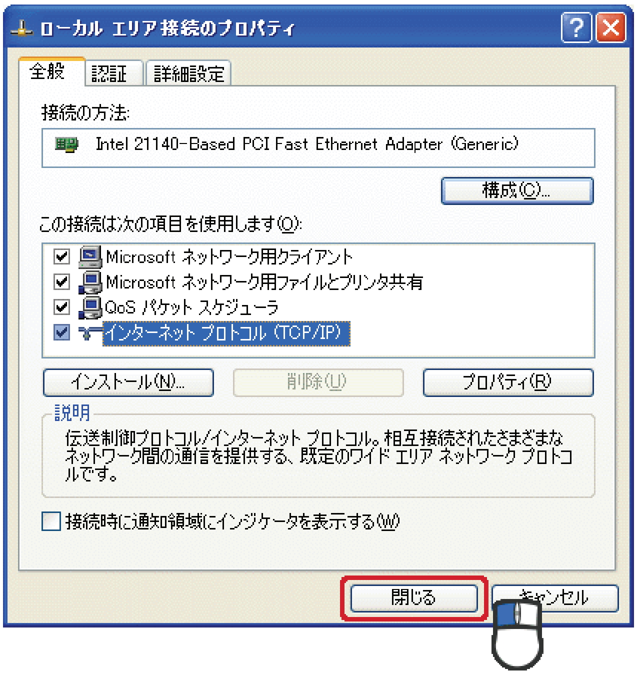
(2)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」にチェックを入れます。

(3) [OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

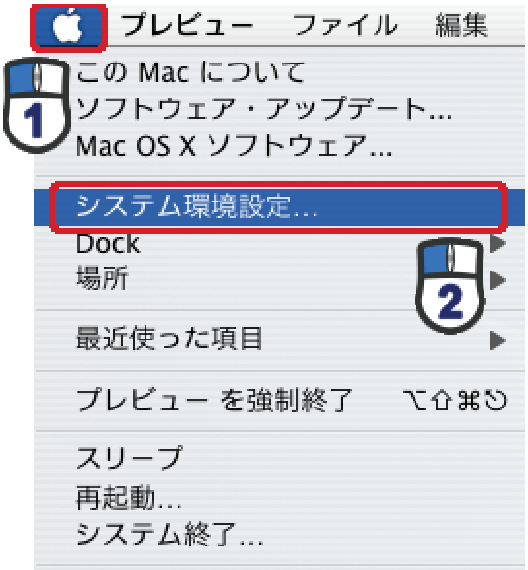


7. [閉じる]をクリックします。

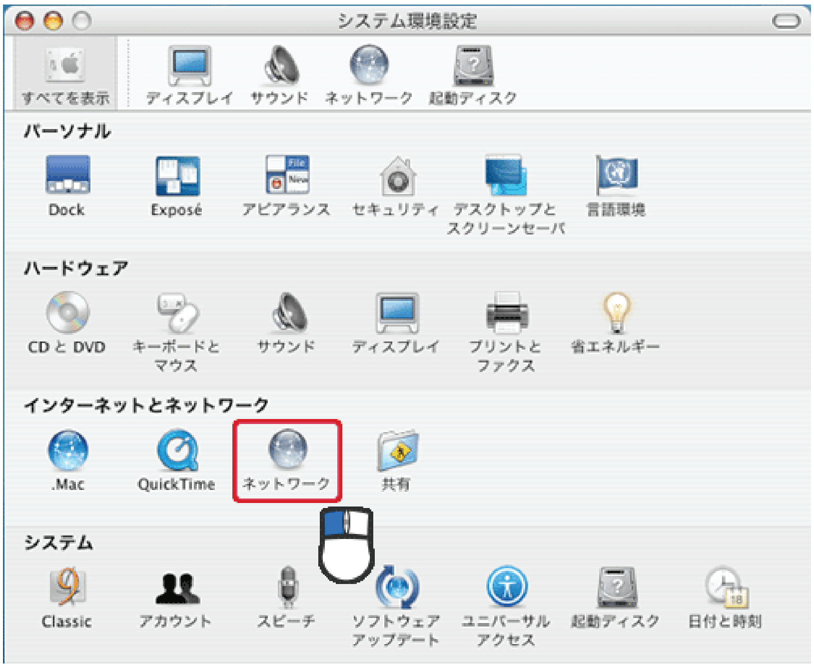


7.3.1.4 Mac OS X

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。

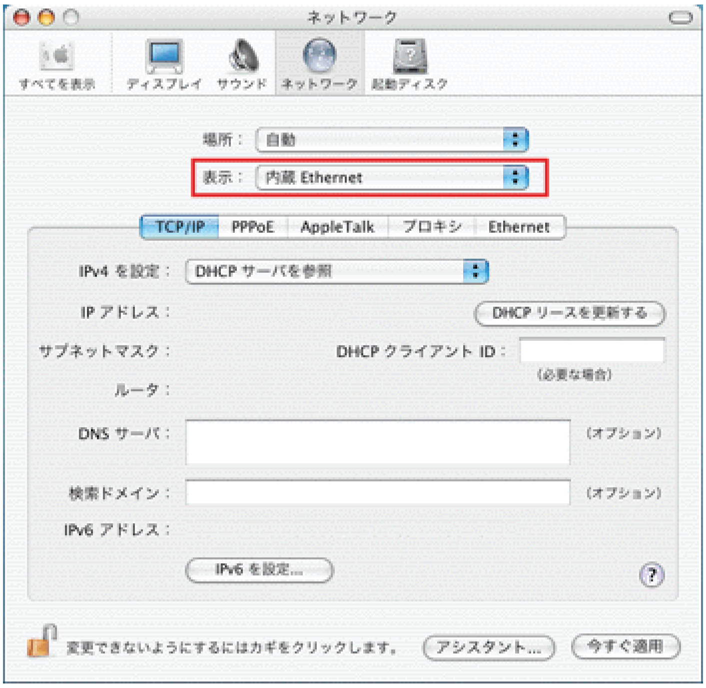


2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。



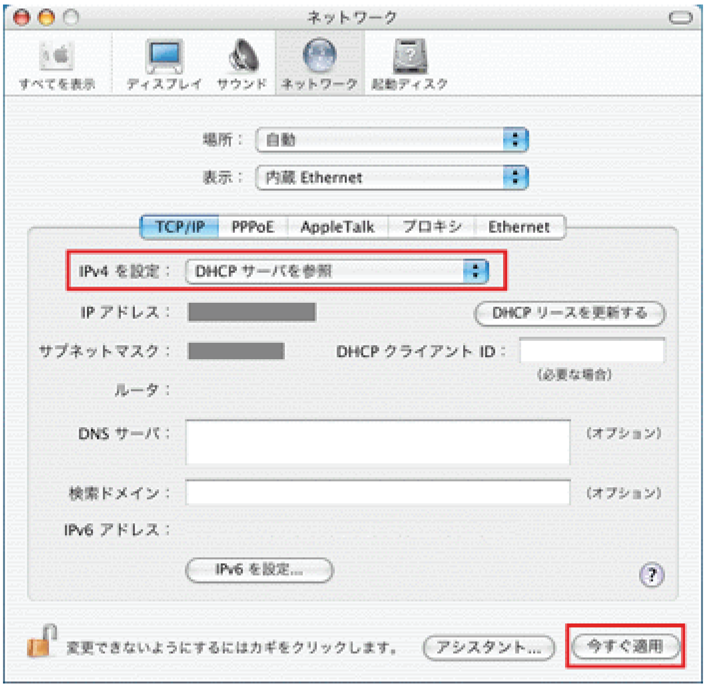
3.　「ネットワーク」の画面が表示されます。

「表示」欄から「（内蔵）Ethernet」を選択します。



※[DHCP サーバを参照]が表示されていないときは、[PPPoE]タブをクリックし、「PPPoE を使って接続する」のチェックをオフにします。

4.　「TCP/IP」タブの「IPv4 を設定」欄から「DHCP サーバを参照」を選択します。



5.　[適用]をクリックします。

7.3.2　手動設定

7.3.2.1　Windows 7

1. (1)「スタート」ボタンをクリックします。

   (2)「コントロールパネル」をクリックします。

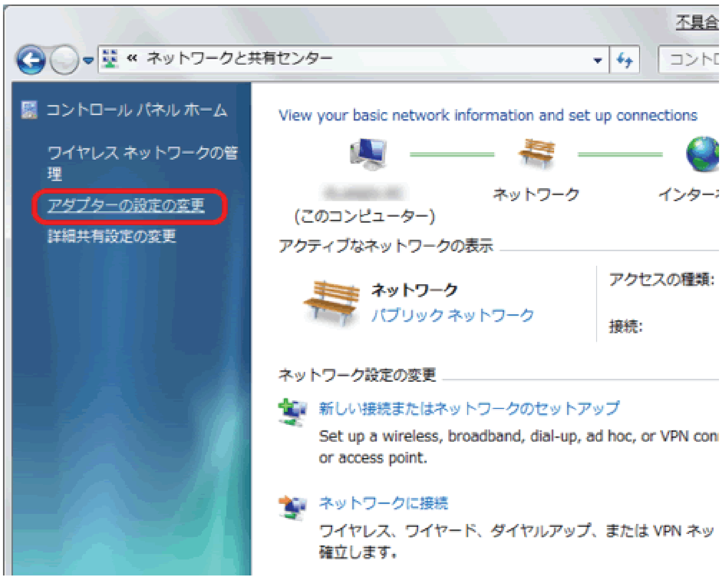


2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。

   ※アイコン表示のときは、「ネットワークと共有センター」をクリックします。

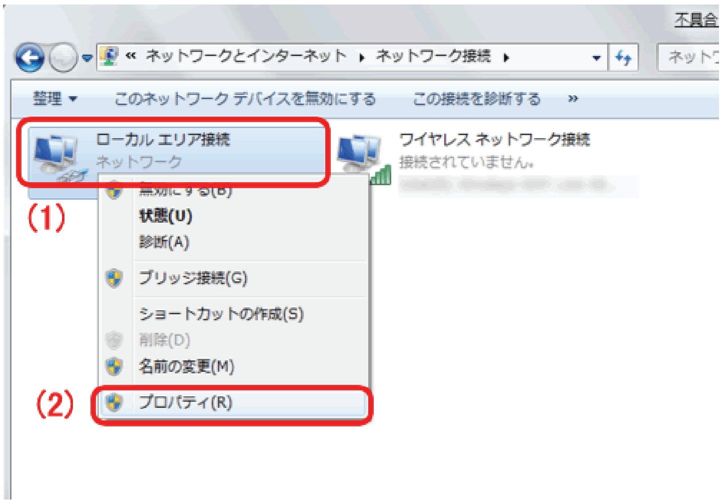


3. 「アダプターの設定の変更」をクリックします。



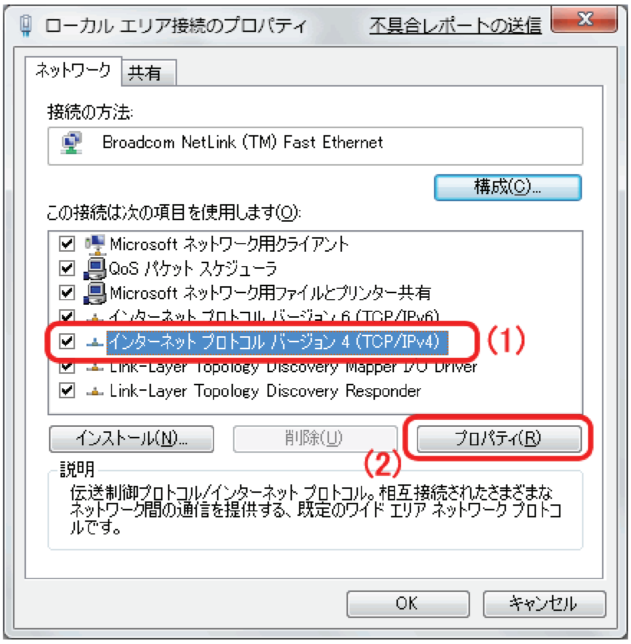
4. (1)「ローカルエリア接続」を右クリックします。

(2)「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「インターネット プロトコル バージョン 4(TCP/IPv4)」を選びます。

(2) [プロパティ]をクリックします。



6. (1)「全般」タブをクリックします。

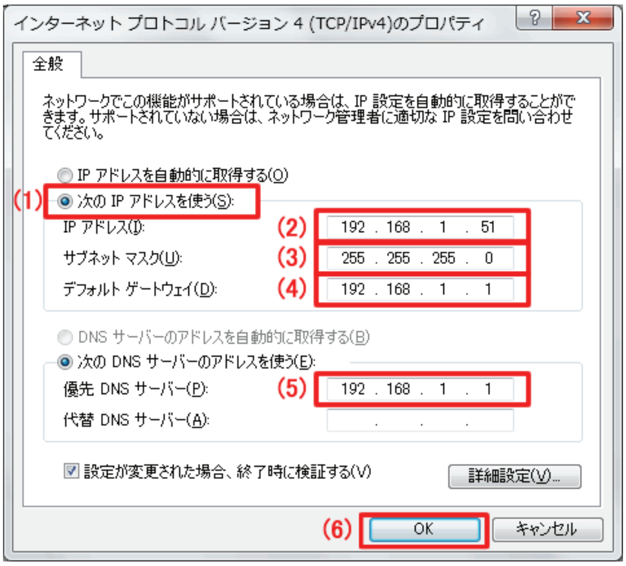
(2)「IP アドレスを自動的に取得する」を選びます。

(3)「DNS サーバーのアドレスを自動的に取得する」を選びます。

(4)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

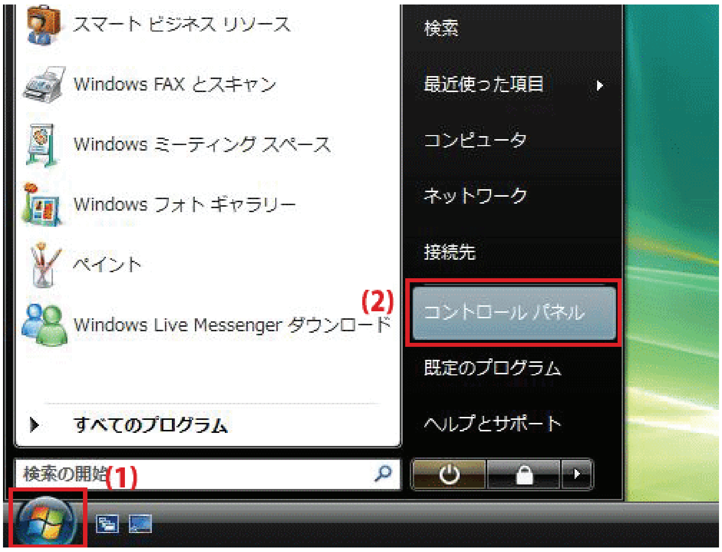
※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



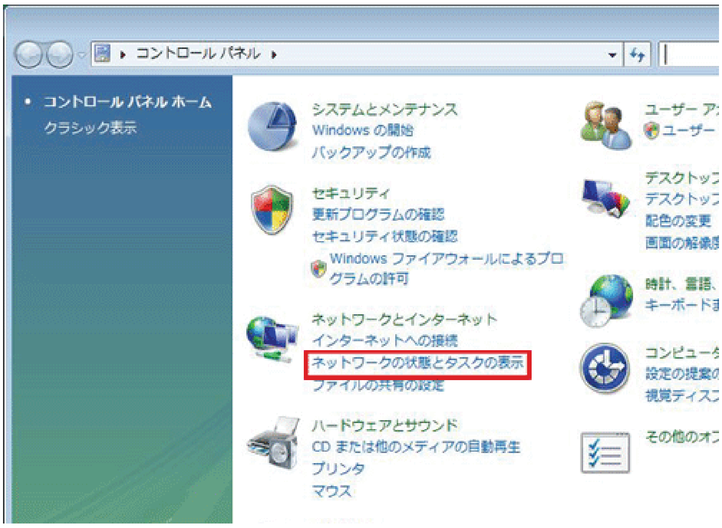
7. [閉じる]をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.2.2 Windows Vista

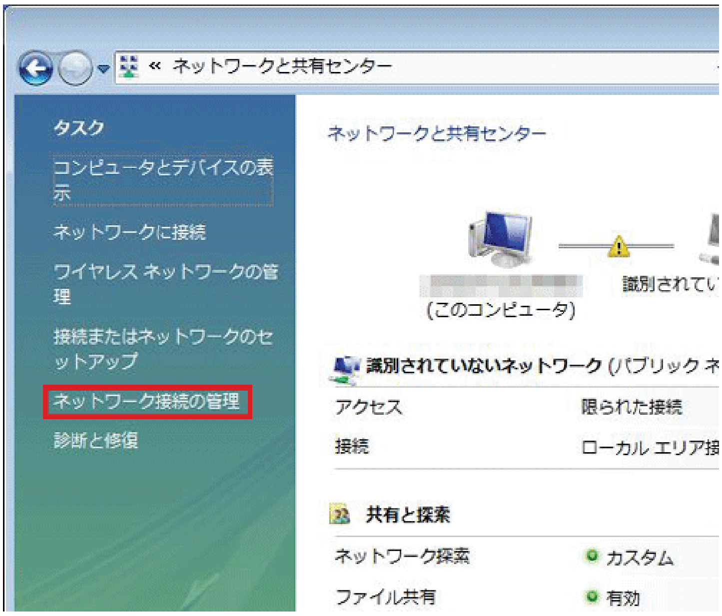
1. 「スタート」ボタンをクリックし、「コントロールパネル」をクリックします。



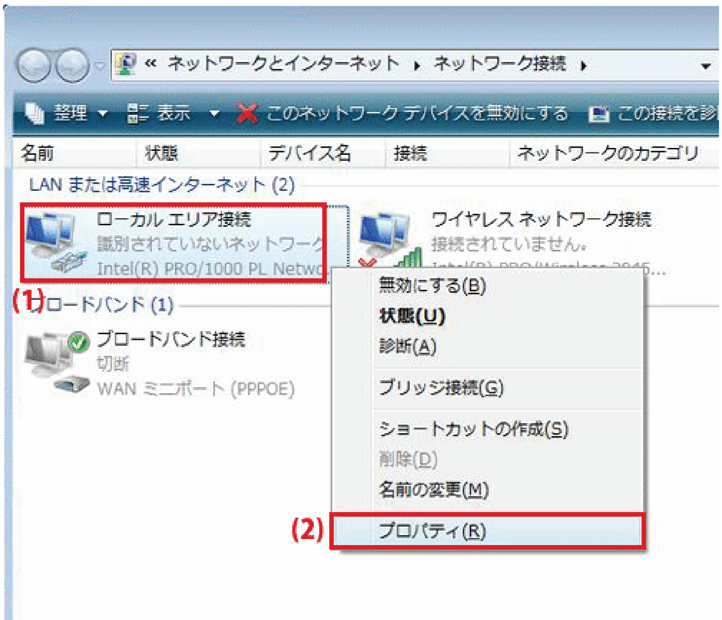
2. 「ネットワークの状態とタスクの表示」をクリックします。
   ※クラシック表示画面の場合は、「ネットワークと共有センター」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続の管理」をクリックします。



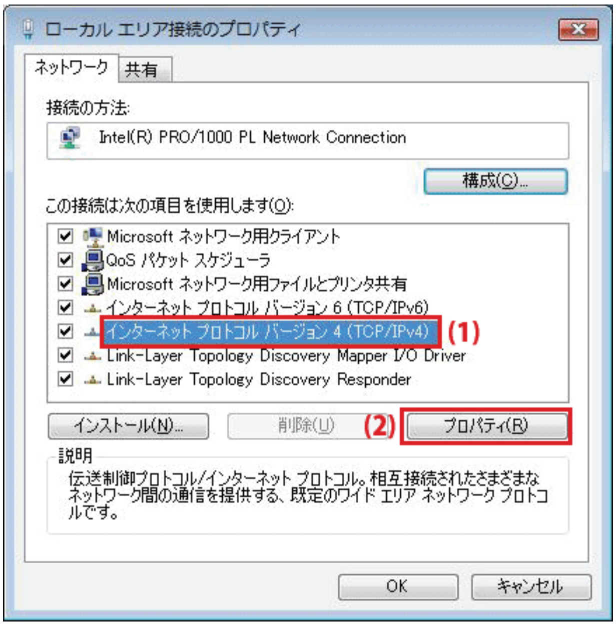
4. 「ローカルエリア接続」を右クリックして「プロパティ」を選択します。



5. 「ユーザーアカウント制御」が表示されます。

[続行]をクリックします。

6. 「インターネット プロトコル バージョン 4（TCP/IPv4）」を選び、［プロパティ］をクリックします。



7. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」（「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨）と入力します※。

(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

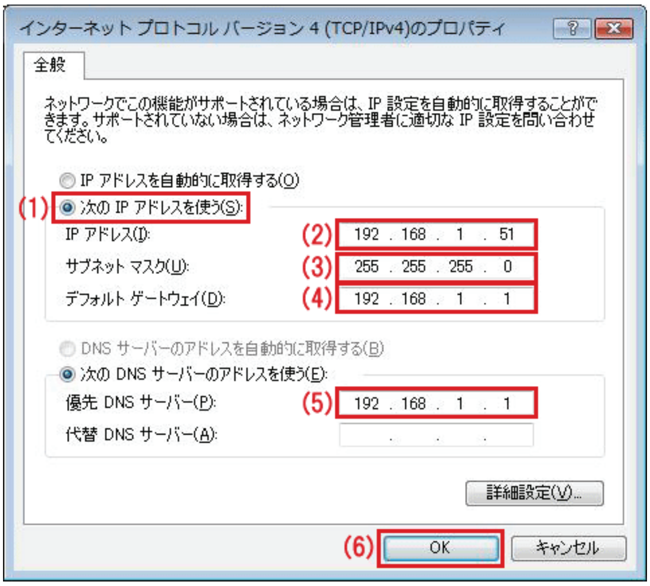
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

(6)［OK］をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



8. ［閉じる］をクリックし、すべての画面を閉じます。

7.3.2.3 Windows XP

1. 「スタート」→「コントロールパネル」をクリックします。



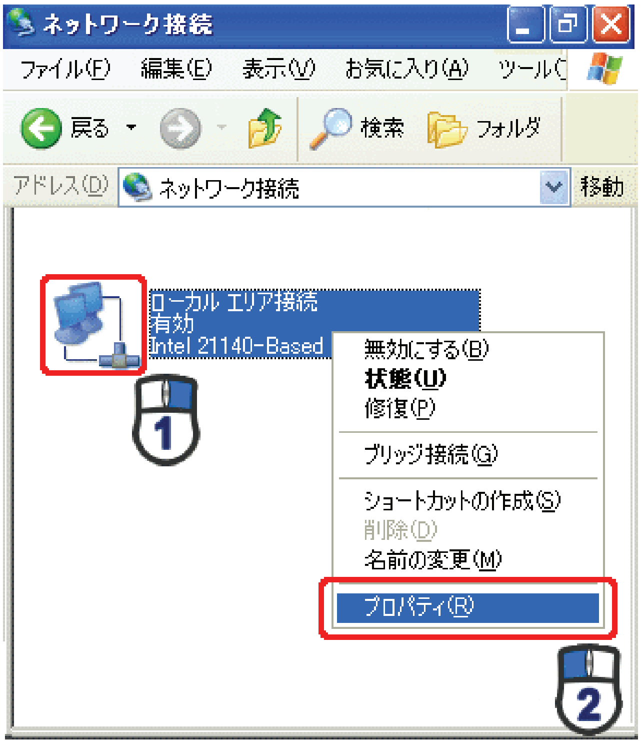
2. 「ネットワークとインターネット接続」をクリックします。



3. 「ネットワーク接続」をクリックします。



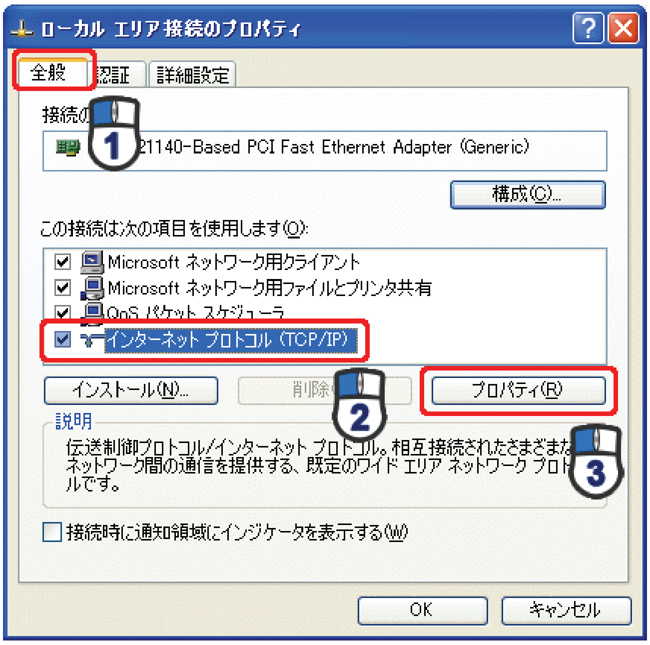
4. 「ローカル エリア接続」を右クリックし、「プロパティ」をクリックします。



5. (1)「全般」タブをクリックします。

(2)「インターネット プロトコル(TCP/IP)」を選びます。

(3)[プロパティ]をクリックします。



6. (1)「次の IP アドレスを使う」をクリックします。

(2)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨) と入力します ※。

(3)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

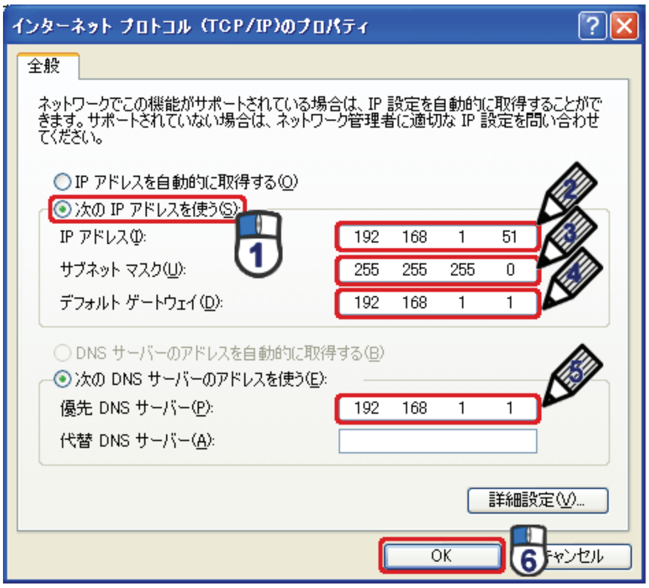
(4)「デフォルトゲートウェイ」に「192.168.1.1」と入力します。

(5)「優先 DNS サーバー」に「192.168.1.1」と入力します。

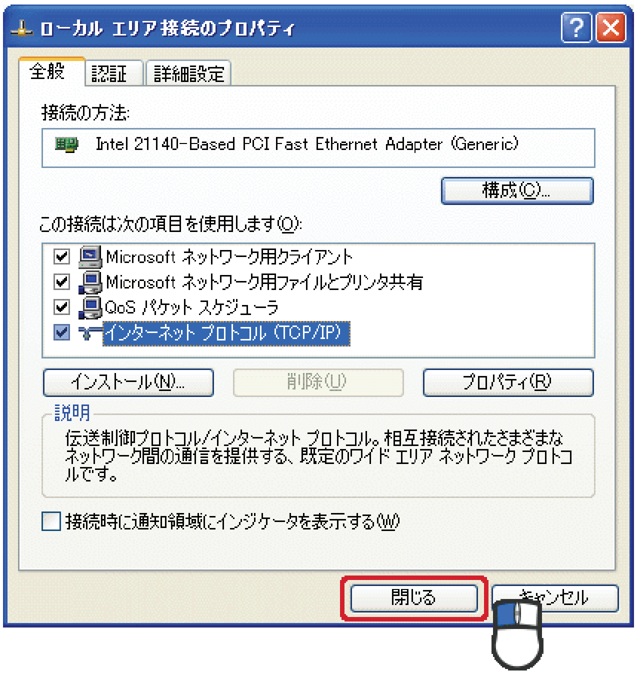
(6)[OK]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。

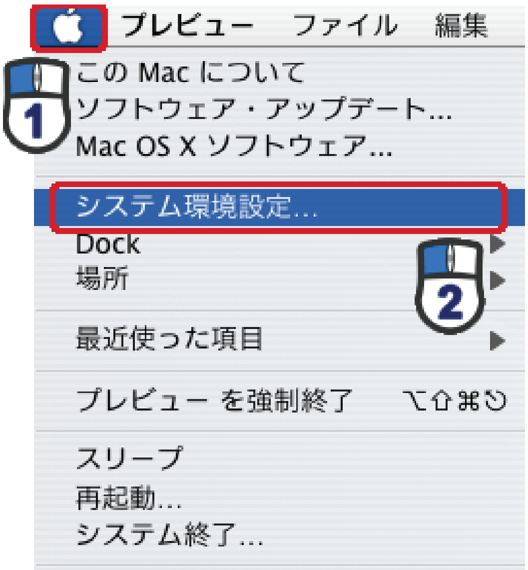


7. [閉じる]をクリックします。

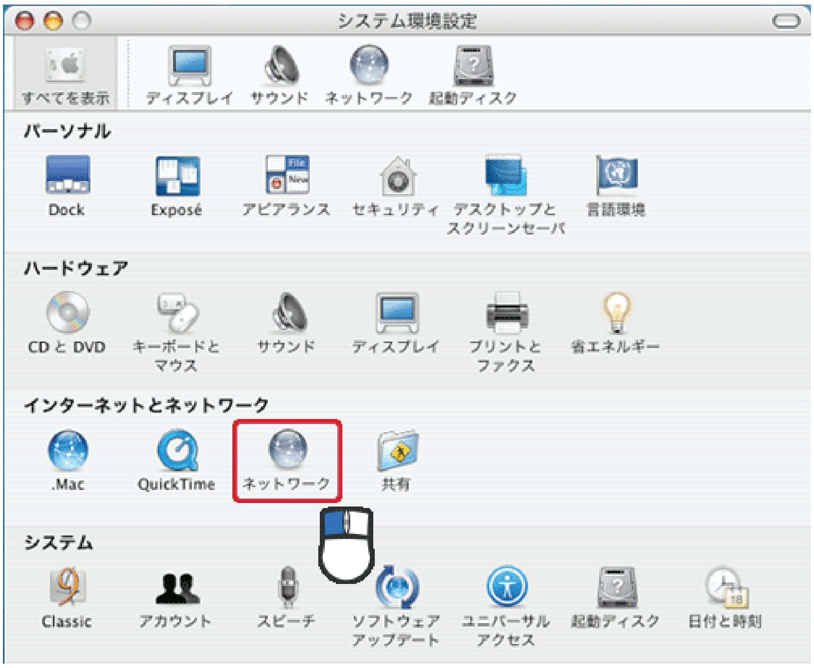


7.3.2.4 Mac OS X

1. 「アップルメニュー」→「システム環境設定」をクリックします。



2. 「インターネットとネットワーク」の 「ネットワーク」をクリックします。



3. (1)「表示」から「内蔵 Ethernet」を選びます。

(2)「TCP/IP」タブをクリックします。

(3)「IPv4 を設定」から「手入力」を選びます。

(4)「IP アドレス」に「192.168.1.xxx」(「xxx」には 2～19、51～254 の任意の値。パソコンのときは 51～99 を推奨)と入力します※。

(5)「サブネットマスク」に「255.255.255.0」と入力します。

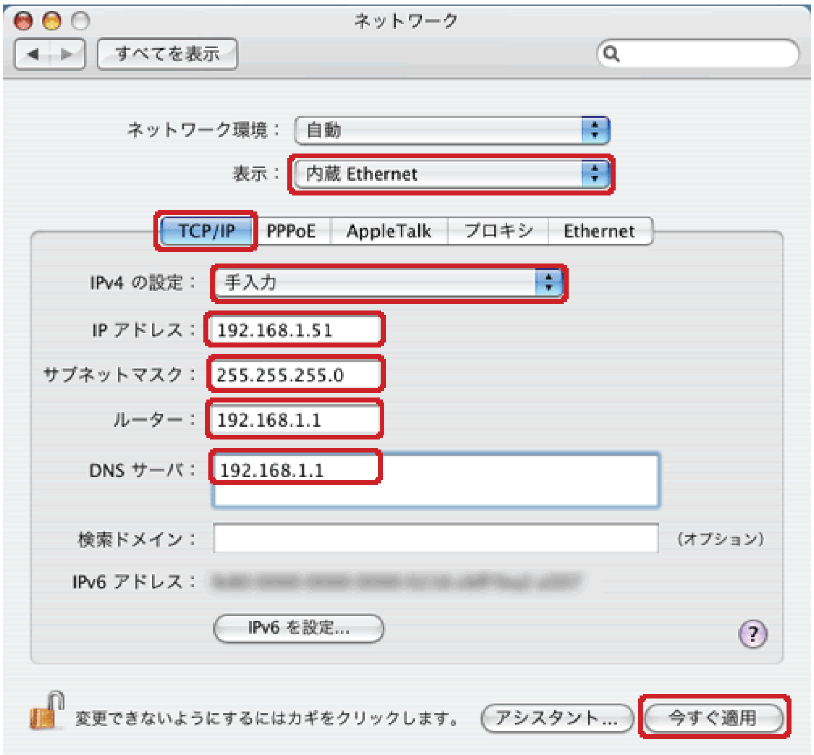
(6)「ルーター」に「192.168.1.1」と入力します。

(7)「DNS サーバ」に「192.168.1.1」と入力します。

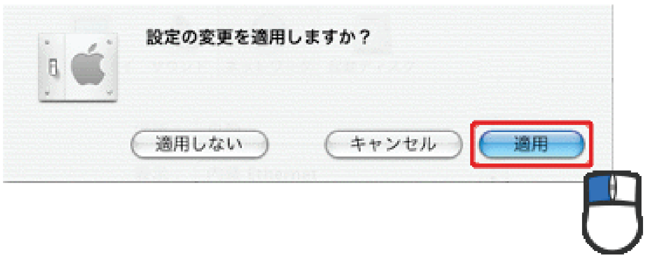
(8)[今すぐ適用]をクリックします。

※一時的に設定を変更するときは、変更前の設定をメモしておくことをお勧めいたします。

※複数の機器に設定するときは、機器同士が重複しない値を入力してください。



4. [適用]をクリックします。



第 8 章　製品仕様

型番	CQW-MRB2
無線部仕様	
対応規格	IEEE802.11n、IEEE802.11g、IEEE802.11b
チャンネル数	1～13ch
周波数(中心周波数)	IEEE802.11n：2.4GHz（2,412～2,472MHz）
	IEEE802.11g：2.4GHz（2,412～2,472MHz）
	IEEE802.11b：2.4GHz（2,412～2,472MHz）
伝送速度	IEEE802.11n(40MHz)　：最大 150Mbps
	IEEE802.11g：54、48、36、24、18、12、9、6Mbps（自動認識）
	IEEE802.11b：11、5.5、2、1Mbps（自動認識）
伝送方式	IEEE802.11n：直交波周波数分割多重変調（OFDM 方式）
	IEEE802.11g：直交波周波数分割多重変調（OFDM 方式）
	IEEE802.11b：直接拡散型スペクトラム拡散（DSSS 方式）
アンテナ利得	2dBi
アンテナ	内蔵アンテナ 1 本（1T1R）
アクセス方式	インフラストラクチャモード
セキュリティ	無効(暗号なし)
	WEP(キー長：64bit/128bit、キーフォーマット：ASCII/Hex)
	WPA(暗号化方式：TKIP、認証方式：PSK)
	WPA2(暗号化方式：AES、認証方式：PSK)
	WPA2 Mixed(WPA/WPA2、暗号化方式：TKIP/AES、認証方式：PSK)
	外部 RADIUS 対応
	SSID 通知(有効/無効)
	MAC アドレスフィルタリング/最大登録数：20 件
SSID	マルチ SSID 対応/最大登録数：5 件
自動無線設定機能	WPS（WPS ボタン、PBC/PIN 方式）
省エネ設定	EEE、Active ECO
有線部仕様	
対応規格	IEEE802.3i(10BASE-T)、IEEE802.3u(100BASE-TX)
インターフェース	RJ-45 UTP ポート x1（Internet または LAN 排他利用、AutoMDI/MDI-X 対応）
伝送速度	10/100Mbps(オートネゴシエーション)
ネットワークケーブル	10BASE-T：カテゴリ 3 以上
	100BASE-TX：カテゴリ 5 以上

ルータ機能	
対応 WAN 回線	FTTH、ADSL、VDSL、CATV、3G
WAN 回線自動判別	非対応
WAN 設定	IP アドレス自動取得（DHCP クライアント）
	固定 IP アドレス（手動設定）
	PPPoE クライアント
	PPPoE マルチセッション/最大 2 セッション
	3G データ通信端末
LAN 設定	固定 IP アドレス（手動設定）
	DHCP 自動認識（サーバ/クライアント）
ルーティング機能	静的ルーティング
アドレス変換	NAPT（IP マスカレード）
VPN 関連	IPSec パススルー、PPTP パススルー
ダイナミック DNS	CyberGate、DynDNS
フェイルオーバー機能	搭載
ハードウェア仕様	
ハードウェアスイッチ	ポートスイッチ(LAN/WAN)、WPS ボタン、電源スイッチ(ON/OFF)
LED	Power/Charge、Wireless、WPS、Ethernet、Internet
電源	入力：DC5V、2.0A　バッテリ：DC3.8V 1,800mAh
バッテリー稼働時間	約 4.0 時間
バッテリー充電時間	約 3.5 時間
外形寸法	約 16.9（H）×69.0（W）×102.5（D） mm
重量	約 120g（バッテリー含む）、約 80g（本体のみ）
動作時環境	温度：0～40℃
	湿度：10%～90%（結露なきこと）
保存時環境	温度：-20～60℃
	湿度：0～95% (結露なきこと)
USB 仕様	
インターフェース	USB2.0x1（Type A）
USB 機能	3G データ端末（Type A）
その他	
AC アダプタ規格	入力：AC100～240V、50-60Hz
	出力：DC 5V、2.0A
ログ機能	システムログ、セキュリティログ
管理機能	リモート管理
対応 OS	Windows 7(32bit/64bit) / Vista(32bit/64bit) / XP 日本語版
	MacOS X (10.6/10.5/10.4)

各種設定方法	WEB ブラウザ
保証期間	1 年間

■注意事項

※WEB ブラウザによる設定の際に、一部のブラウザでは正常に表示できない場合があります。

※WPA/WPA2 を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPA または WPA2 に対応している必要があります。

※WPS を利用するためには、接続する Wi-Fi 機器も WPS に対応している必要があります。

※無線チャンネル幅は初期値が 20MHz となっています。40MHz(理論値 150Mbps)を使用する場合は WEB 設定画面にて、20/40MHz のモードに変更してください。

※表示の数値は、Wi-Fi 規格の理論上の最大値であり、実際のデータ転送速度を示すものではありません。

※製品仕様は予告無く変更する場合があります。あらかじめご了承ください。最新情報は、弊社ホームページ(http://www.planex.co.jp)を参照ください。

第 9 章　お問合せ

●サポート Q&A 情報（FAQ、よくある質問と答え）
ご質問の前に、まずサポート Q&A 情報をご覧ください。
お問い合わせの情報が掲載されているかお確かめください。

http://faq.planex.co.jp/

●オンラインマニュアル
最新版のマニュアルを参照できます。

http://www.planex.co.jp/support/download/index_manual.shtml

●技術的なお問い合わせ・修理に関するお問い合わせ
製品購入後のご質問は、弊社サポートセンターまでお問い合わせください。
豊富な知識をもったサポート技術者が、お客様の問題を解決いたします。

＜お問い合わせフォーム＞
http://www.planex.co.jp/support/techform/
受付：24 時間

＜サポートダイヤル＞
0570-064-707
受付：月～金曜日、10 ～ 12 時、13 ～ 17 時（※祝祭日および弊社指定の休業日を除く）

＜ FAX ＞
0570-088-194
受付：24 時間

●弊社製品の追加購入〈PLANEX DIRECT〉

弊社製品のご購入は、販売店様または PLANEX DIRECT まで。

ケーブル 1 本からレイヤ 3 スイッチまで、お客様が探しているものが見つかります。

http://direct.planex.co.jp/

●製品に関するお問い合わせ〈ご質問/ お見積もりフォーム〉

製品購入前のご相談や、ご質問は弊社専任アドバイザーにお任せください。

ネットワーク導入やシステム構築・拡張など、お客様のお手伝いをいたします。

http://www.planex.co.jp/lan.shtml

●その他

その他のお問い合わせ先は、弊社ホームページからお確かめください。

http://www.planex.co.jp/

上記内容は 2012 年 3 月現在の情報です。

内容は予告なく変更または削除される場合があります。ご了承ください。

第 10 章　索引